

# 平成26年度大気常時監視測定局測定結果

平成27年5月

倉敷市環境監視センター

## はじめに

倉敷市は、風光明媚な瀬戸内海と緩やかな丘陵に囲まれた地形をなし、自然に恵まれた環境にあります。

昭和30年代、国内の高度経済成長の時代背景を受け、国や岡山県をあげての重化学工業コンビナート構想が高梁川臨海河口部に遠浅の地形が形成されていた水島地区を中心に展開しました。

しかしながら、良好な生活環境が当然であった当時は、環境汚染に対する関心が低く、豊かさの象徴に見えた重化学コンビナートが公害という問題を背面に抱えていることの大きさを軽視しがちでした。水島地域も例外ではありませんでした。昭和40年代に大工業地帯となった水島の臨海地域は、まさに公害問題最盛期に入りました。日々発生する公害諸問題に対応・対処すべく、倉敷市では工業地帯起因の公害を監視する拠点として昭和45年に「倉敷市公害監視センター」を設置しました。

時代が進み、生活スタイルの変化に伴い、公害も産業型から都市・生活型へと変遷することとなり、公害監視センターも平成9年度から「倉敷市環境監視センター」に名称変更して、多様化する環境汚染物質の実態把握に努めています。

昭和44年に大気汚染防止法の政令市として指定された倉敷市では、同法の規定と趣旨に基づき、大気汚染物質を常時監視する必要がある、その監視業務は、現在に至るまで環境監視センターの主要業務の一つとして位置付けられています。

本報告書は、昭和41年度から継続している大気汚染常時監視測定の結果を概略的にまとめ、平成26年度の測定結果の経月比較及び過去10年間の測定結果の経年比較をすることにより、今後の大気環境政策及び公害対策並びに市民の環境保全意識の向上に寄与することを期待するものです。

平成27年5月

倉敷市環境監視センター

# 目次

1	大気常時監視測定の概要	1
	(1) 大気汚染状況に関する環境基準	
	(2) 大気環境基準等に関する評価方法	
	ア 短期的評価方法	
	イ 長期的評価方法	
	ウ 指針値に対する評価方法	
	エ 評価の対象としない測定値等	
	(3) 測定局と常時監視測定項目	
2	大気常時監視測定結果の概要	8
	(1) 二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	
	(2) 二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	
	(3) 一酸化炭素 (CO)	
	(4) 光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )	
	(5) 浮遊粒子状物質 (SPM)	
	(6) 微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )	
3	項目別測定結果	18
	(1) 一般環境大気測定局	
	ア 二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	
	イ 窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )	
	(ア) 二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	
	(イ) 一酸化窒素 (NO)	
	ウ 一酸化炭素 (CO)	
	エ 光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )	
	オ 浮遊粒子状物質 (SPM)	
	カ 非メタン炭化水素 (NMHC)	
	キ 微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )	
	(2) 自動車排出ガス測定局	
	ア 二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	
	イ 窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )	
	(ア) 二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	
	(イ) 一酸化窒素 (NO)	
	ウ 一酸化炭素 (CO)	
	エ 光化学オキシダント (O <sub>x</sub> )	
	オ 浮遊粒子状物質 (SPM)	
	カ 非メタン炭化水素 (NMHC)	
	キ 微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )	

- (1) 環環境基準達成状況
- (2) 一般環境測定局
  - ア 経年測定データ(平成17年度～平成26年度)
  - イ 経月測定データ
  - ウ 二酸化硫黄濃度の経年変化(年平均値)
  - エ 二酸化硫黄濃度の経月変化(月平均値)
  - オ 二酸化窒素濃度の経年変化(年平均値)
  - カ 二酸化窒素濃度の経月変化(月平均値)
  - キ 一酸化窒素濃度の経年変化(年平均値)
  - ク 一酸化窒素濃度の経月変化(月平均値)
  - ケ オキシダント濃度の1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経年変化
  - コ オキシダント濃度の1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経月変化
  - サ 浮遊粒子状物質濃度の経年変化(年平均値)
  - シ 浮遊粒子状物質濃度の経月変化(月平均値)
  - ス 微小粒子状物質濃度の経年変化(年平均値)
  - セ 微小粒子状物質濃度の経月変化(月平均値)
- (3) 自動車排出ガス測定局
  - ア 経年測定データ(平成17年度～平成26年度)
  - イ 経月測定データ
  - ウ 二酸化窒素濃度の経年変化(年平均値)
  - エ 二酸化窒素濃度の経月変化(月平均値)
  - オ 二酸化窒素濃度の日平均値が0.04ppm以上となった日数の経年変化
  - カ 二酸化窒素濃度の日平均値が0.04ppm以上となった日数の経月変化
  - キ 一酸化窒素濃度の経年変化(年平均値)
  - ク 一酸化窒素濃度の経月変化(月平均値)
  - ケ 一酸化炭素濃度の経年変化
  - コ 一酸化炭素濃度の経月変化
  - サ 浮遊粒子状物質濃度の経年変化(年平均値)
  - シ 浮遊粒子状物質濃度の経月変化(月平均値)
  - ス 浮遊粒子状物質濃度の日平均値が0.1mg/m<sup>3</sup>を超えた日数の経年変化
  - セ 微小粒子状物質濃度の経月変化(月平均値)

## 1 大気常時監視測定の概要

倉敷市は、昭和44年に大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）に基づく政令市に指定されており、同法の規定及び趣旨に基づき、人の健康保護及び生活環境保全を目的として、市域の大気汚染状況を常時監視している。

### (1) 大気汚染状況に関する環境基準

大気汚染に係る環境上の条件について、人の健康を保護し、生活環境を保全するための望ましい基準として、大気汚染状況に関する環境基準（以下「大気環境基準」という。）が定められている。各物質に関する環境基準は表 1-1 に示すとおりである。

表 1-1 大気汚染状況に関する環境基準（常時監視測定項目関係）

物質名称	環境上の条件
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。 (昭和48年 5 月 16 日付け環境庁告示第35号)
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。 (昭和53年 7 月 11 日付け環境庁告示第38号)
一酸化炭素 (CO)	1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下であること。 (昭和48年 5 月 8 日付け環境庁告示第25号)
光化学オキシダント (Ox)	1 時間値が 0.06ppm 以下であること。 (昭和48年 5 月 8 日付け環境庁告示第25号)
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 時間値が 0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。 (昭和48年 5 月 8 日付け環境庁告示第25号)
微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )	1 年平均値が 15µg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 日平均値が 35µg/m <sup>3</sup> 以下であること。 (平成21年 9 月 9 日付け環境省告示第33号)

## (2) 大気環境基準等に関する評価方法

大気環境基準に関する評価としては、1日若しくは8時間又は1時間を通じた測定結果に係る短期的評価を用いる場合と1年間を通じた測定結果に係る長期的評価を用いる場合がある。

### ア 短期的評価方法

大気汚染の状態を大気環境基準に照らして短期的に評価する場合は、大気環境基準が1時間値又は1時間値の1日平均値についての条件として定められているので、定められた方法により連続して又は随時に行った測定結果により、測定を行った時間又は日についてその評価を行う。

各物質に関する短期的評価方法は、表1-2のとおりである。

表1-2 大気環境基準に対する短期的評価方法

物質名称	短期的評価方法
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値 <sup>(注1)</sup> が20ppm以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること <sup>(注2)</sup> 。

(注1) 8時間平均値とは0～8時、8時～16時、16時～24時の1日3回の時間帯に区分され、連続する8時間の1時間値の平均を求めることをいう。

(注2) データの整理は昼間について行うものとし、この場合の昼間とは6時から20時までの1時間値とする。すなわち、データは5時から20時までのものとなる。

### イ 長期的評価方法

大気汚染に対する施策の効果等を的確に判断するなど、年間にわたる測定結果を長期的に観察したうえで評価を行う場合、測定時間、日における特殊事情が直接反映されること等から、長期的評価を行う。

各物質に関する長期的評価方法は、表1-3のとおりである。

表 1-3 大気環境基準に対する長期的評価方法

物質名称	長期的評価方法
二酸化硫黄	年間にわたる1日平均値のうち、高い方から2%の範囲にあるものを除外して評価を行う。ただし、人の健康の保護を徹底する趣旨から、1日平均値につき大気環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、このような取扱いを行わない。
一酸化炭素	
浮遊粒子状物質	
二酸化窒素	年間にわたる1日平均値のうち、低い方から98%に相当するもので評価を行う。
微小粒子状物質	1年平均値を15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ と比較する。また、年間にわたる1日平均値のうち、低い方から98%に相当するものを35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ と比較する。

#### ウ 指針値に対する評価方法

昭和51年8月13日付けで中央公害対策審議会から光化学オキシダント生成防止のための大気中炭化水素濃度の指針について答申があり、環境大気中の非メタン炭化水素濃度レベルの指針が示されており、これに基づき評価を行う。

非メタン炭化水素に関する評価方法は、表1-4のとおりである。

表 1-4 非メタン炭化水素指針値に対する評価方法

物質名称	評価方法
非メタン炭化水素	6時から9時までの非メタン炭化水素の3時間平均値 <sup>(注1)</sup> は、0.20ppmCから0.31ppmCの範囲であることが望ましい。

(注1) 6時から9時までの3時間平均値とは、6時から9時までの1時間値<sup>(注2)</sup>3個、すなわち7時、8時、9時の3個の1時間値の算術平均をいう。この場合、当該時間帯の3個の1時間値のうち、1個でも欠測がある場合は3時間平均値も欠測とし、評価の対象としない。

(注2) 1時間値は、75%以上(1時間当たり6回の測定を行う測定機にあっては5回以上)の測定がなされた場合に限り有効とする。

#### エ 評価の対象としない測定値等

アからウまでの各評価方法において、次の(ア)から(エ)までの要件のいずれかに該当する測定値等については、評価の対象としない。

(ア) 測定局が「都市計画法」の規定による工業専用地域、「港湾法」の規定による臨港地区、道路の車道部分その他埋立地、原野、火山地帯等通常住民の生活実態の考えられない地域、場所に設置されている場合の、当該測定局における測定値

- (イ) 測定値が測定機に起因する等の理由により当該地域の大気汚染状況を正しく反映していないと認められる場合の、当該測定値
- (ウ) 環境基準の1日平均値が1日20時間以上の測定時間を有する「有効測定日」に該当しない場合の、当該1日平均値
- (エ) 環境基準の長期的評価のために必要とされる次のいずれかの要件を満たしていない場合の、当該測定局又は測定値
- ① 二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び二酸化窒素については年間測定時間が6,000時間以上の測定が行われた「有効測定局」であること
  - ② 微小粒子状物質については「有効測定日」が年間250日以上であること

### (3) 測定局と常時監視測定項目

大気汚染状況を常時監視するための測定設備が設置されている施設を測定局という。

新たに環境基準が設けられた微小粒子状物質について、平成23年度から順次測定機器の整備を行い、平成24年4月から倉敷美和局、松江局及び大高局の3局で、平成25年3月から塩生局、玉島局及び児島局を加えた6局で、また、平成26年3月から監視センター局、茶屋町局、真備局及び庄局を加えた計10局で測定を開始した。

図1に、倉敷市内に配置している測定局の位置を示す。

平成26年度は、住宅地域等に設置している一般環境大気測定局20局と、道路沿道に設置している自動車排出ガス測定局4局で大気汚染状況の常時監視を行った。

表1-5-1及び表1-5-2に、各局における常時監視測定の実施項目を示す。

平成26年度は、二酸化硫黄を19局、窒素酸化物を19局、一酸化炭素を5局、光化学オキシダントを15局、浮遊粒子状物質を18局、微小粒子状物質を10局及び非メタン炭化水素を3局で測定した。

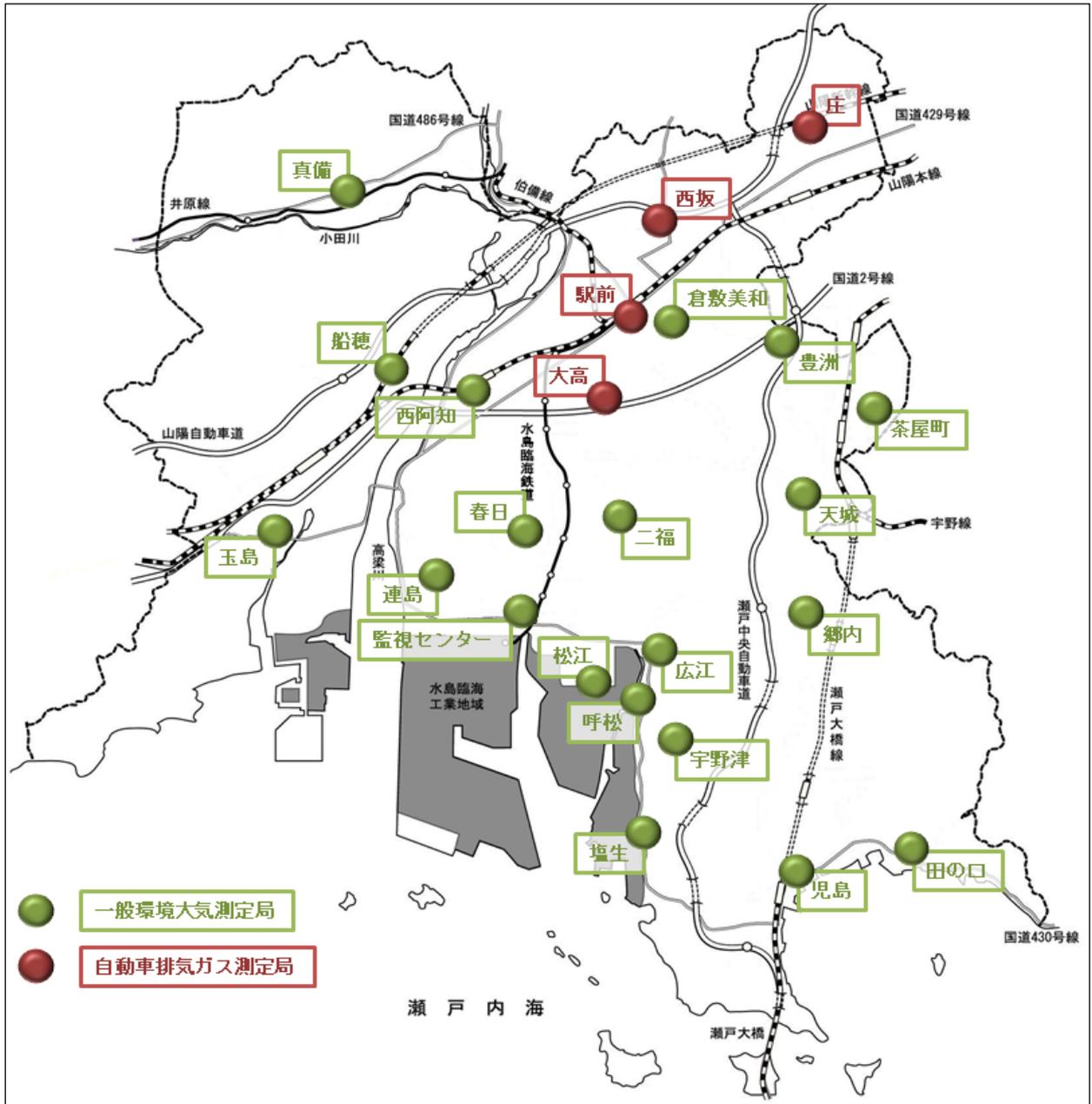


図1 測定局配置図

表 1-5-1 測定局別常時監視測定項目一覧

(平成26年度末現在)

局名	測定項目							
	SO <sub>2</sub>	NO <sub>x</sub>	CO	O <sub>x</sub>	SPM	PM2.5	HC	WD/WS
倉敷美和	○	○	○	○	○	○	○	○
監視センター	○	○		○	○	○	○	○
春日	○	○		○	○			○
連島	○	○		○	○			○
塩生	○	○		○	○	○		○
松江	○	○		○	○	○		○
西阿知	○	○		○	○			○
玉島	○	○		○	○	○		○
児島	○	○		○	○	○		○
郷内	○	○		○	○			○
天城	○	○		○	○			○
茶屋町	○	○		○	○	○		○
豊洲	○	○						○
広江	○				○			○
呼松	○				○			
二福	○							
宇野津	○							
田の口	○							
船穂	○	○		○	○			○
真備		○		○		○		○
駅前		○	○				○	
大高		○	○		○	○		○
西坂		○	○		○			○
庄		○	○	○	○	○		○

注) 表中「測定項目」欄の省略記号は、それぞれ以下のとおり。

- SO<sub>2</sub> 二酸化硫黄
- NO<sub>x</sub> 窒素酸化物（一酸化窒素及び二酸化窒素）
- CO 一酸化炭素
- O<sub>x</sub> 光化学オキシダント
- SPM 浮遊粒子状物質
- PM2.5 微小粒子状物質
- HC 炭化水素（非メタン炭化水素及びメタン）
- WD/WS 風向及び風速

表 1-5-2 測定局別常時監視測定項目一覧

(平成26年度末現在)

局名	測定項目			
	Tem/Hum	Rain	Str/Rad	Ap
監視センター	○	○	○	○

注) 表中「測定項目」欄の省略記号は、それぞれ以下のとおり。

- Tem/Hum 気温及び湿度
- Rain 降水量
- Str/Rad 日射量及び放射収支量
- Ap 気圧

## 2 大気常時監視測定結果の概要

平成26年度に測定した常時監視測定項目の結果概要は次のとおりであった。

### (1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

平成26年度の二酸化硫黄の測定局数は、一般環境大気測定局19局であった。

環境基準達成状況について、短期的評価では、18局で環境基準を達成（環境基準達成率95%）しており、平成25年度と比較して達成率が6ポイント改善した（図2-1）。

長期的評価については、全局で環境基準を達成しており、昭和56年度以降環境基準達成率100%を維持している（図2-2）。

二酸化硫黄濃度の全局の年平均値は、0.005ppmであり、平成25年度と比較して0.001ppm低下した。

全局年平均値の推移については、昭和40年代に比べ著しく改善し、近年は横ばい傾向である。

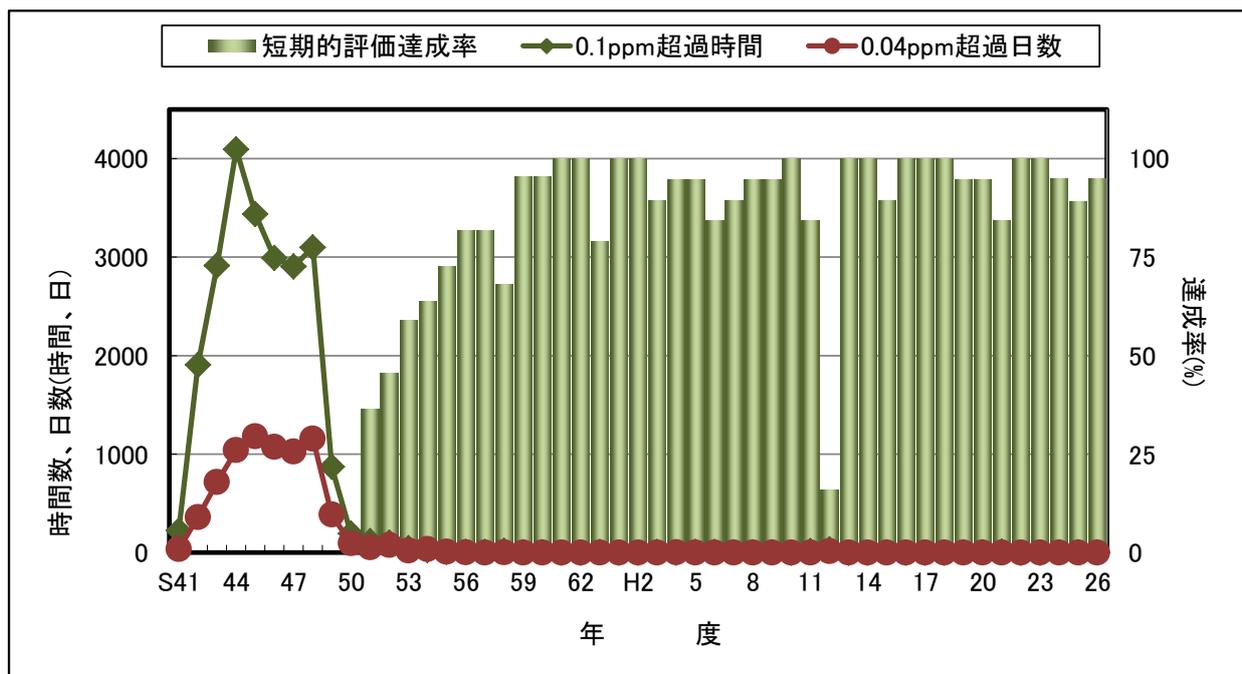


図 2-1 全局SO<sub>2</sub>短期的評価達成率とSO<sub>2</sub>濃度0.1ppm超過時間数、0.04ppm超過日数の経年変化

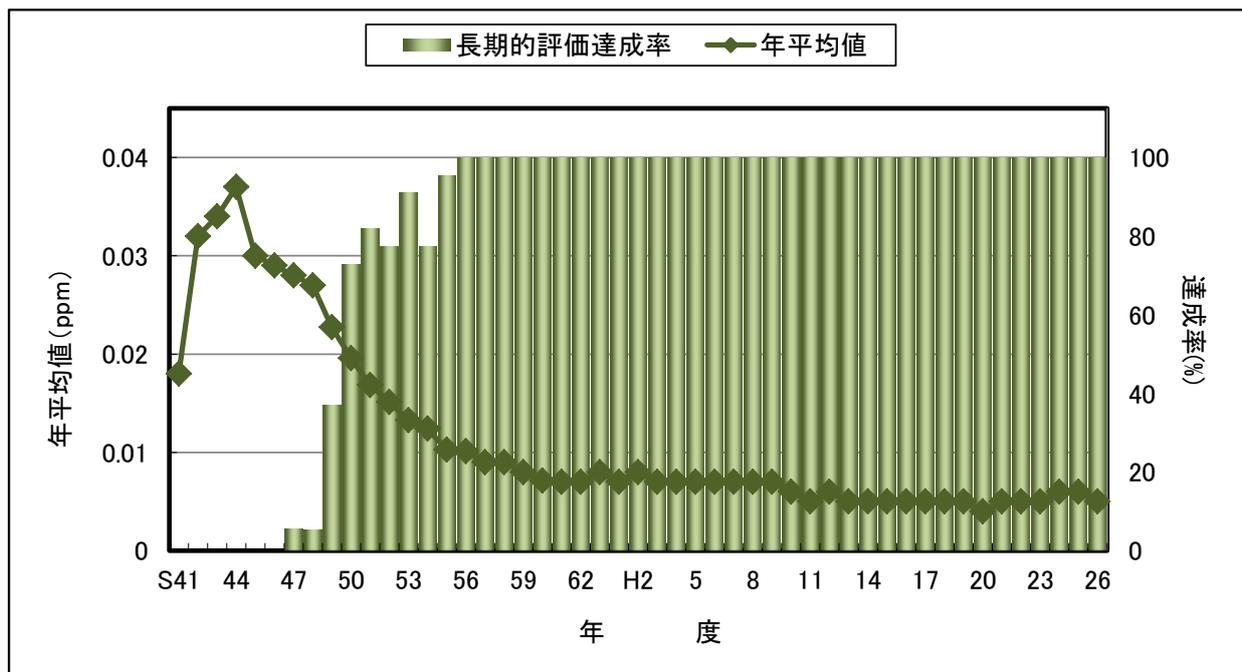


図 2-2 全局SO<sub>2</sub>長期的評価達成率とSO<sub>2</sub>濃度年平均値の経年変化

## (2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

平成26年度の二酸化窒素の測定局数は、19局（一般環境大気測定局15局、自動車排出ガス測定局4局）であった。

環境基準達成状況について、長期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。一般環境大気測定局は測定開始以降、自動車排出ガス測定局は昭和53年度以降環境基準達成率100%を維持している（図2-3）。

二酸化窒素濃度の年平均値は、一般環境大気測定局では0.013ppmであり、平成25年度と比較して0.001ppm低下した。自動車排出ガス測定局では0.016ppmであり、平成25年度と同値であった。

全局年平均値の推移については、一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに近年ゆるやかな改善傾向であった。

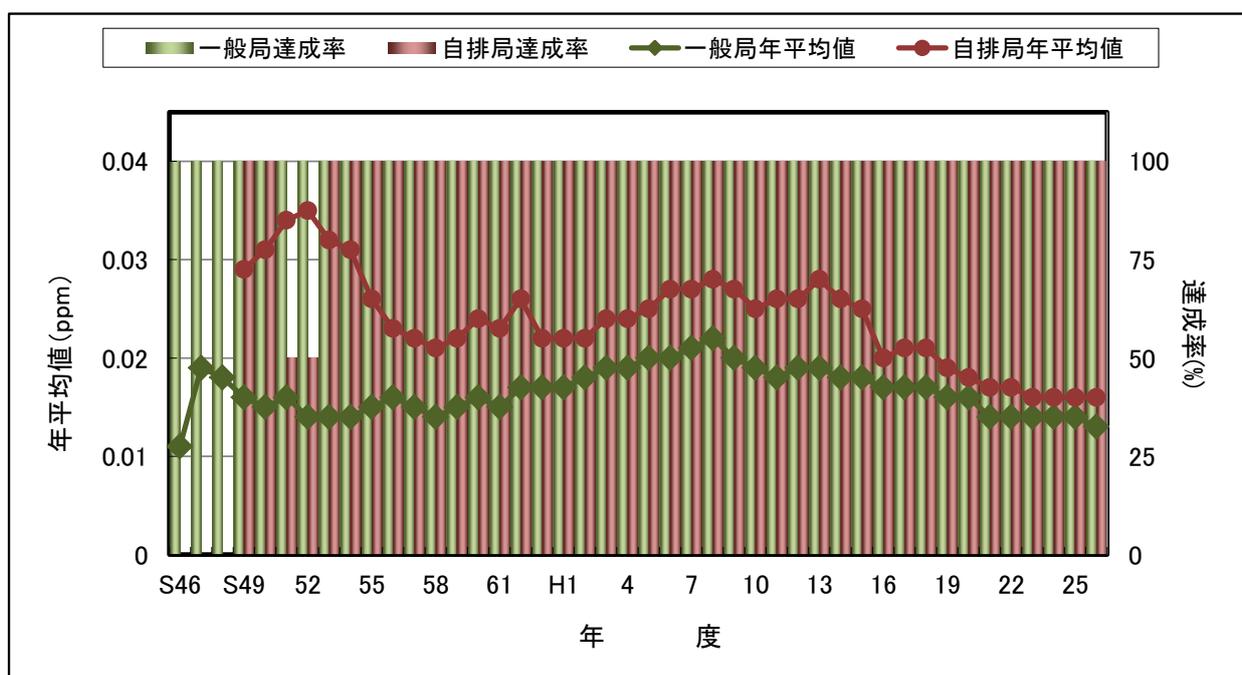


図2-3 局種別NO<sub>2</sub>長期的評価達成率とNO<sub>2</sub>濃度年平均値の経年変化

### (3) 一酸化炭素 (CO)

平成26年度の一酸化炭素の測定局数は、5局（一般環境大気測定局1局、自動車排出ガス測定局4局）であった。

環境基準達成状況について、短期的評価、長期的評価ともに全局で環境基準を達成しており、測定開始以降環境基準達成率100%を維持している（図2-4）。

一酸化炭素濃度の年平均値は、一般環境大気測定局では0.3ppmであり、平成25年度と同値であった。自動車排出ガス測定局では0.3ppmであり、平成25年度と同値であった。

全局年平均値の推移については、一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに近年緩やかな改善傾向であった。

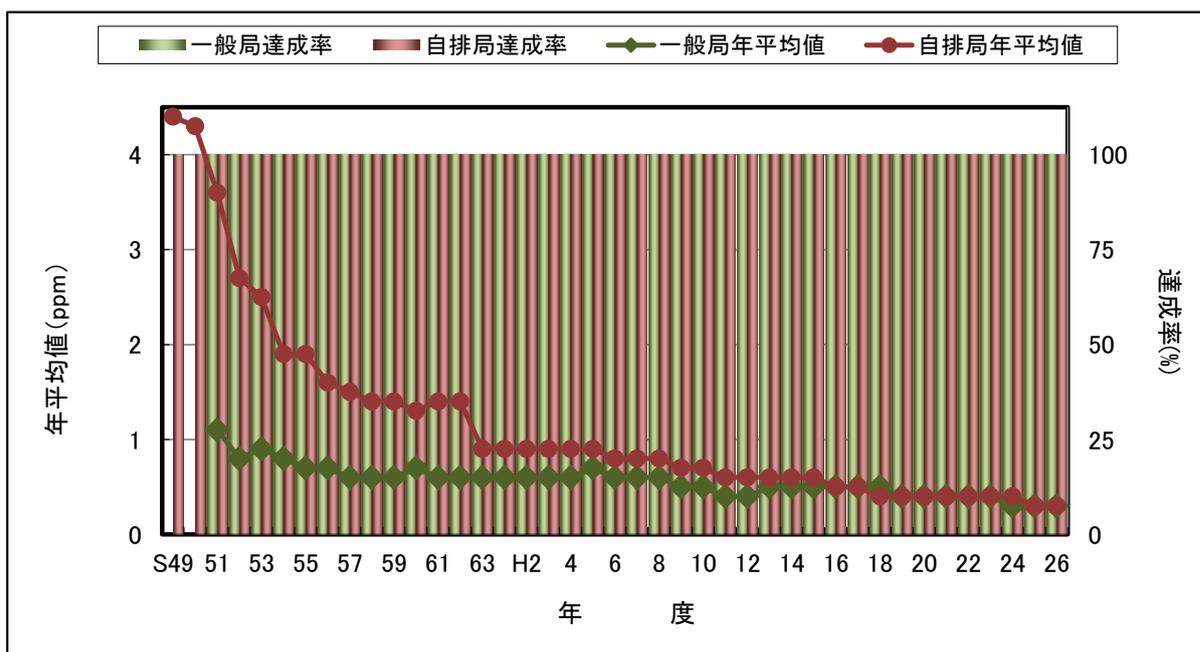


図2-4 局種別CO長期的評価達成率とCO濃度年平均値の経年変化

#### (4) 光化学オキシダント (Ox)

平成26年度の光化学オキシダントの測定局数は、15局（一般環境大気測定局14局、自動車排出ガス測定局1局）であった。

環境基準達成状況について、短期的評価では、全局で環境基準を達成しなかった。光化学オキシダントは、測定開始以降環境基準を達成しておらず、極めて低い水準となっている。

光化学オキシダントの全局年平均値は、0.031ppmであり、平成25年度と同値であった（図2-5）。

全局年平均値の推移については、平成19年度から22年度に高めの傾向が見られたが、平成26年度は例年並みの値であった。

平成26年度における光化学オキシダント情報等の発令日数は3日であり、平成25年度と比較して5日減少した（図2-6）。このうち、注意報に至ったのは1日であった。

光化学オキシダント情報等とは、岡山県大気汚染緊急時対策実施要綱に基づき、光化学オキシダントによる大気汚染が著しくなり、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずるおそれを未然に防ぐ場合（情報）や、生ずるおそれがある場合（注意報）に発令されるものである。情報は倉敷市については倉敷市が、注意報は岡山県が発令する。

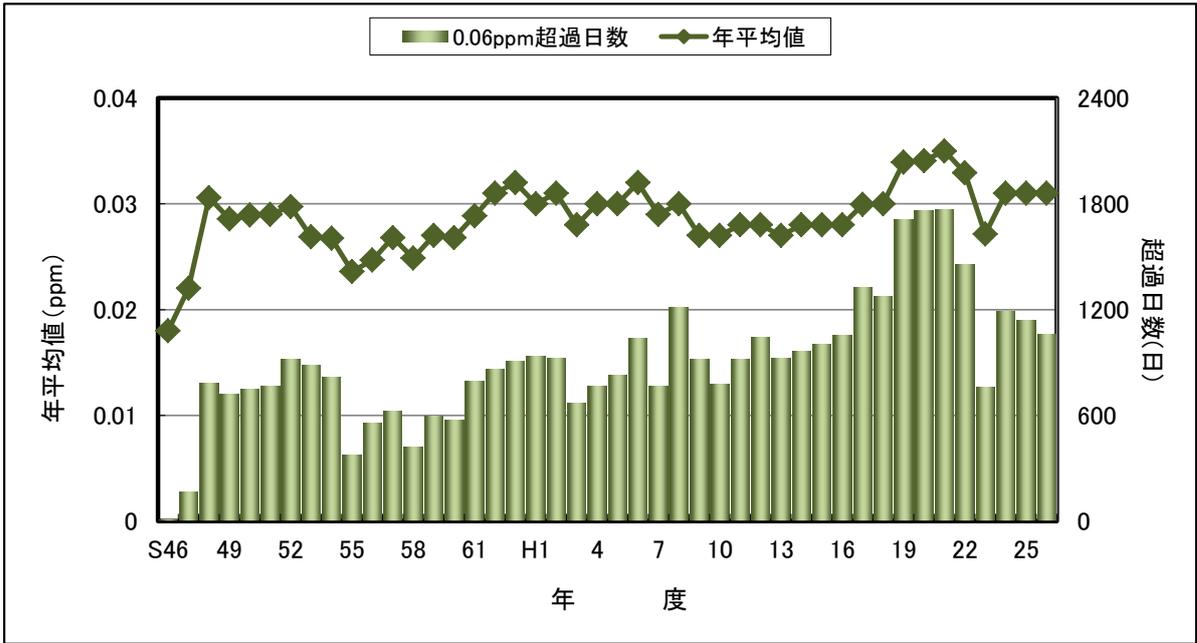


図 2-5 全局0x濃度年平均値と0x濃度0.06ppm超過日数の経年変化

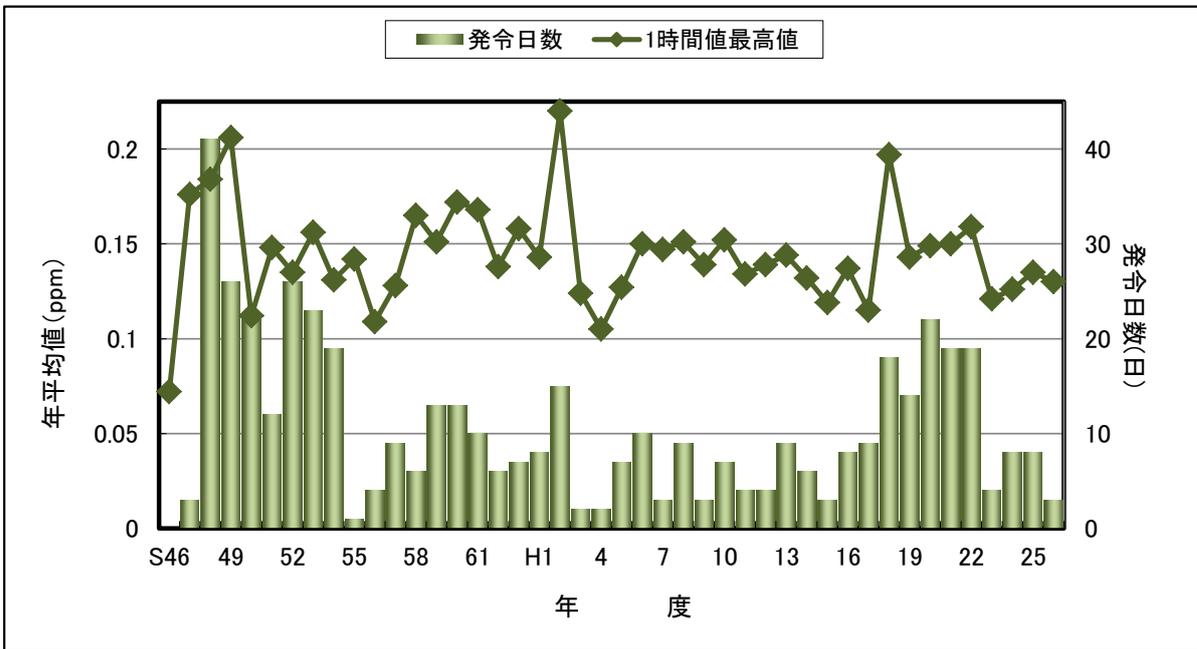


図 2-6 全局0x濃度 1 時間値最高値と光化学オキシダント情報等発令日数の経年変化

## (5) 浮遊粒子状物質 (SPM)

平成26年度の浮遊粒子状物質の測定局数は、18局（一般環境大気測定局15局、自動車排出ガス測定局3局）であった。

環境基準達成状況について、短期的評価では、一般環境大気測定局では、14局で環境基準を達成（環境基準達成率93%）しており、平成25年度と比較して6ポイント改善した。自動車排出ガス測定局では、平成25年度に引き続き全局で環境基準を達成した（図2-7、図2-8）。

長期的評価について、平成25年度に引き続き一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに全局で環境基準を達成した（図2-9）。

浮遊粒子状物質濃度の年平均値は、一般環境大気測定局では $0.022\text{mg}/\text{m}^3$ であり、平成25年度と比較して $0.002\text{mg}/\text{m}^3$ 低い値となった。自動車排出ガス測定局では、 $0.021\text{g}/\text{m}^3$ であり、平成25年度と比較して $0.001\text{mg}/\text{m}^3$ 低下した。

全局年平均値の推移については、一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともにゆるやかな改善傾向であった。

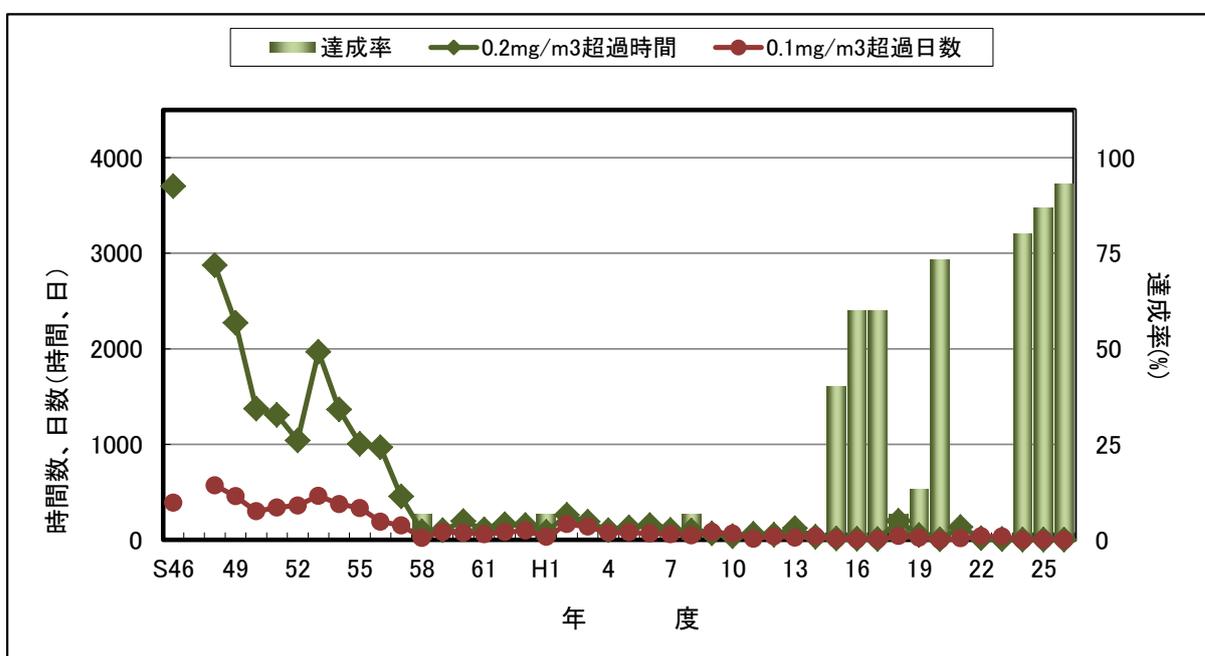


図2-7 一般環境大気測定局SPM短期的評価達成率、SPM濃度 $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ 超過時間数及び $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ 超過日数の経年変化

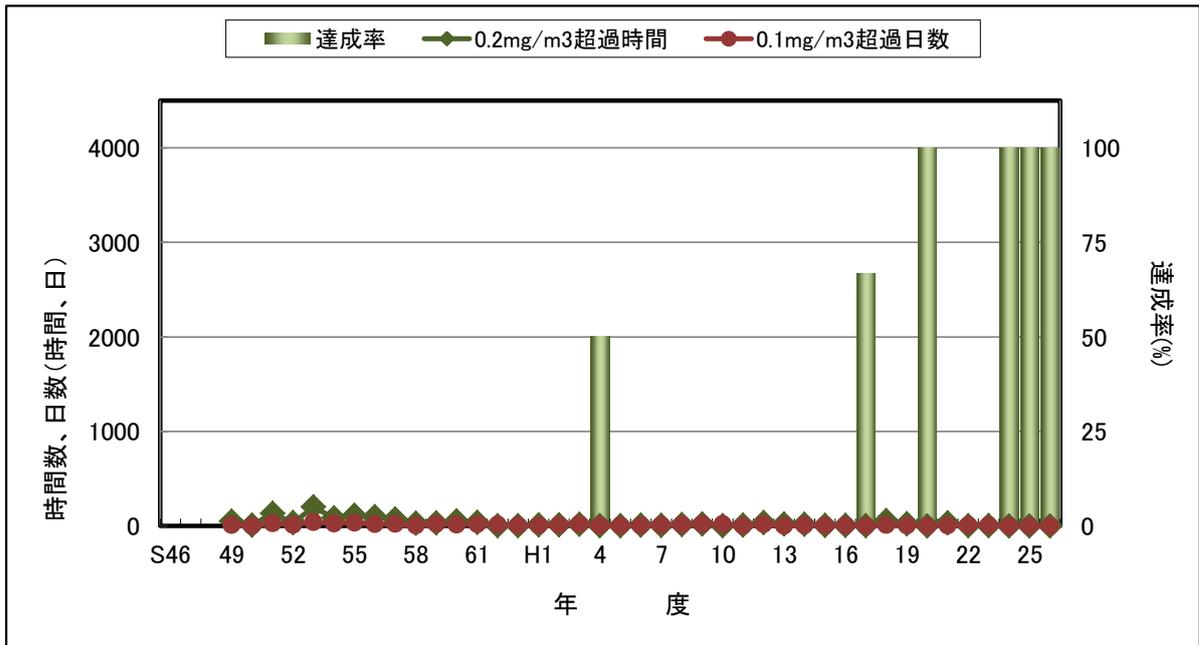


図 2-8 自動車排出ガス測定局SPM短期的評価達成率とSPM濃度0.2mg/m<sup>3</sup>超過時間数、0.1mg/m<sup>3</sup>超過日数の経年変化

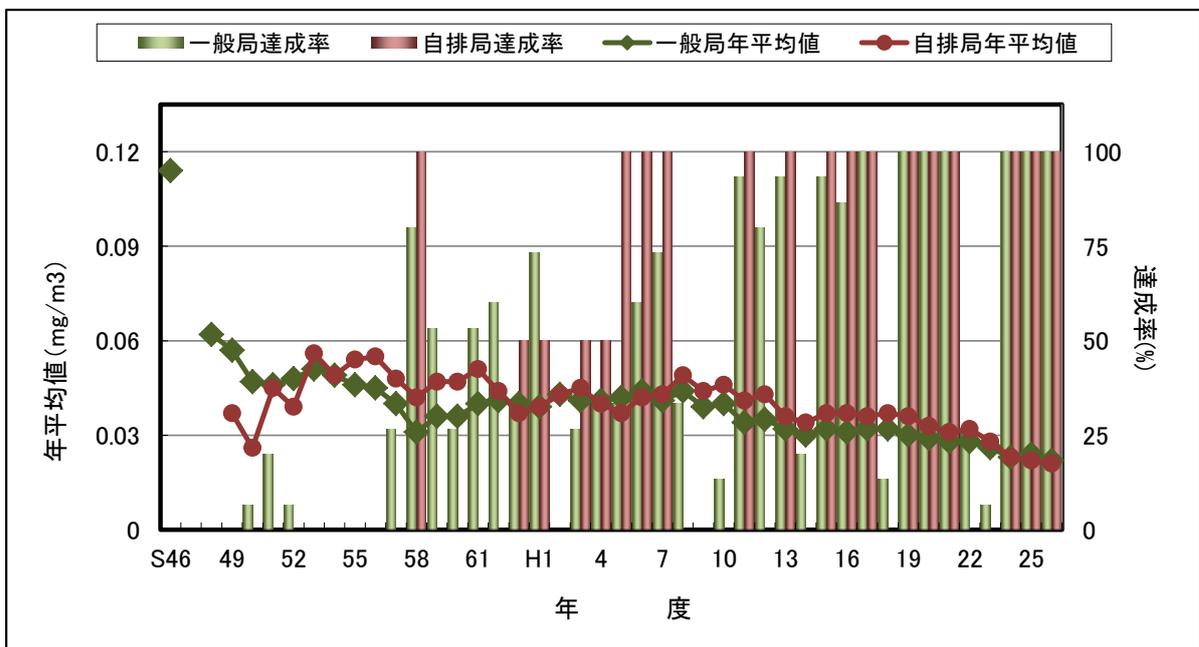


図 2-9 局種別SPM長期的評価達成率とSPM濃度年平均値の経年変化

## (6) 微小粒子状物質 (PM2.5)

倉敷市では、平成24年度から微小粒子状物質の測定を開始しており、平成26年度の微小粒子状物質の測定局数は、10局（一般環境大気測定局8局、自動車排出ガス測定局2局）であった。なお、平成25年度の測定局数（有効測定日が年間250日以上あり、評価の対象となるもの）は、6局（一般環境大気測定局5局、自動車排出ガス測定局1局）、平成24年度の測定局数（有効測定日が年間250日以上あるもの）は、4局（一般環境大気測定局3局、自動車排出ガス測定局1局）であった。

環境基準達成状況について、長期的評価では、一般環境大気測定局、自動車排出ガス測定局ともに全局で環境基準を超過した（図2-10、図2-11）。平成24年度の測定開始以降、環境基準を達成した局はない。

微小粒子状物質濃度の平成26年度の年平均値は、一般環境大気測定局では $18.8\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、自動車排出ガス測定局では $16.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった（図2-12）。

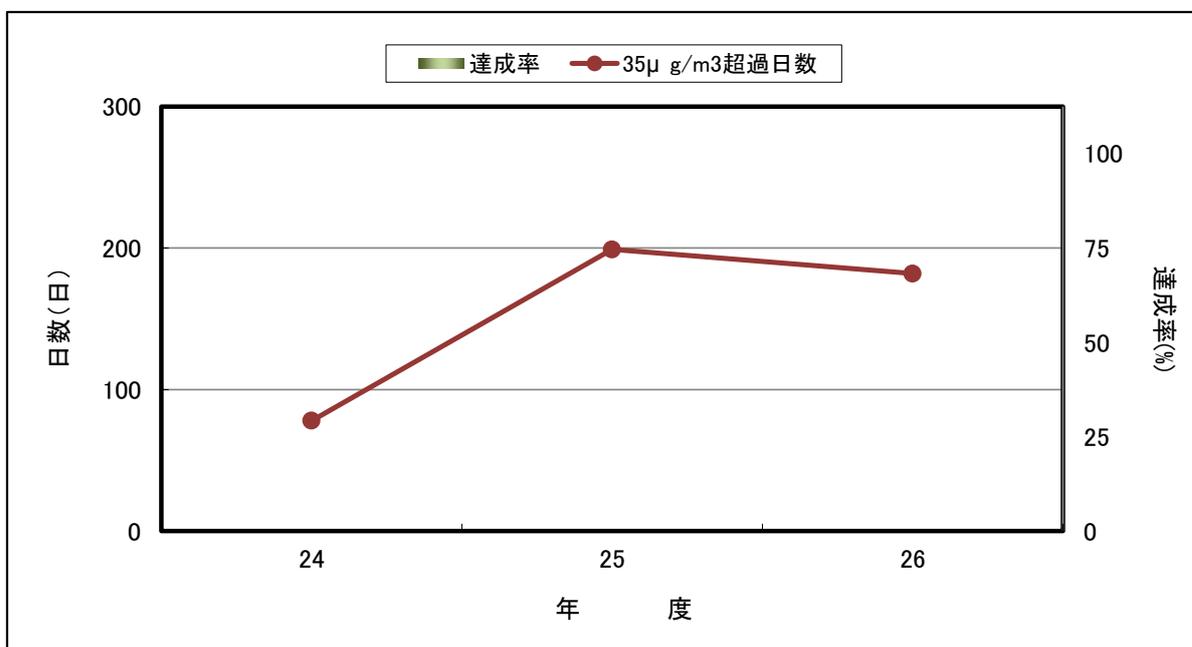


図2-10 一般環境大気測定局PM2.5短期的評価達成率とPM2.5濃度 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超過日数の経年変化

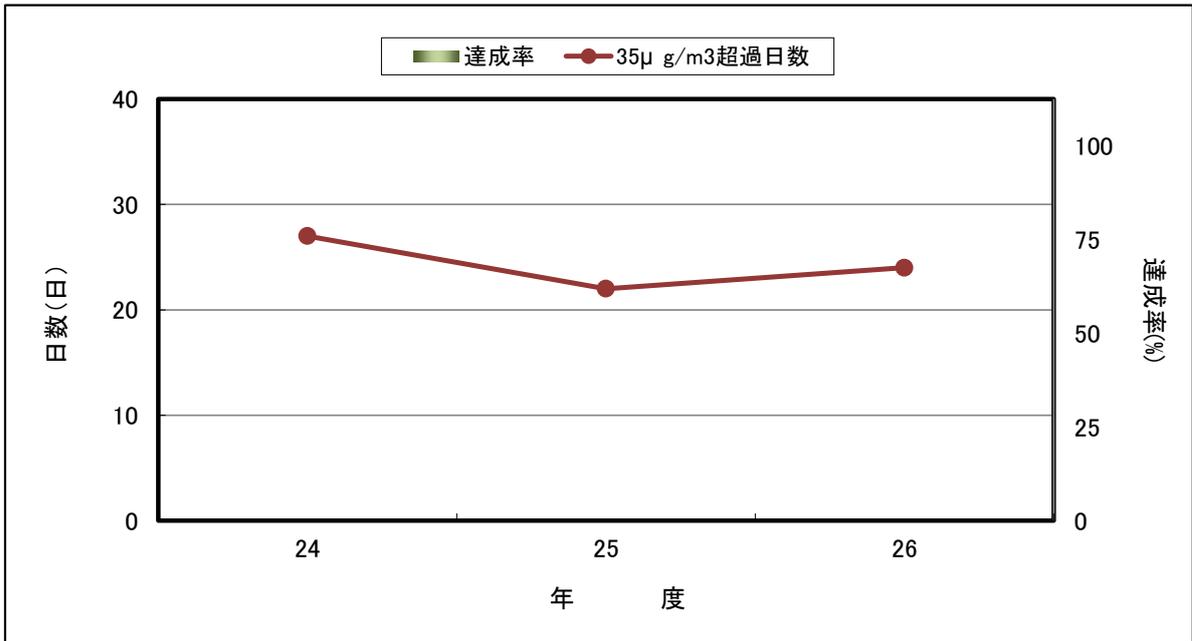


図 2-11 自動車排ガス測定局PM2.5短期的評価達成率とPM2.5濃度35 $\mu$ g/m<sup>3</sup>超過日数の経年変化

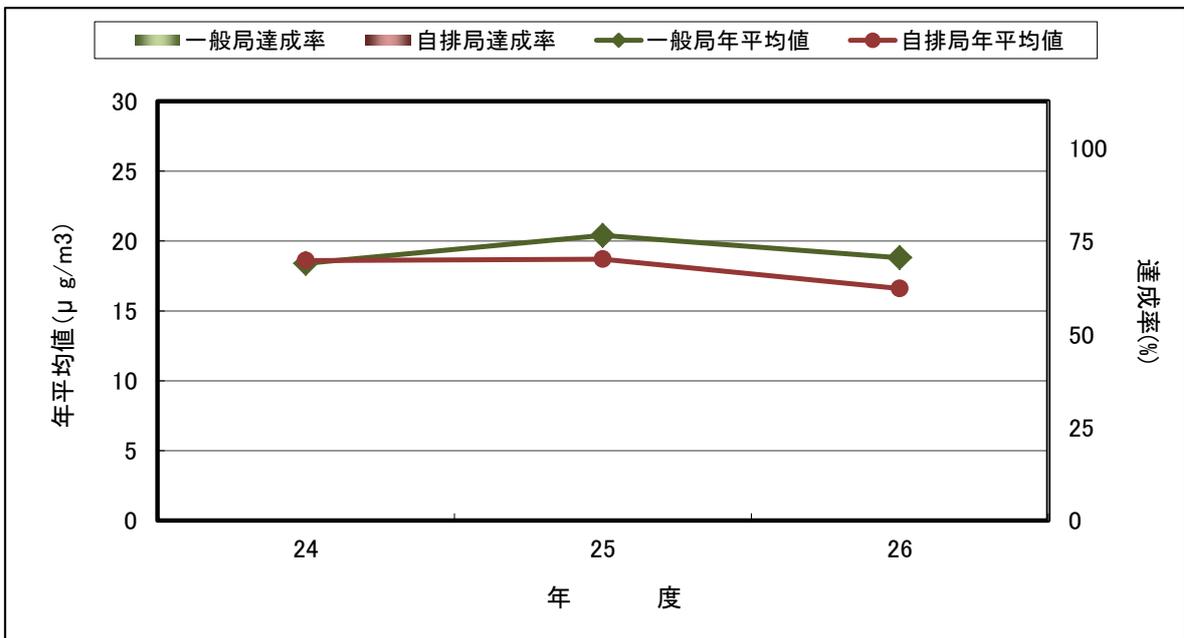


図 2-12 局種別PM2.5長期的評価達成率とPM2.5濃度年平均値の経年変化

### 3 項目別測定結果

#### (1) 一般環境大気測定局

##### ア 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

測定した19局の年平均値は0.004～0.007ppmの範囲にあった。全局の年平均値は0.005ppmであり、平成25年度と比較して0.001ppm低下した。年平均値の最高値(0.007ppm)は呼松局であった。

図3-1に全局の年平均値の経年変化を示す。

全局の年平均値は、最近10年間は横ばい傾向である

図3-2に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、5月が0.008ppmで最も高く、10月が最も低く0.003ppmであった。通年では、秋季に低下し春季にかけて上昇する例年と同様の傾向であった。

1時間値の最高値は0.101ppm(8月20日14時 呼松局)であり、1時間値が0.1ppmを超過したのは1時間であった。

1日平均値の最高値は0.025ppm(5月31日 呼松局)であり、1日平均値が0.04ppmを超えた測定局はなかった。

短期的評価の結果、1局(呼松局)で環境基準を超過した。平成25年度と比較して1局減少した。他の18局では環境基準を達成した。達成率は95%であり、平成25年度と比較して6ポイント増加した。

年間にわたる1日平均値のうち高い方から2%の範囲にあるものを除外した最高値(以下「1日平均値の2%除外値の最高値」という。)は0.008～0.017ppmの範囲にあり、いずれも0.04ppm未満以下であった。最高値(0.017ppm)は呼松局であった。1日平均値が0.04ppmを超える日が2日以上連続した測定局はなかった。

長期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。

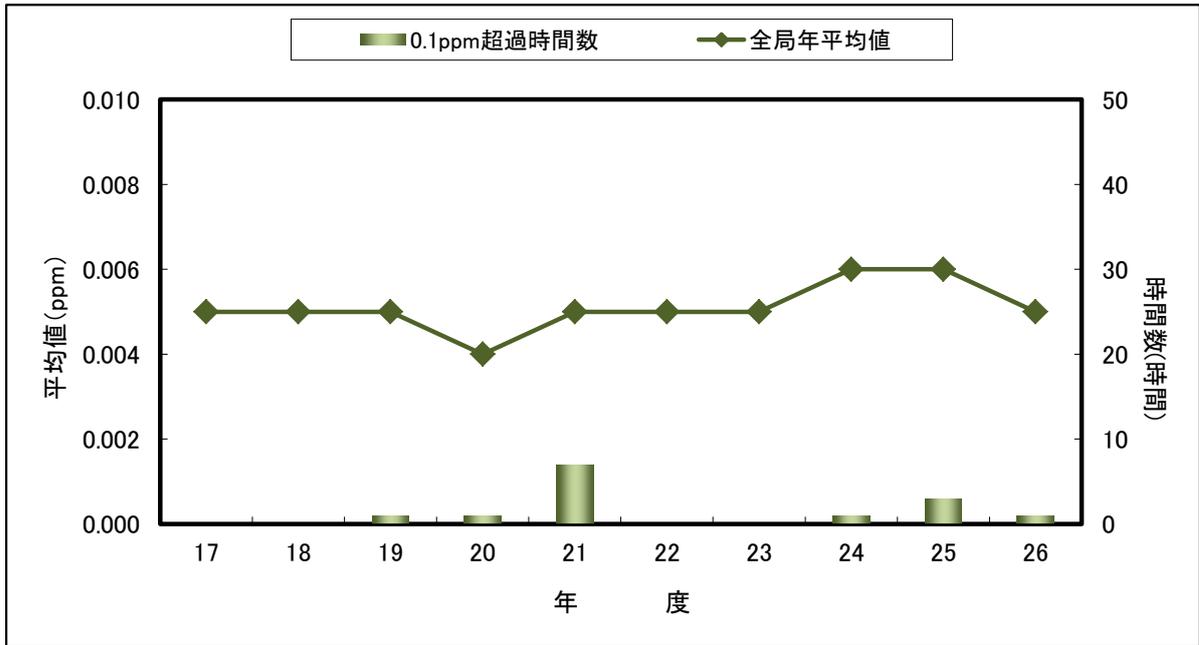


図 3-1 全局SO<sub>2</sub>濃度年平均値の経年変化

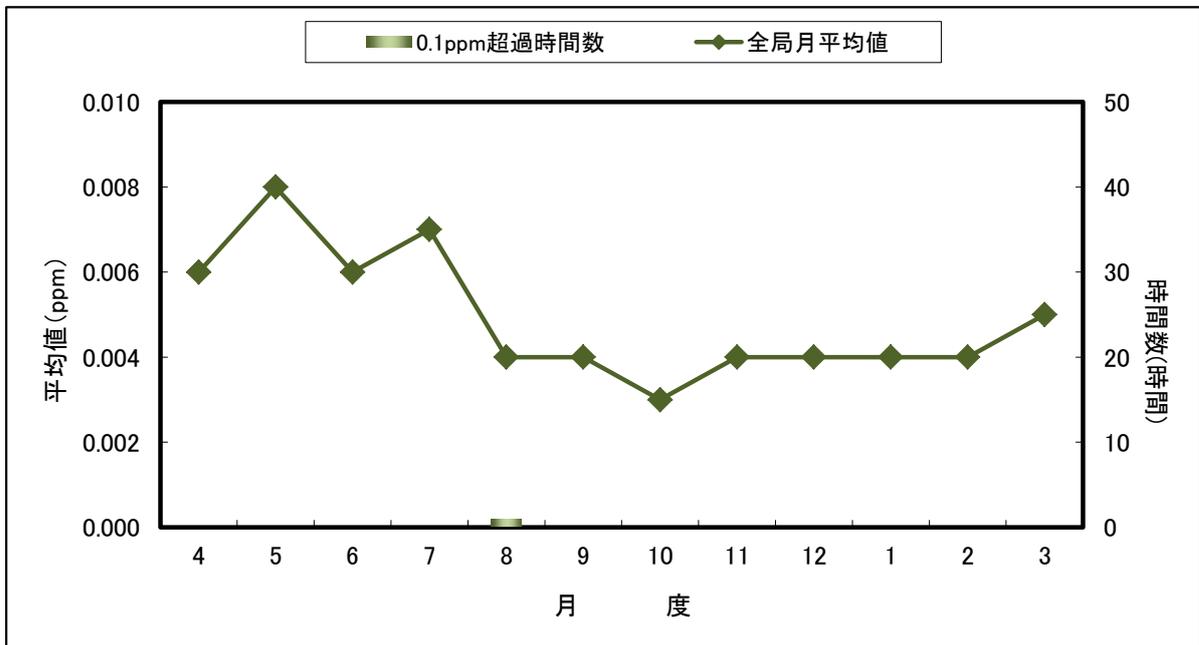


図 3-2 全局SO<sub>2</sub>濃度月平均値の経月変化

## イ 窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

### (ア) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

測定した15局の年平均値は0.007～0.017ppmの範囲にあった。全局の年平均値は0.013ppmであり、平成25年度と比較して0.001ppm低下した。年平均値の最高値は豊洲局(0.017ppm)であった。

図3-3に全局の年平均値の経年変化を示す。

全局の年平均値は、最近10年間は緩やかな改善傾向である。

図3-4に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、3月及び4月が0.017ppmで最も高く、8月及び9月が0.009ppmで最も低かった。通年では、春季から夏季に低下し、秋季から冬季に上昇する傾向であった。

1時間値の最高値は0.074ppm(4月16日19時 及び 3月31日18時 いずれも監視センター局)、1日平均値の最高値は0.049ppm(4月16日 監視センター局)であった。

1日平均値が0.04から0.06ppmまでのゾーン内となった日数は6日で、平成25年度と比較して4日増加した。1日平均値が0.06ppmを超えた測定局はなかった。

年間にわたる1日平均値のうち低い方から98%に相当する値の最高値(以下「1日平均値の年間98%値」という。)は監視センター局での0.035ppmであり、全局において0.04ppm以下であった。

長期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。

倉敷市(旧真備町、旧船穂町を除く。)は、「二酸化窒素に係る環境基準について」(昭和53年環境庁告示第38号)における第二の「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内にある地域」と判定されている。この判定は、昭和54年8月7日付け環大企第310号環境庁大気保全局長通知「二酸化窒素に係る環境基準に基づく地域区分について」に示されている。

当該地域では、原則として、0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内において現状程度の水準(昭和52年度における一般環境大気測定局の1日平均値の年間98%値の上位3局平均値0.04ppm(監視センター局(0.046ppm)、児島局(0.039ppm)、玉島局(0.035ppm))を維持し、またはこれを大きく上回ることはないよう努めるものとされている。

当該地域における二酸化窒素濃度の動向の評価は、当該地域内の一般環境大気測定局の1日平均値の年間98%値の上位3局平均値によることとされており、平成26年度の上位3局(監視センター局(0.035ppm)、豊洲局(0.033ppm)、松江局(0.029ppm))の平均値は0.032ppmであり、0.04ppm以下を維持していた。

(イ) 一酸化窒素 (NO)

測定した15局の年平均値は0.001～0.008ppmの範囲にあった。全局の年平均値は0.003ppmであり、平成25年度と比較して0.001ppm低下した。年平均値の最高値は豊洲局 (0.008ppm) であった。

年平均値の経年変化を図3-3に示す。

最近10年間は緩やかな改善傾向である。

月平均値の経月変化を図3-4に示す。

月平均値は、11月、12月及び3月が0.005ppmで最も高く、9月が0.001ppmで最も低かった。

1時間値の最高値は0.139ppm (11月19日8時 豊洲局 及び 3月19日9時 監視センター局) であった。

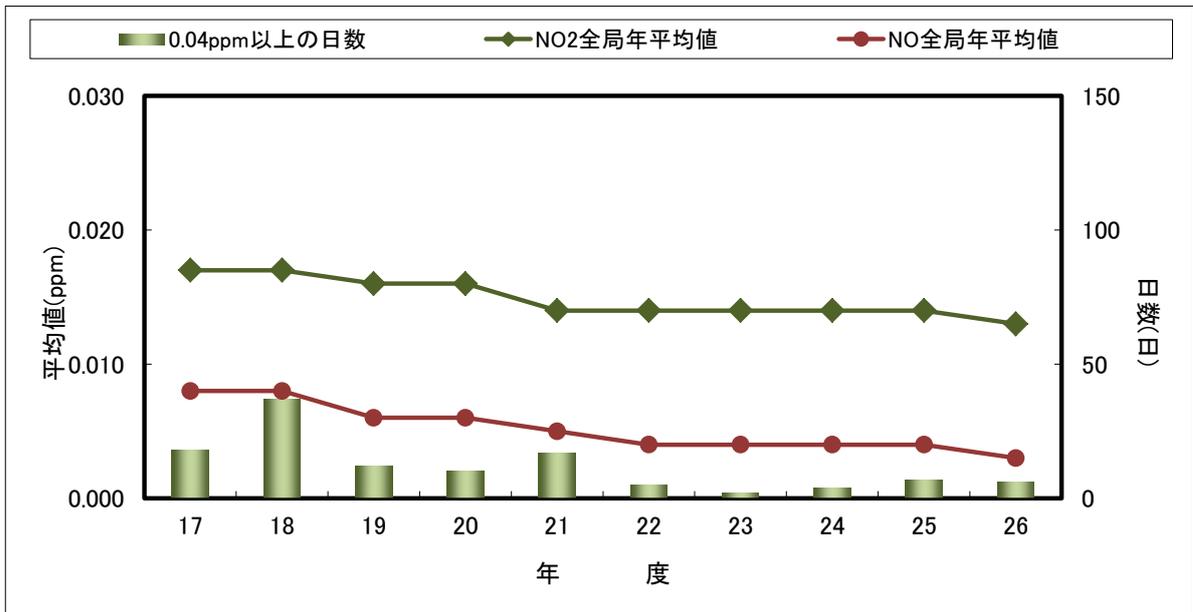


図 3-3 全局NO<sub>2</sub>、NO濃度年平均値とNO<sub>2</sub>濃度0.04ppm以上の日数の経年変化

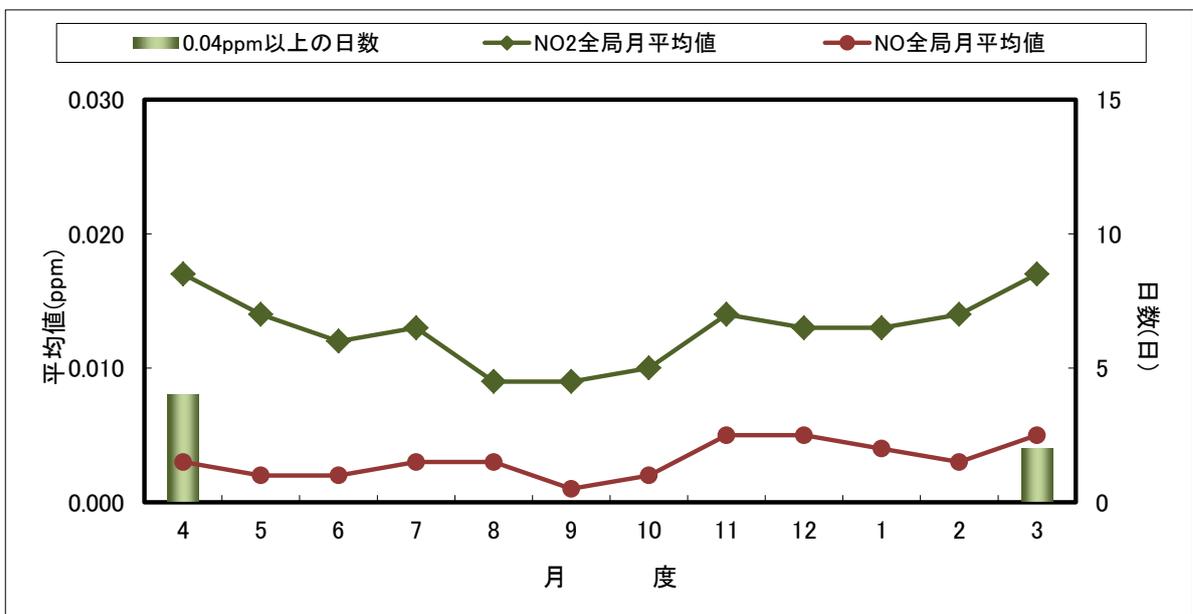


図 3-4 全局NO<sub>2</sub>、NO濃度月平均値とNO<sub>2</sub>濃度0.04ppm以上の日数の経月変化

#### ウ 一酸化炭素 (CO)

測定したのは一般環境大気測定局では倉敷美和局 1 局であり、年平均値は0.3ppmであった。

図 3-5に年平均値の経年変化を示す。

年平均値は、最近10年間は緩やかな改善傾向である。

図 3-6に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、4月が0.4ppmで高く、6月から10月が0.2ppmで低かった。

8時間値の最高値は0.9ppm（11月16日17時から24時 及び 12月15日17時から24時）であり、20ppm以下であった。1日平均値の最高値は0.6ppm（4月16日、4月17日、6月1日、11月22日、3月17日及び3月21日）であり、10ppm以下であった。

短期的評価の結果、環境基準を達成した。

1日平均値の2%除外値の最高値は0.5ppmであり、10ppm以下であった。

長期的評価の結果、環境基準を達成した。

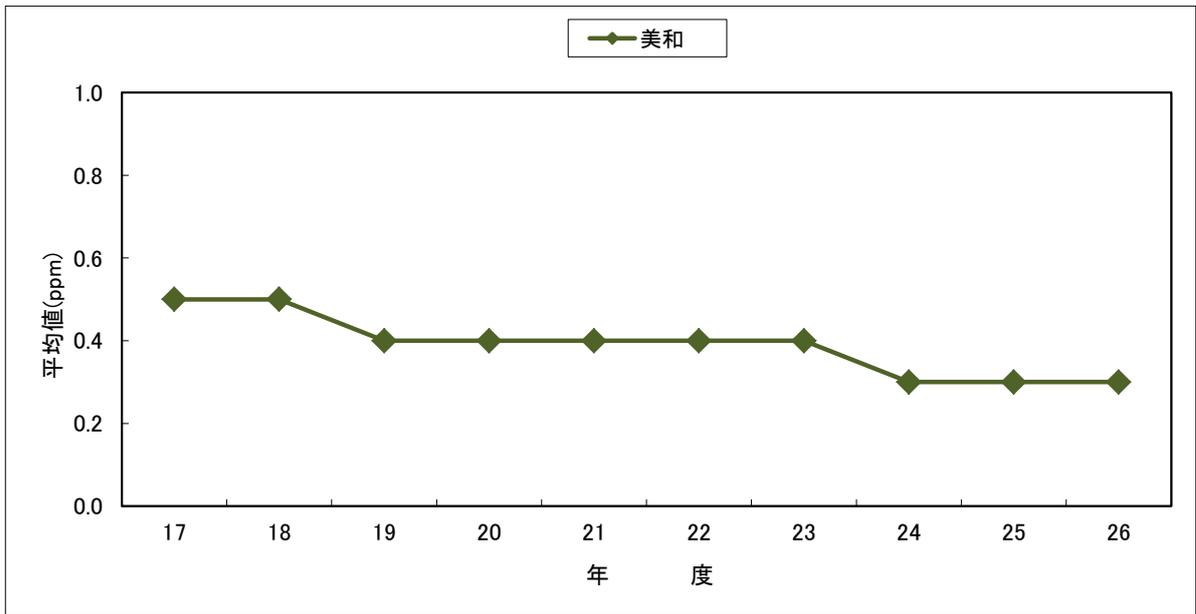


図 3-5 倉敷美和局CO濃度年平均値の経年変化

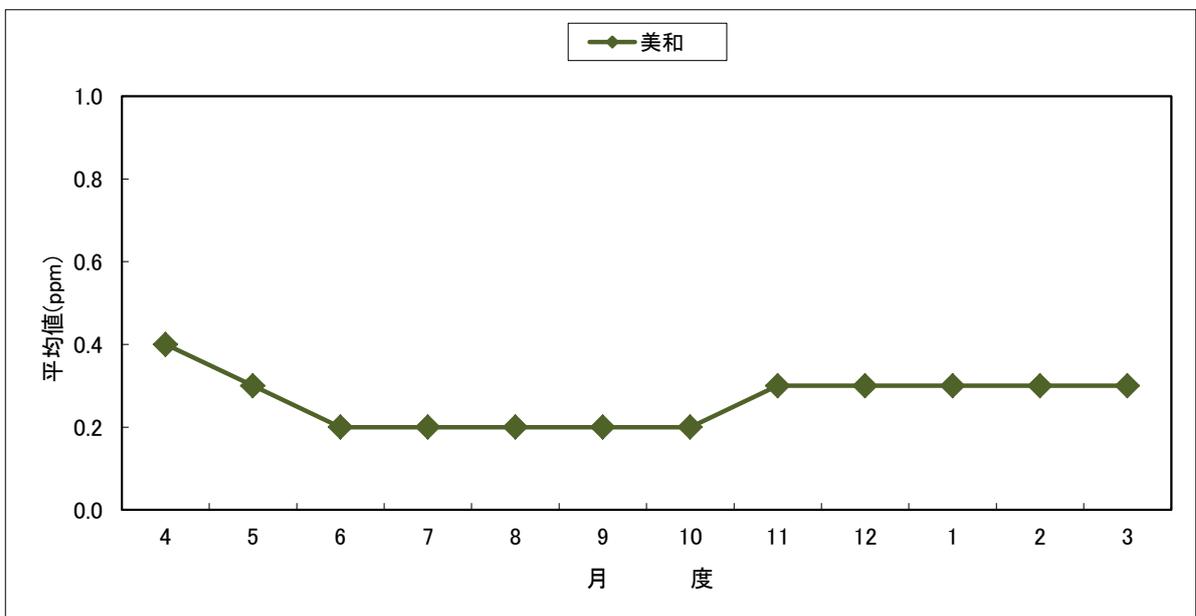


図 3-6 倉敷美和局CO濃度月平均値の経月変化

## エ 光化学オキシダント (Ox) <集計値は5時から20時の値>

測定した14局の年平均値は0.027～0.034ppmの範囲にあった。全局の年平均値は0.031ppmであり、平成25年度と同値であった。

図3-7に1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経年変化を示す。

1時間値が0.06ppmを超えた時間数は、平成26年度は5,279時間であり、平成25年度と比較して312時間増加した。局別では真備局が543時間で最も多かった。最近10年間では平成21年度をピークとして減少傾向である。

図3-8に1時間値が0.06ppmを超えた時間数の月別変化を示す。

1時間値が0.06ppmを超えた時間数は、5月が最も多く1,945時間であった。1時間値の最高値は0.112ppm(5月29日15時 真備局)であった。全局で1時間値が0.06ppmを超えていた。

短期的評価の結果、全局で環境基準を達成しなかった。

光化学オキシダント注意報発令基準である1時間値が0.12ppm以上となった時間はなかった。

光化学オキシダント情報等の発令状況について、情報Ⅰが3回発令され、そのうち情報Ⅱ及び注意報が各1回発令された。平成25年度と比較して、情報Ⅰ発令回数は5回減少し、情報Ⅱ及び注意報の発令回数は2回減少した。

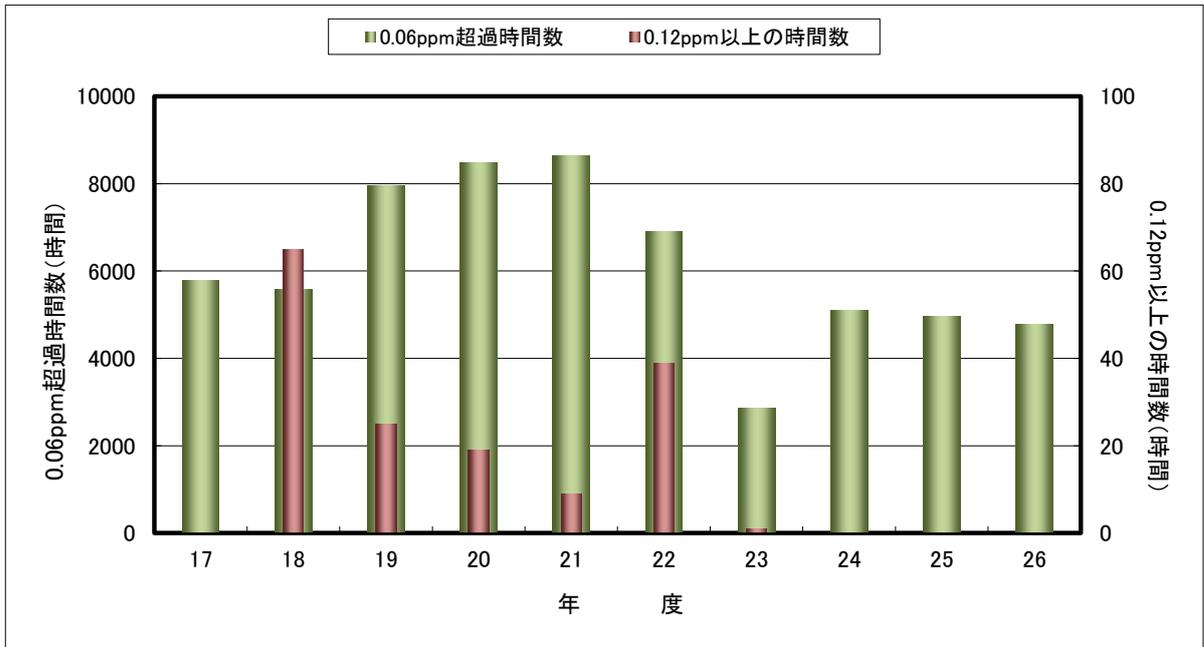


図 3-7 全局0x濃度0.06ppm超過時間数と0.12ppm以上の時間数の経年変化

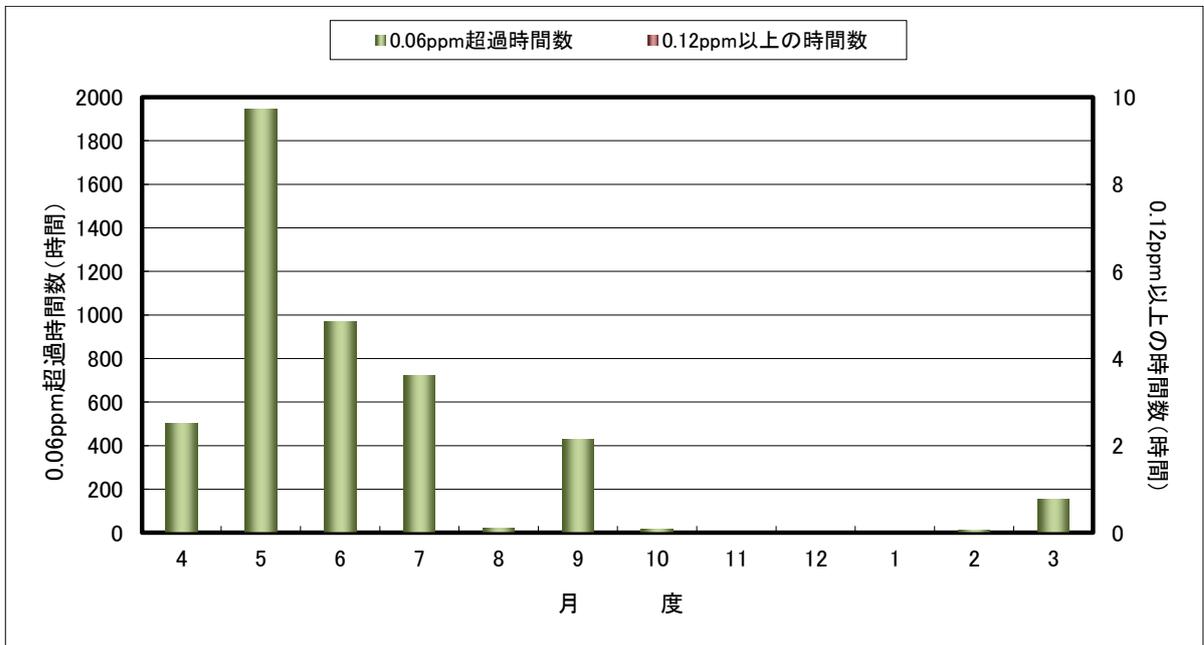


図 3-8 全局0x濃度0.06ppm超過時間数と0.12ppm以上の時間数の経月変化

## オ 浮遊粒子状物質（SPM）

測定した15局の年平均値は0.019～0.026mg/m<sup>3</sup>の範囲にあった。全局の年平均値は0.022mg/m<sup>3</sup>であった。年平均値が最も高かったのは、松江局及び広江局（0.026mg/m<sup>3</sup>）であった。

図3-9に全局の年平均値の経年変化を示す。

全局の年平均値は、最近10年間は緩やかな改善傾向である。

図3-10に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、7月が最も高く0.031mg/m<sup>3</sup>であり、12月が最も低く0.015mg/m<sup>3</sup>であった。通年では、春季から夏季にかけて上昇し7月にピークとなった後、冬季にかけて低下した。

1時間値の最高値は0.210mg/m<sup>3</sup>（12月11日9時 広江局）であり、1日平均値の最高値は0.094mg/m<sup>3</sup>（5月31日 呼松局）であった。

1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>を超えた時間数は1時間（0.210mg/m<sup>3</sup>（広江局））であり、平成25年度と比較して1時間減少した。1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日はなく、平成25年度と比較して2日減少した。

短期的評価の結果、1局（広江局）で環境基準を達成しなかったが、他の14局は環境基準を達成した。

1日平均値の2%除外値の最高値は0.042～0.064mg/m<sup>3</sup>の範囲にあり、いずれも0.10mg/m<sup>3</sup>以下であった。最高値（0.064mg/m<sup>3</sup>）は松江局及び呼松局であった。1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超える日が2日以上連続した測定局はなかった。

長期的評価の結果、全局において環境基準を達成した。

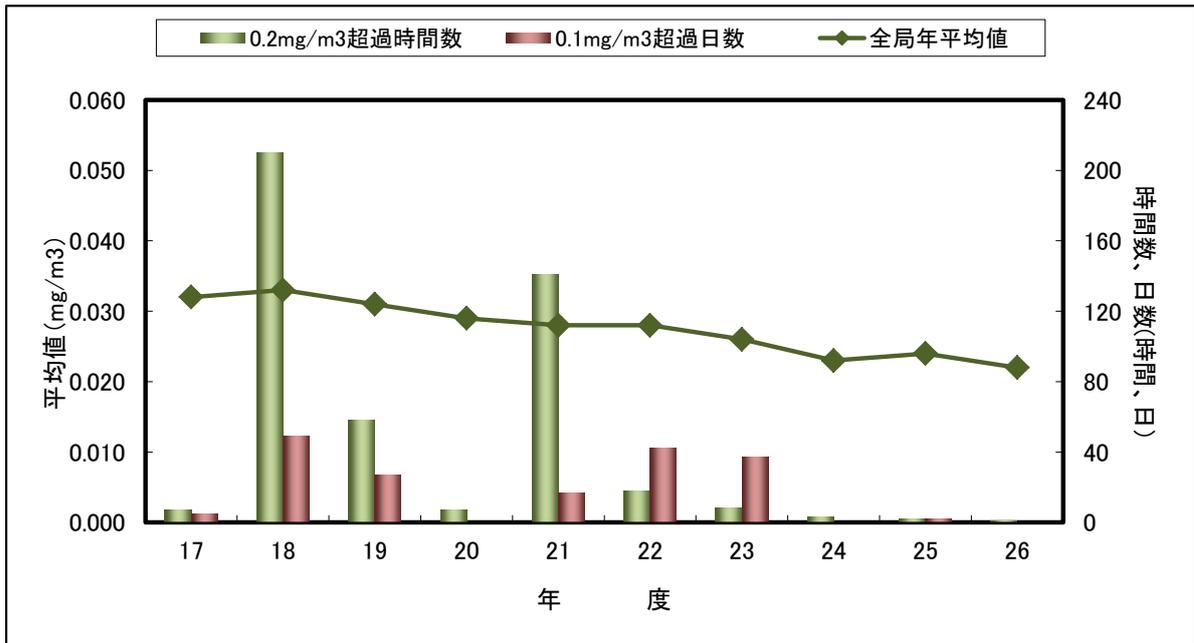


図 3-9 全局SPM濃度年平均値、0.2mg/m<sup>3</sup>超過時間数及び0.1mg/m<sup>3</sup>超過日数の経年変化

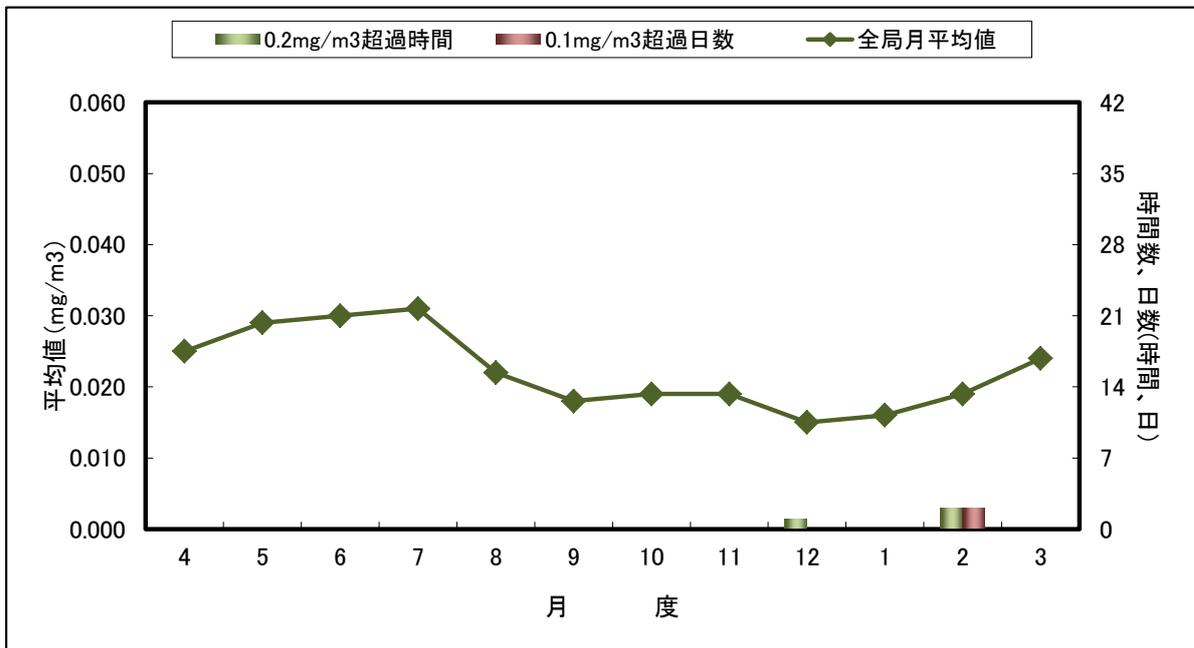


図 3-10 全局SPM濃度月平均値、0.2mg/m<sup>3</sup>超過時間数及び0.1mg/m<sup>3</sup>超過日数の経月変化

## カ 非メタン炭化水素 (NMHC)

測定したのは一般環境大気測定局では倉敷美和局及び監視センター局の2局であった。

図3-11に6時から9時までの3時間平均値の年平均値(以下「3時間平均値」という。)の経年変化を示す。

年平均値は、倉敷美和局0.014ppmC、監視センター局は0.13ppmCであった。最近10年間は緩やかな改善傾向である。

図3-12に6時から9時までの3時間平均値の月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、倉敷美和局では11月、監視センター局では7月にピークとなっているが、1年を通じてほぼ横ばい傾向である。

3時間平均値が0.31ppmCを超えた日数は倉敷美和局が8日、監視センター局が1日で、平成25年度と比較してそれぞれ2日増加、1日減少であった。全局で指針値を超えた。

3時間平均値が0.20ppmC、0.31ppmCを超えた日数の割合は、それぞれ倉敷美和局が10.3%、2.2%、監視センター局が8.0%、0.3%であった。平成25年度と比較してそれぞれ倉敷美和局が5.5ポイント悪化、0.5ポイント改善、監視センター局が1.6ポイント悪化、0.3ポイント悪化であった。

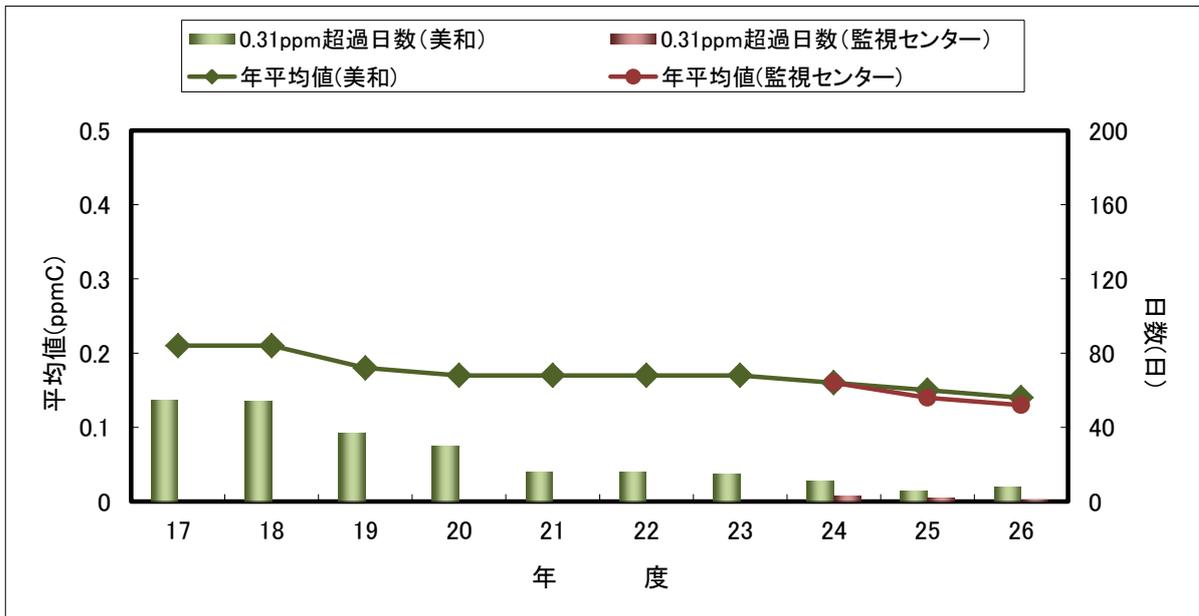


図 3-11 NMHC濃度と0.31ppmC超過日数の経年変化

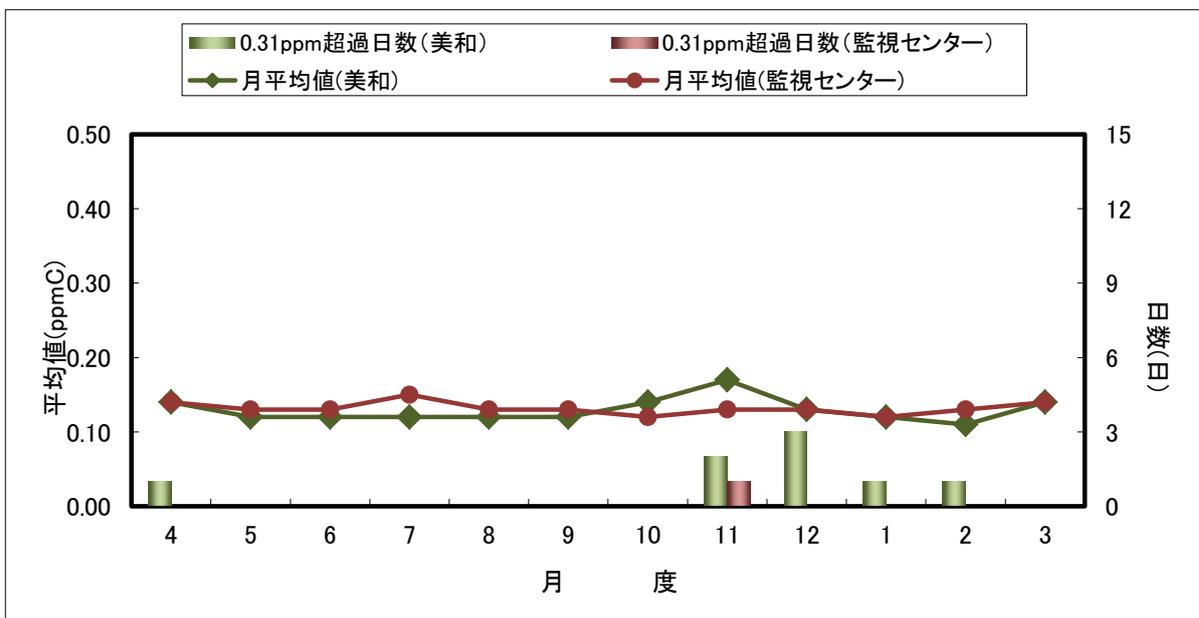


図 3-12 NMHC6-9時の3時間濃度の月平均値と0.31ppmC超過日数の経月変化

## キ 微小粒子状物質 (PM2.5)

平成26年度に測定した一般大気環境測定局8局の年平均値は15.2～23.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ の範囲にあり、全局で年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えていた。全局の年平均値は18.8 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。年平均値が最も高かったのは、塩生局 (23.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ) であった。

図3-13に月平均値の経月変化を示す。月平均値は、5月が最も高く23.3 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、8月が最も低く12.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。通年では、夏季にかけて低下した後、冬季にかけて上昇した。

1時間値の最高値は158 $\mu\text{g}/\text{m}^3$  (11月24日19時 茶屋町局) であり、1日平均値の最高値は71.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$  (5月31日 松江局) であった。

1日平均値は全局で35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日があり、その割合は1.1～11.8%の範囲にあった。1日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数が最も多かったのは塩生局 (43日) であった。1年間では延べ182日であった。

年間にわたる1日平均値のうち低い方から98%に相当する値は、33.0～50.7 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ の範囲にあり、全局で年平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えていた。

長期的評価の結果、全局で環境基準を達成しなかった。

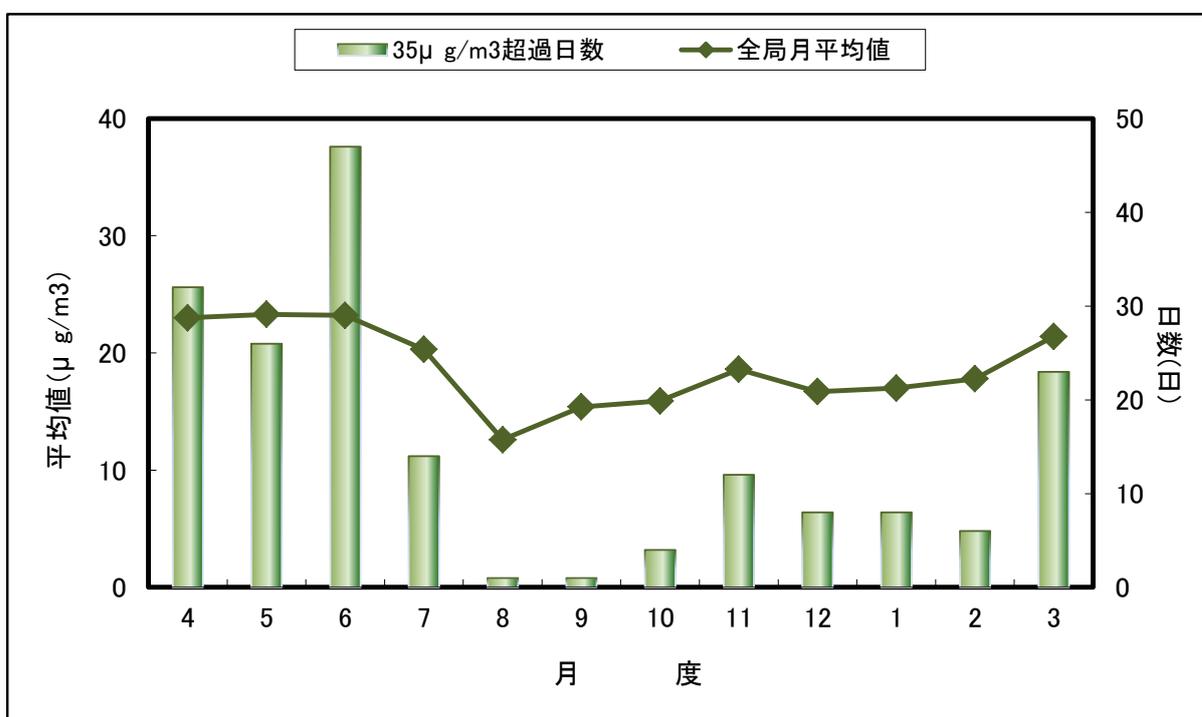


図3-13 全局PM2.5濃度月平均値と35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超過日数の経月変化

## (2) 自動車排出ガス測定局

### ア 窒素酸化物

#### (ア) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

測定した4局の年平均値は0.015～0.018ppmの範囲にあり、全局の年平均値は0.016ppmであった。年平均値の最も高かったのは駅前局(0.018ppm)であった。

図3-14に年平均値の経年変化を示す。

年平均値は、一般環境大気測定局と同様、最近10年間は緩やかな改善傾向である。

図3-15に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、1月が0.021ppmで最も高く、8月が0.011ppmで最も低かった。通年では、春季から夏季にかけて低下し、秋季から冬季にかけて上昇していた。

1時間値の最高値は0.072ppm(4月9日21時 庄局)であり、1日平均値の最高値は0.042ppm(4月16日 大高局)であった。

1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内となった日は3日あり、平成25年度と比較して3日増加した。1日平均値の年間98%値の最高値は0.031ppm(駅前局)であり、1日平均値の最高値が0.06ppmを超えた測定局はなかった。

長期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。

#### (イ) 一酸化窒素 (NO)

測定した4局の年平均値は0.003～0.010ppmの範囲にあり、全局の年平均値は0.006ppmであった。年平均値の最も高かったのは駅前局(0.010ppm)であった。

図3-14に年平均値の経年変化を示す。

年平均値は、一般環境大気測定局と同様、最近10年間は緩やかな改善傾向である。

図3-15に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、11月が0.011ppmで最も高く、5月が0.003ppmで最も低かった。通年では、春季から秋季にかけて上昇し、11月にピークとなった後、低下した。

1時間値の最高値は0.090ppm(11月26日8時 駅前局)であり、1日平均値の最高値は0.036ppm(11月21日 駅前局)であった。

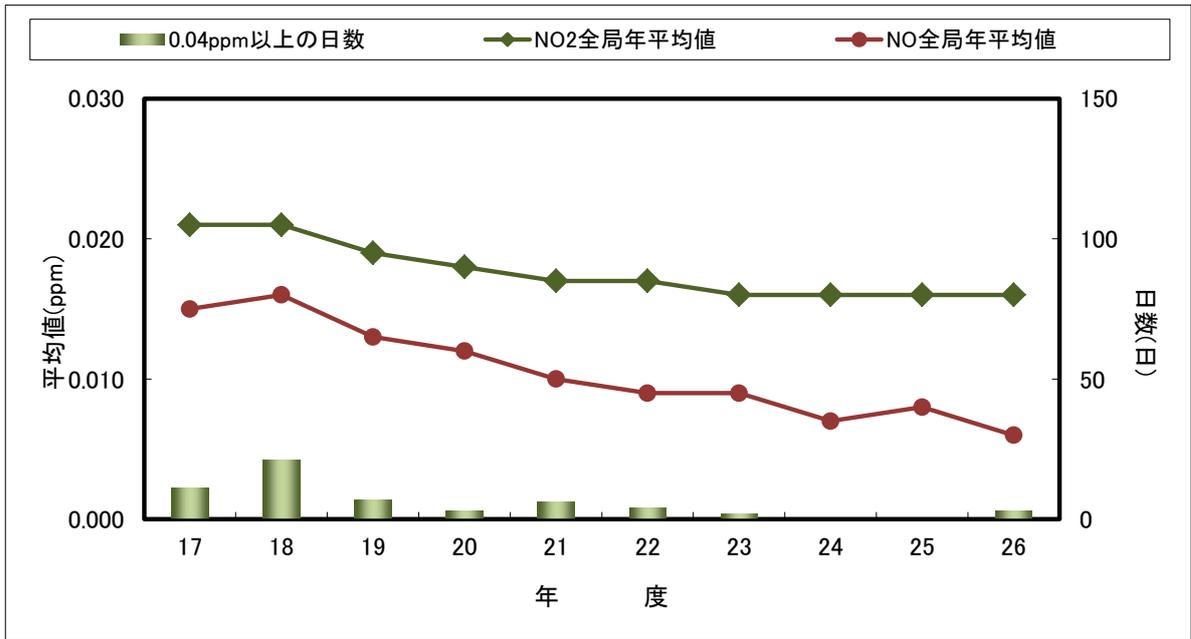


図 3-14 全局NO<sub>2</sub>、NO濃度年平均値とNO<sub>2</sub>濃度0.04ppm以上の日数の経年変化

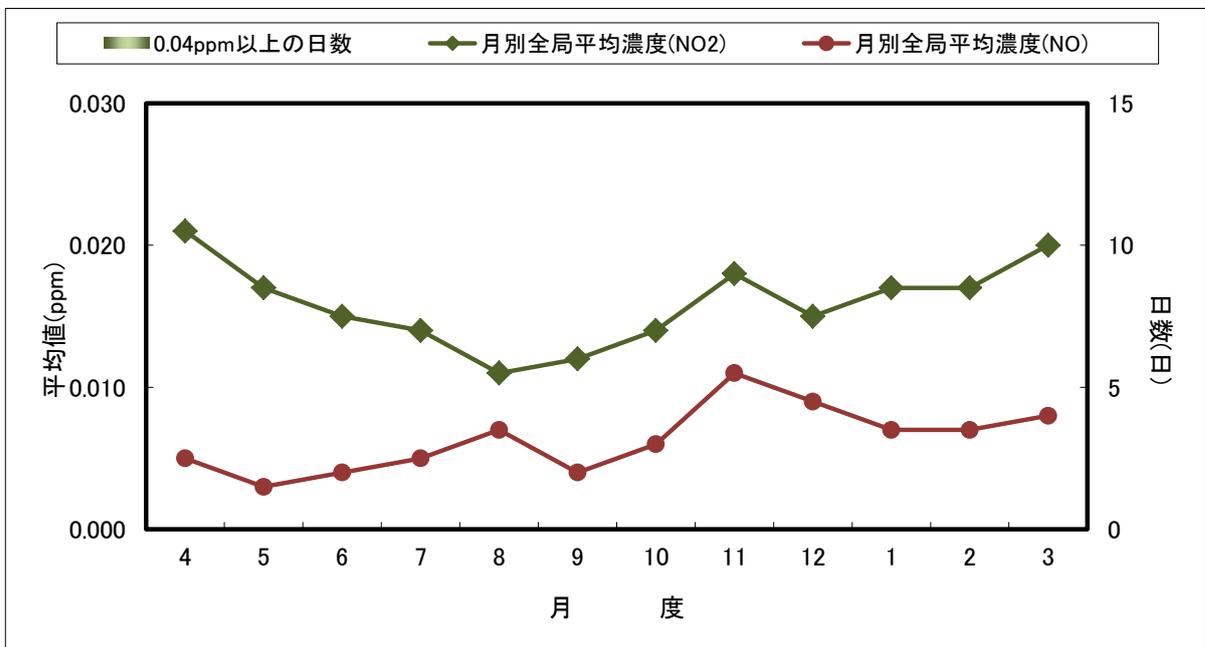


図 3-15 全局NO<sub>2</sub>、NO濃度月平均値とNO<sub>2</sub>濃度0.04ppm以上の日数の経月変化

## イ 一酸化炭素 (CO)

測定した4局の年平均値は0.2～0.4ppmの範囲にあり、全局の年平均値は0.3ppmであった。

図3-16に年平均値の経年変化を示す。

年平均値は、最近10年間は緩やかな改善傾向である。

図3-17に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、11月、1月及び3月が0.4ppmで高く、8月及び9月が0.2ppmで低かった。

8時間値の最高値は1.1ppm(11月22日17時から24時 駅前局 及び6月19日9時から16時 大高局)、1日平均値の最高は0.9ppm(3月17日 大高局)であった。

短期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。

1日平均値の2%除外値の最高値は0.7ppm(大高局)であった。

長期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。

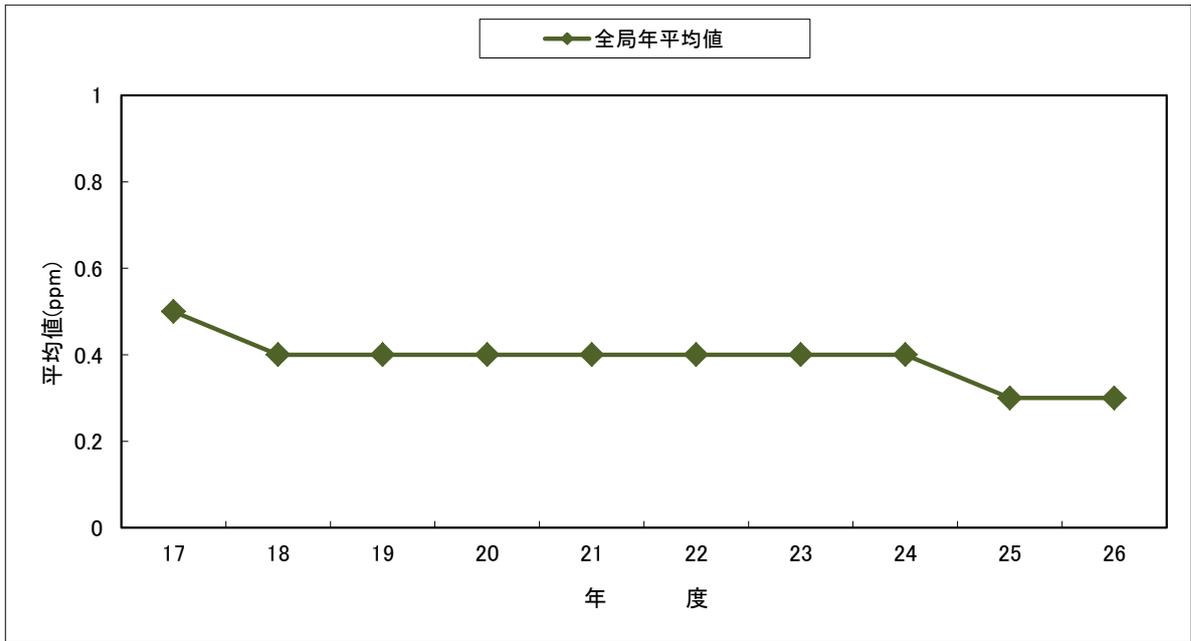


図 3-16 全局CO濃度年平均値の経年変化

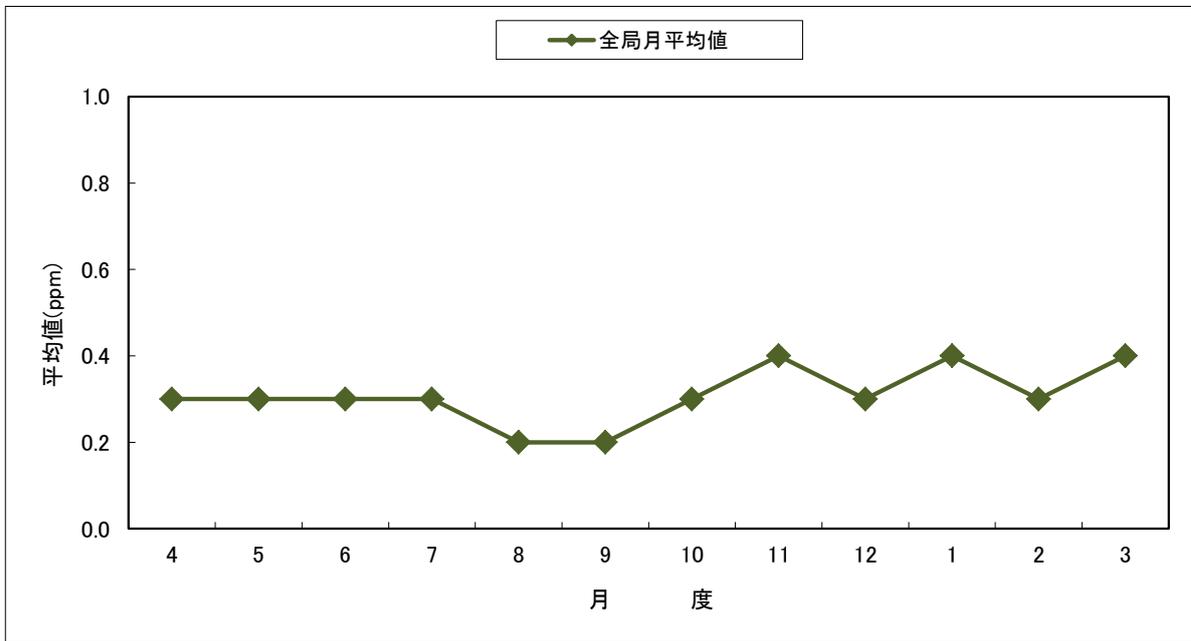


図 3-17 全局CO濃度月平均値の経月変化

ウ 光化学オキシダント (Ox) <集計値は5時から20時の値>

自動車排出ガス測定局では庄局1局で測定し、年平均値は0.032ppmであった。

図3-18に1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経年変化を示す。

1時間値が0.06ppmを超えた時間数は434時間であり、平成25年度と比較して84時間減少した。最近10年間では平成21年度をピークとして減少傾向である。

図3-19に1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経月変化を示す。

1時間値が0.06ppmを超えた時間数は、5月が最も多く、163時間であった。

1時間値の最高値は0.130ppm(6月1日15時 庄局)であった。

短期的評価の結果、環境基準を達成しなかった。

光化学オキシダント注意報発令基準である1時間値が0.12ppm以上となった時間は1時間(6月1日15時 庄局(0.130ppm))であり、平成25年度と比較して3時間減少した。

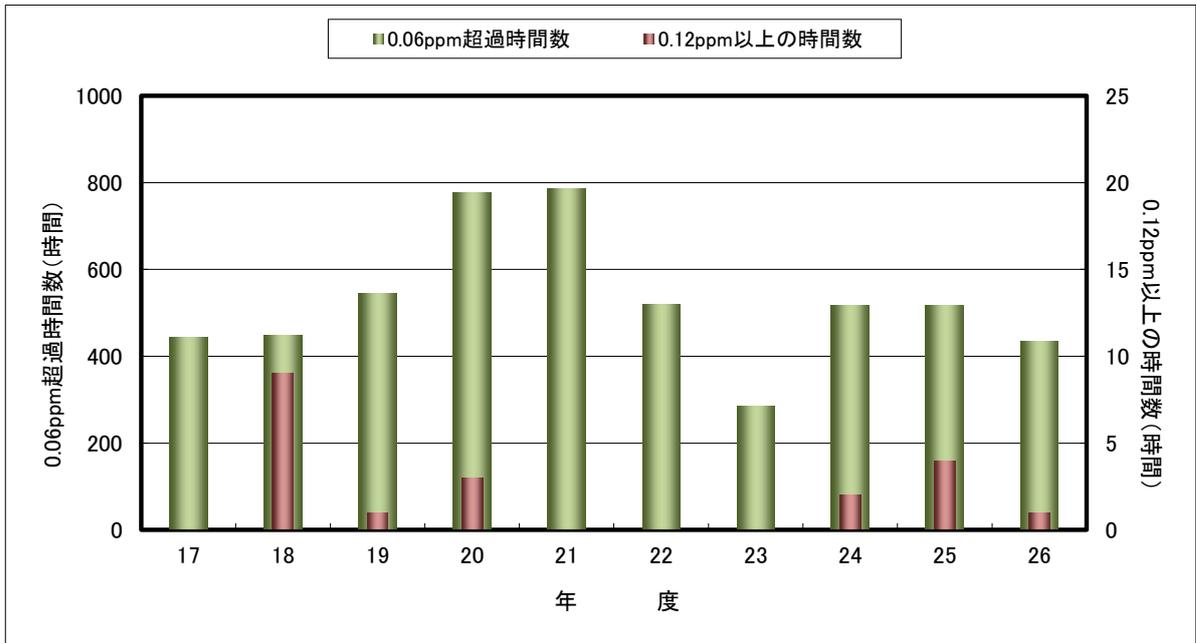


図 3-18 庄局0x濃度0.06ppm超過時間数と0.12ppm以上の時間数の経年変化

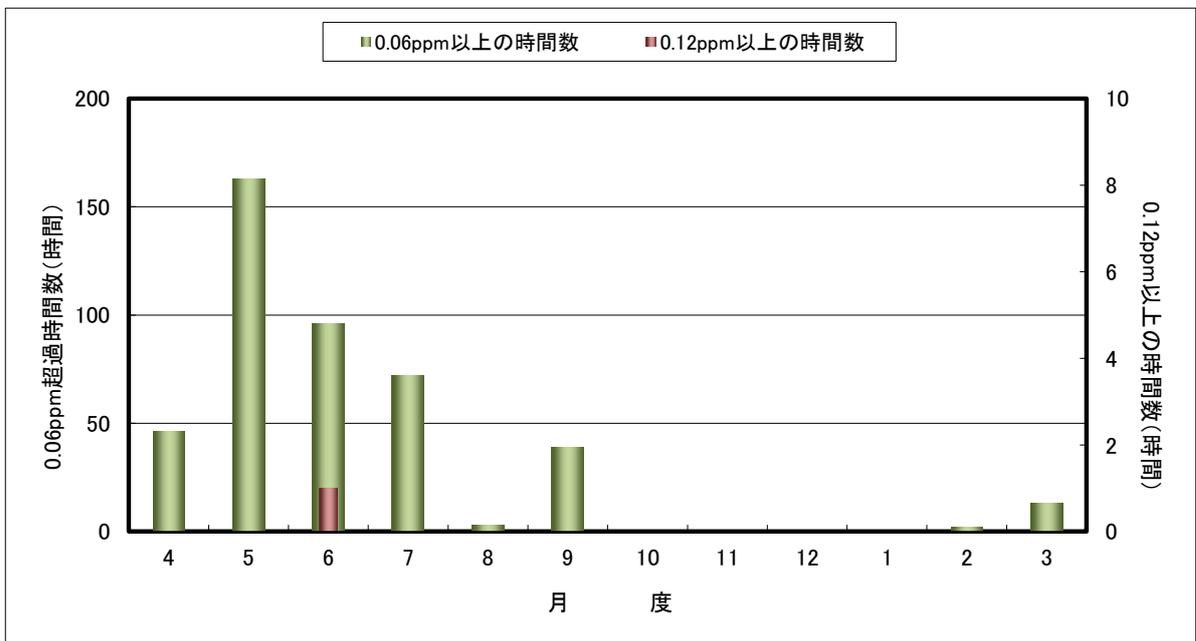


図3-19 庄局0x濃度0.06ppm超過時間数と0.12ppm以上の時間数の経月変化

## エ 浮遊粒子状物質（SPM）

測定した3局の年平均値は $0.020\sim 0.022\text{mg}/\text{m}^3$ の範囲にあり、全局の年平均値は $0.021\text{mg}/\text{m}^3$ であった。年平均値が最も高かったのは、西坂局で $0.022\text{mg}/\text{m}^3$ であった。

図3-20に年平均値の経年変化を示す。

年平均値は、横ばい傾向にあったが、最近10年間は穏やかな改善傾向である。

図3-21に月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、7月が最も高く $0.030\text{mg}/\text{m}^3$ で、12月が最も低く $0.014\text{mg}/\text{m}^3$ であった。通年では、春季から夏季にかけて上昇し、7月にピークとなり、冬季にかけて低下した。

1時間値の最高値は $0.184\text{mg}/\text{m}^3$ （6月2日10時 西坂局）であり、1日平均値の最高値は $0.076\text{mg}/\text{m}^3$ （3月18日 西坂局）であった。

1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数及び1日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数はなく、平成25年度と同様であった。

短期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。

1日平均値の2%除外値の最高値は $0.044\sim 0.048\text{mg}/\text{m}^3$ の範囲にあり、いずれも $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であった。

長期的評価の結果、全局で環境基準を達成した。

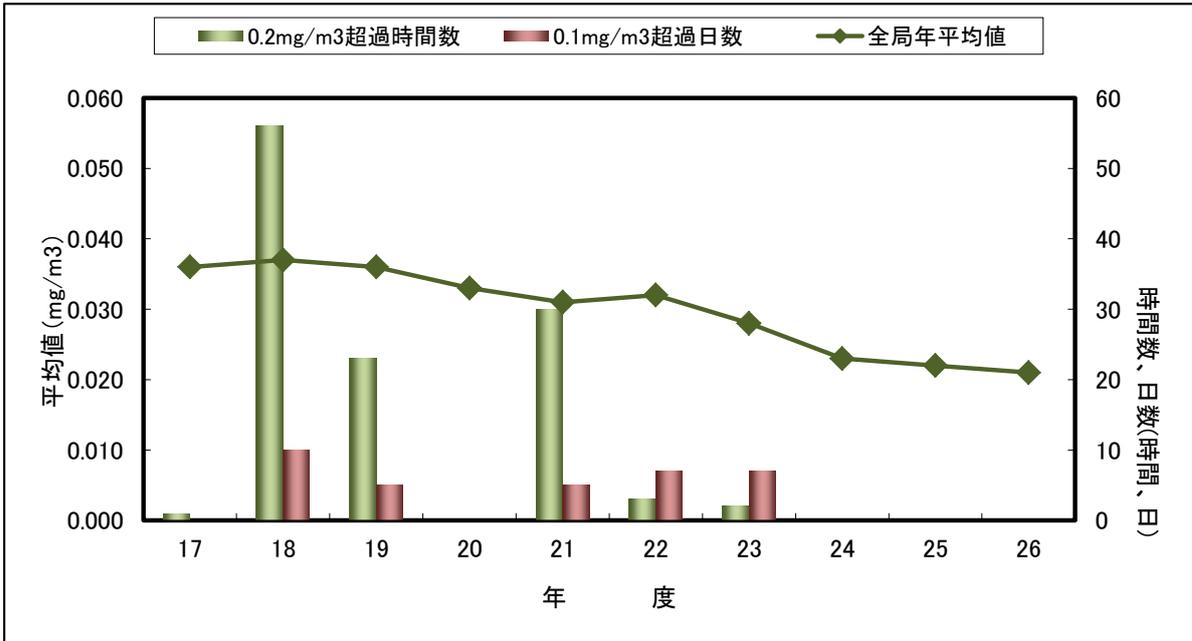


図 3-20 全局SPM濃度年平均値と0.2mg/m<sup>3</sup>超過時間数、0.1mg/m<sup>3</sup>超過日数の経年変化

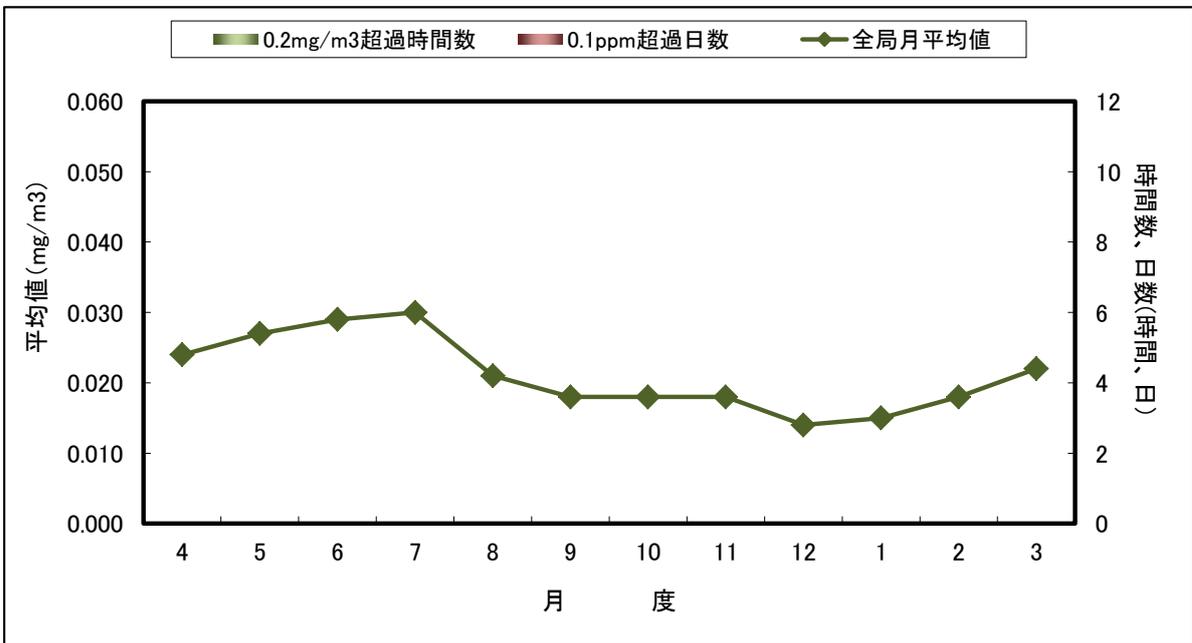


図 3-21 全局SPM濃度月平均値と0.2mg/m<sup>3</sup>超過時間数、0.1mg/m<sup>3</sup>超過日数の経月変化

## オ 非メタン炭化水素 (NMHC)

自動車排出ガス測定局では、駅前局1局で測定した。

図3-22に3時間平均値の年平均値の経年変化を示す。

年平均値は0.17ppmCであった。最近10年間は穏やかな改善傾向である。

図3-23に3時間平均値の月平均値の経月変化を示す。

月平均値は、11月が最も高く0.21ppmCであり、6月が最も低く0.13ppmCであった。

3時間平均値が指針の上限値である0.31ppmCを超えた日数は12日であり、平成25年度と比較して10日減少した。

3時間平均値が0.20ppmCを超えた日数の割合は27.1%であり、平成25年度と比較すると4.1ポイント改善した。0.31ppmCを超えた日数の割合は、3.3%であり、平成25年度と比較すると3.5ポイント改善した。

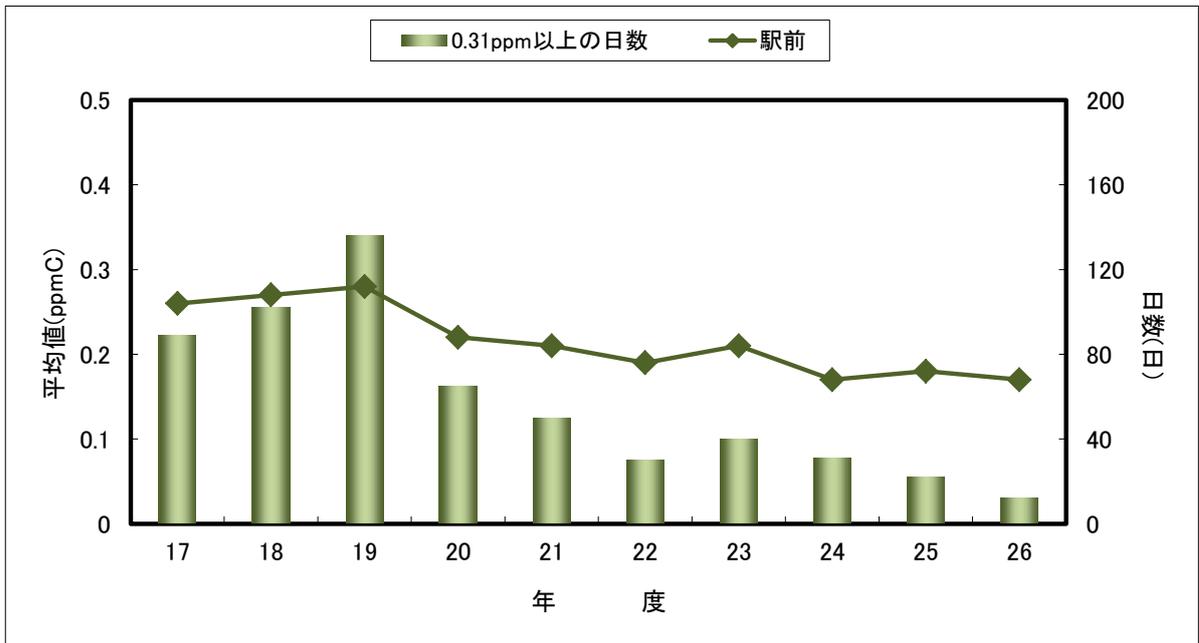


図 3-22 駅前局NMHC濃度と0.31ppmC超過日数の経年変化

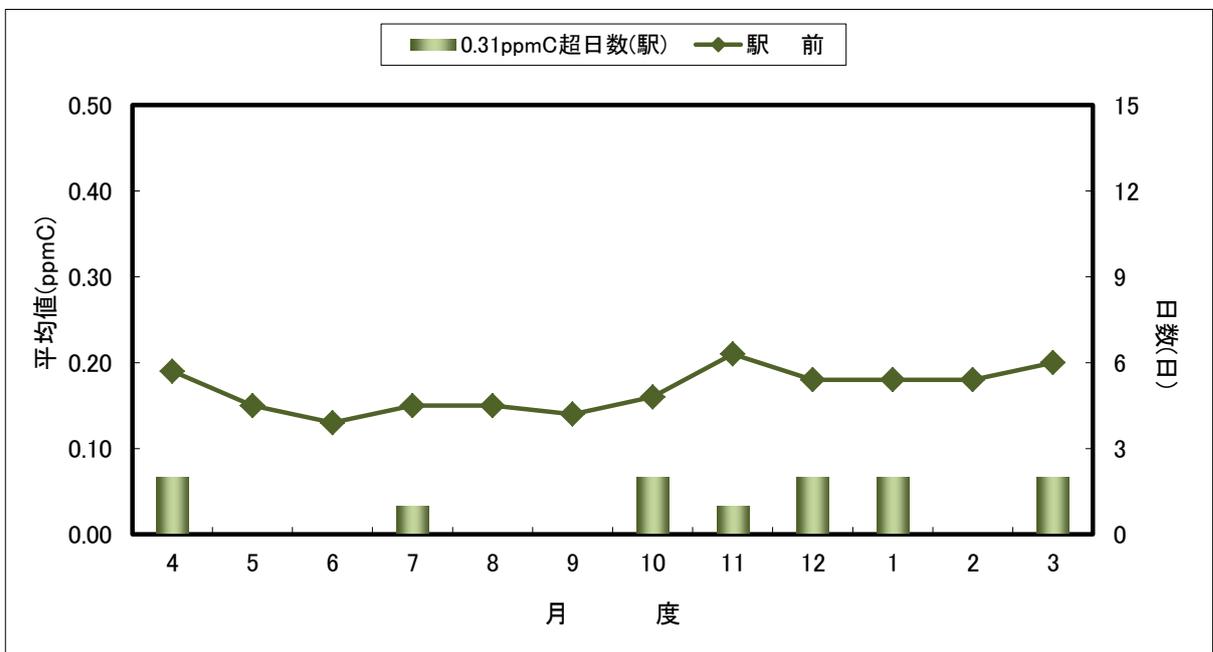


図 3-23 駅前局NMHC6-9時の3時間値月平均濃度と0.31ppmC超過日数の経月変化

## カ 微小粒子状物質 (PM2.5)

平成26年度の微小粒子状物質の測定局は、大高局、庄局の2局であった。

大高局及び庄局の年平均値はそれぞれ $18.0\mu\text{g}/\text{m}^3$ 、 $15.2\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、1日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数はそれぞれ19日、5日であった。

図3-24に全局の月平均値及び $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ の超過日数の経月変化を示す。

月平均値は、5月が最も高く $21.2\mu\text{g}/\text{m}^3$ で、8月が最も低く $11.1\mu\text{g}/\text{m}^3$ であった。通年では、一般環境大気測定局と類似しており、春季に上昇し、秋季にかけて低下する傾向であった。

1時間値の最高値は $147\mu\text{g}/\text{m}^3$  (11月8日18時 庄局) であり、1日平均値の最高値は $52.9\mu\text{g}/\text{m}^3$  (5月31日 大高局) であった。

長期的評価の結果、全局で環境基準を超過した。

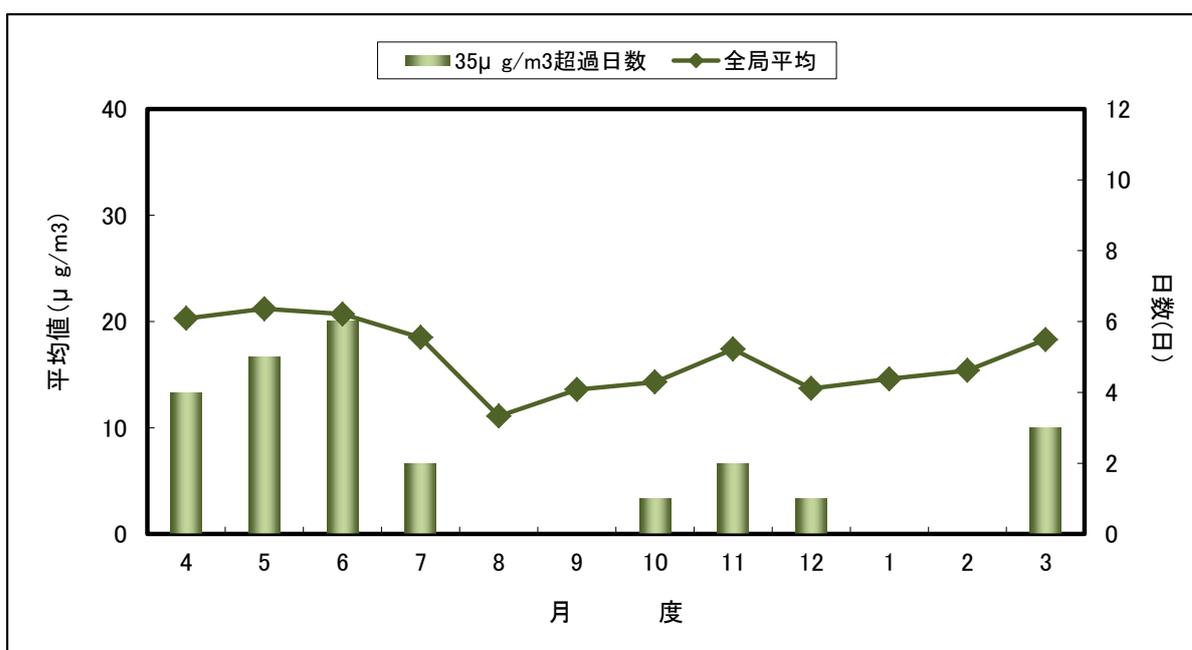


図3-24 全局PM2.5濃度月平均値と $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超過日数の経月変化

## 4 添付資料

### (1) 環境基準達成状況

表 4-1-1 環境基準達成状況（二酸化硫黄、二酸化窒素）

局名	二酸化硫黄				二酸化窒素					
	（短期的評価）			（長期的評価）			（長期的評価）			
	適否	1時間値 最高値 (ppm)	1日平均値 最高値 (ppm)	適否	連続 2日 超過	2%除外値 (ppm)	年平均値 (ppm)	適否	98%値 (ppm)	年平均値 (ppm)
一般環境大気測定局										
倉敷美和	○	0.028	0.015	○	無	0.009	0.005	○	0.027	0.013
監視センター	○	0.052	0.021	○	無	0.015	0.006	○	0.035	0.015
春日	○	0.042	0.015	○	無	0.012	0.005	○	0.028	0.013
連島	○	0.028	0.012	○	無	0.009	0.005	○	0.026	0.012
塩生	○	0.044	0.016	○	無	0.013	0.006	○	0.028	0.015
松江	○	0.043	0.020	○	無	0.015	0.006	○	0.029	0.015
西阿知	○	0.024	0.011	○	無	0.009	0.004	○	0.022	0.011
玉島	○	0.025	0.010	○	無	0.008	0.004	○	0.027	0.014
児島	○	0.028	0.013	○	無	0.011	0.006	○	0.027	0.013
郷内	○	0.037	0.012	○	無	0.010	0.004	○	0.025	0.012
天城	○	0.030	0.013	○	無	0.011	0.004	○	0.026	0.011
茶屋町	○	0.031	0.014	○	無	0.010	0.004	○	0.028	0.014
豊洲	○	0.036	0.018	○	無	0.012	0.005	○	0.033	0.017
広島	○	0.082	0.024	○	無	0.014	0.005	-	-	-
呼松	×	0.101	0.025	○	無	0.017	0.007	-	-	-
二福	○	0.044	0.021	○	無	0.013	0.005	-	-	-
宇野	○	0.050	0.017	○	無	0.011	0.005	-	-	-
田の口	○	0.027	0.015	○	無	0.011	0.005	-	-	-
真備								○	0.014	0.007
船穂	○	0.025	0.011	○	無	0.009	0.004	○	0.023	0.010
全局	95%	0.101	0.025	100%	-	-	0.005	100%	-	0.013
自動車排出ガス測定局										
駅前	-	-	-	-	-	-	-	○	0.031	0.018
大高	-	-	-	-	-	-	-	○	0.030	0.016
西坂	-	-	-	-	-	-	-	○	0.029	0.015
庄	-	-	-	-	-	-	-	○	0.027	0.015
全局	-	-	-	-	-	-	-	100%	-	0.016

表 4-1-2 環境基準達成状況（一酸化炭素、光化学オキシダント）

局名	一酸化炭素						光化学オキシダント			
	（短期的評価）			（長期的評価）			（短期的評価）			
	適否	8時間値 最高値 (ppm)	1日平均値 最高値 (ppm)	適否	連続 2日 超過	2%除外値 (ppm)	年平均値 (ppm)	適否	1時間値 最高値 (ppm)	年平均値 (ppm)
一般環境大気測定局										
倉敷美和	○	0.9	0.6	○	無	0.5	0.3	×	0.109	0.034
監視センター	-	-	-	-	-	-	-	×	0.090	0.031
春日	-	-	-	-	-	-	-	×	0.090	0.031
連島	-	-	-	-	-	-	-	×	0.111	0.033
塩生	-	-	-	-	-	-	-	×	0.091	0.027
松江	-	-	-	-	-	-	-	×	0.088	0.030
西阿知	-	-	-	-	-	-	-	×	0.098	0.032
玉島	-	-	-	-	-	-	-	×	0.103	0.030
児島	-	-	-	-	-	-	-	×	0.103	0.032
郷内	-	-	-	-	-	-	-	×	0.098	0.031
天城	-	-	-	-	-	-	-	×	0.111	0.031
茶屋町	-	-	-	-	-	-	-	×	0.097	0.030
豊洲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
呼松	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二福	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇野津	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
田の口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真備	-	-	-	-	-	-	-	×	0.112	0.034
船穂	-	-	-	-	-	-	-	×	0.095	0.032
全局	100%	0.9	0.6	100%	-	-	0.3	0%	0.112	0.031
自動車排出ガス測定局										
駅前	○	1.1	0.8	○	無	0.6	0.4	-	-	-
大高	○	1.1	0.9	○	無	0.7	0.4	-	-	-
西坂	○	0.9	0.6	○	無	0.5	0.3	-	-	-
庄	○	0.8	0.5	○	無	0.4	0.2	×	0.13	0.032
全局	100%	1.1	0.9	100%	-	-	0.3	0%	0.13	0.032

表 4-1-3 環境基準達成状況（浮遊粒子状物質、微小粒子状物質）

局名	浮遊粒子状物質						微小粒子状物質			
	（短期的評価）			（長期的評価）			（長期的評価）			
	適否	1時間値 最高値 (mg/m3)	1日平均値 最高値 (mg/m3)	適否	連続 2日 超過	2%除外値 (mg/m3)	年平均値 (mg/m3)	適否	98%値 (μg/m3)	年平均値 (μg/m3)
一般環境大気測定局										
倉敷美和	○	0.145	0.064	○	無	0.042	0.019	×	37.0	17.2
監視センター	○	0.141	0.080	○	無	0.053	0.022	×	38.7	16.0
春日	○	0.170	0.076	○	無	0.054	0.024			
連島	○	0.126	0.071	○	無	0.052	0.023			
塩生	○	0.142	0.078	○	無	0.055	0.022	×	49.6	23.3
松江	○	0.150	0.091	○	無	0.064	0.026	×	50.7	22.1
西阿知	○	0.131	0.065	○	無	0.045	0.02			
玉島	○	0.114	0.078	○	無	0.052	0.022	×	42.9	18.4
児島	○	0.114	0.068	○	無	0.044	0.019	×	46.9	21.0
郷内	○	0.191	0.074	○	無	0.048	0.022			
天城	○	0.124	0.068	○	無	0.048	0.021			
茶屋町	○	0.187	0.068	○	無	0.050	0.022	×	38.9	17.2
豊洲	-	-	-	-	-	-	-			
広島	×	0.210	0.081	○	無	0.063	0.026			
呼松	○	0.137	0.094	○	無	0.064	0.025			
二福	-	-	-	-	-	-	-			
宇野津	-	-	-	-	-	-	-			
田の口	-	-	-	-	-	-	-			
真備	-	-	-	-	-	-	-	×	33.0	15.2
船穂	○	0.128	0.067	○	無	0.047	0.021			
全局	93%	0.210	0.094	100%	-	-	0.022	0%	-	18.8
自動車排出ガス測定局										
駅前	-	-	-	-	-	-	-			
大高	○	0.128	0.065	○	無	0.046	0.021	×	39.0	18.0
西坂	○	0.184	0.076	○	無	0.048	0.022			
庄	○	0.128	0.061	○	無	0.044	0.02	×	34.5	15.2
全局	100%	0.184	0.076	100%	-	-	0.021	0%	-	16.6

## (2) 一般環境大気測定局

### ア 経年測定データ(平成17年度～平成26年度)

二酸化硫黄(SO2)短期経年変化(年平均値)

単位: ppm

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和	0.004	0.004	0.004	0.005	0.005	0.005	0.004	0.005	0.005	0.005
旧監視センター(福田)	0.005	0.004	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004			
監視センター								0.007	0.006	0.006
春日	0.006	0.006	0.005	0.004	0.005	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005
連島	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
塩生	0.007	0.008	0.008	0.007	0.007	0.008	0.008	0.007	0.007	0.006
松江	0.006	0.005	0.005	0.005	0.004	0.008	0.007	0.007	0.007	0.006
西阿知	0.003	0.002	0.002	0.002	0.004	0.005	0.004	0.005	0.004	0.004
玉島	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004
児島	0.004	0.004	0.004	0.004	0.006	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006
郷内	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004
天城	0.003	0.002	0.002	0.001	0.003	0.004	0.005	0.005	0.005	0.004
茶屋町	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.005	0.005	0.005	0.004
豊洲	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.006	0.006	0.005
広江	0.006	0.004	0.005	0.005	0.005	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005
呼松	0.007	0.007	0.008	0.008	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007	0.007
二福	0.005	0.004	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
宇野津	0.005	0.005	0.006	0.006	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005
田の口	0.005	0.005	0.006	0.005	0.005	0.005	0.006	0.006	0.006	0.005
港湾局	0.006	0.006	0.007	0.007	0.007	0.006	0.006			
船穂	0.008	0.007	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004
全局平均	0.005	0.005	0.005	0.004	0.005	0.005	0.005	0.006	0.006	0.005
0.1ppm超時間数	0	0	1	1	7	0	0	1	3	1
0.04ppm超日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

二酸化窒素(NO2)短期経年変化(年平均値)

単位: ppm

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016	0.015	0.014	0.014	0.014	0.013
旧監視センター(福田)	0.017	0.017	0.015	0.014	0.013	0.013	0.014			
監視センター								0.016	0.019	0.015
春日	0.018	0.019	0.016	0.017	0.016	0.015	0.015	0.014	0.014	0.013
連島	0.015	0.018	0.016	0.018	0.015	0.015	0.014	0.013	0.013	0.012
塩生	0.018	0.020	0.020	0.018	0.017	0.016	0.016	0.016	0.017	0.015
松江	0.019	0.018	0.019	0.018	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016	0.015
西阿知	0.018	0.018	0.017	0.016	0.013	0.014	0.012	0.012	0.013	0.011
玉島	0.018	0.018	0.016	0.015	0.015	0.014	0.014	0.014	0.015	0.014
児島	0.019	0.019	0.017	0.017	0.016	0.015	0.015	0.014	0.014	0.013
郷内	0.015	0.013	0.012	0.012	0.013	0.013	0.012	0.013	0.015	0.012
天城	0.016	0.018	0.018	0.018	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.011
茶屋町	0.014	0.014	0.013	0.013	0.012	0.012	0.015	0.015	0.015	0.014
豊洲	0.019	0.019	0.018	0.018	0.017	0.017	0.016	0.016	0.018	0.017
真備	0.011	0.011	0.009	0.009	0.008	0.008	0.007	0.007	0.007	0.007
船穂	0.015	0.015	0.012	0.015	0.014	0.013	0.013	0.012	0.012	0.010
全局平均	0.017	0.017	0.016	0.016	0.014	0.014	0.014	0.014	0.014	0.013
0.04ppm以上日数	18	37	12	10	17	5	2	4	7	6

一酸化窒素 (NO) 短期経年変化 (年平均値)

単位 : ppm

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和	0.008	0.009	0.006	0.008	0.006	0.005	0.004	0.004	0.004	0.003
旧監視センター (福田)	0.005	0.005	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003			
監視センター								0.004	0.004	0.003
春日	0.008	0.008	0.006	0.006	0.005	0.004	0.005	0.004	0.004	0.003
連島	0.006	0.004	0.004	0.006	0.004	0.003	0.004	0.003	0.003	0.002
塩生	0.012	0.009	0.007	0.007	0.006	0.006	0.006	0.005	0.006	0.005
松江	0.009	0.010	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003
西阿知	0.010	0.006	0.005	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002
玉島	0.011	0.011	0.008	0.008	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005	0.004
児島	0.007	0.007	0.004	0.005	0.004	0.004	0.004	0.003	0.004	0.003
郷内	0.005	0.005	0.005	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002
天城	0.008	0.005	0.005	0.006	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.002
茶屋町	0.007	0.008	0.006	0.006	0.005	0.004	0.005	0.005	0.004	0.004
豊洲	0.018	0.018	0.014	0.015	0.012	0.010	0.010	0.009	0.010	0.008
真備	0.004	0.006	0.003	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
船穂	0.007	0.006	0.005	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003
全局平均	0.008	0.008	0.006	0.006	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003

一酸化炭素 (CO) 短期経年変化 (年平均値)

単位 : ppm

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3

光化学オキシダント (Ox) 環境基準超過時間数

単位 : 時間

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和	491	482	684	850	792	749	306	574	575	497
旧監視センター (福田)	459	431	605	634	609	489	132			
監視センター								174	158	212
春日	540	458	613	409	700	531	187	549	398	331
連島	749	646	910	696	513	536	144	405	407	352
塩生	335	357	444	492	423	383	91	233	208	160
松江	203	189	434	514	568	332	132	281	267	251
西阿知	397	451	456	662	728	456	212	414	437	356
玉島	365	320	444	668	739	484	232	327	320	275
児島	90	196	539	420	670	506	220	383	423	345
郷内	412	388	534	540	625	438	227	380	371	406
天城	410	464	528	583	425	446	143	189	239	387
茶屋町	561	498	711	808	662	502	197	391	344	321
真備	397	300	617	697	653	672	429	530	475	543
船穂	364	407	436	512	526	388	209	275	345	333
全局合計	5773	5587	7955	8485	8633	6912	2861	5105	4967	4769
0.12ppm超時間数	0	65	25	19	9	39	1	0	0	0

浮遊粒子状物質 (SPM) 短期経年変化 (年平均値)

単位 : mg/m<sup>3</sup>

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和	0.027	0.028	0.028	0.027	0.026	0.026	0.024	0.021	0.021	0.019
旧監視センター (福田)	0.041	0.037	0.034	0.033	0.031	0.031	0.029			
監視センター								0.022	0.023	0.022
春日	0.033	0.033	0.029	0.027	0.027	0.030	0.027	0.023	0.026	0.024
連島	0.035	0.033	0.031	0.030	0.028	0.028	0.025	0.024	0.023	0.023
塩生	0.034	0.035	0.032	0.029	0.027	0.027	0.025	0.023	0.023	0.022
松江	0.031	0.030	0.032	0.032	0.029	0.031	0.029	0.028	0.029	0.026
西阿知	0.023	0.024	0.023	0.020	0.026	0.025	0.023	0.021	0.022	0.020
玉島	0.038	0.035	0.033	0.036	0.031	0.027	0.023	0.022	0.024	0.022
児島	0.023	0.026	0.026	0.024	0.027	0.024	0.022	0.021	0.021	0.019
郷内	0.032	0.032	0.030	0.026	0.026	0.026	0.024	0.022	0.024	0.022
天城	0.036	0.038	0.034	0.032	0.026	0.028	0.024	0.022	0.023	0.021
茶屋町	0.026	0.029	0.026	0.023	0.022	0.028	0.026	0.023	0.024	0.022
広江	0.036	0.034	0.029	0.032	0.030	0.030	0.029	0.025	0.027	0.026
呼松	0.033	0.031	0.029	0.031	0.030	0.029	0.029	0.024	0.026	0.025
港湾局	0.036	0.039	0.038	0.032	0.031	0.030	0.028			
船穂	0.032	0.035	0.034	0.029	0.026	0.025	0.025	0.022	0.023	0.021
全局平均	0.032	0.033	0.031	0.029	0.028	0.028	0.026	0.023	0.024	0.022
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数	7	210	58	7	141	18	8	3	2	1
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数	5	49	27	0	17	42	37	0	2	0

非メタン炭化水素 (NMHC) 短期経年変化 (6時~9時の3時間平均値の年平均値)

単位 : ppmC

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和	0.21	0.21	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.16	0.15	0.14
旧監視センター (福田)	0.21	0.21	0.19	0.2	0.17	0.17	0.16			
監視センター								0.16	0.14	0.13
0.31ppmC超日数(美)	55	54	37	30	16	16	15	11	6	8
0.31ppmC超日数(セ)	50	57	35	35	8	4	2			
0.31ppmC超日数(セ)								3	2	1

微小粒子状物質 (PM2.5) 短期経年変化 (年平均値)

単位 : μg/m<sup>3</sup>

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
倉敷美和								16.7	18.0	17.2
監視センター										16.0
塩生									22.7	23.3
松江								20.0	23.0	22.1
玉島									19.0	18.4
児島									19.7	21.0
茶屋町										17.2
真備										15.2
全局平均								19.4	20.4	18.8
35μg/m <sup>3</sup> 超日数								78	199	182

## イ 経月測定データ

SO2経月変化（月平均値）

単位：ppm

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	0.005	0.006	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.005	0.005
監視センター	0.008	0.009	0.007	0.008	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.005	0.007
春日	0.007	0.008	0.006	0.007	0.004	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.006
連島	0.006	0.007	0.004	0.005	0.004	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004	0.005	0.006
塩生	0.008	0.009	0.007	0.007	0.004	0.004	0.004	0.005	0.007	0.007	0.007	0.007
松江	0.006	0.008	0.008	0.009	0.004	0.005	0.004	0.004	0.006	0.005	0.005	0.007
西阿知	0.005	0.005	0.004	0.005	0.003	0.004	0.003	0.004	0.003	0.003	0.004	0.005
玉島	0.005	0.006	0.004	0.005	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004
児島	0.006	0.008	0.006	0.006	0.004	0.005	0.004	0.005	0.006	0.006	0.005	0.006
郷内	0.005	0.006	0.005	0.006	0.003	0.004	0.002	0.003	0.003	0.003	0.004	0.004
天城	0.005	0.006	0.005	0.006	0.003	0.003	0.002	0.003	0.003	0.003	0.004	0.005
茶屋町	0.005	0.006	0.005	0.006	0.003	0.003	0.003	0.004	0.003	0.003	0.004	0.004
豊洲	0.006	0.007	0.007	0.007	0.004	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004	0.004	0.005
広江	0.007	0.010	0.008	0.009	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004	0.005
呼松	0.008	0.012	0.010	0.012	0.007	0.008	0.005	0.004	0.004	0.004	0.005	0.006
二福	0.007	0.008	0.007	0.008	0.004	0.005	0.003	0.003	0.002	0.002	0.003	0.005
宇野津	0.006	0.008	0.006	0.007	0.004	0.004	0.003	0.003	0.004	0.004	0.004	0.005
田の口	0.007	0.008	0.006	0.007	0.005	0.005	0.003	0.004	0.004	0.003	0.003	0.004
船穂	0.005	0.006	0.004	0.005	0.004	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004	0.005
全局平均	0.006	0.008	0.006	0.007	0.004	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004	0.004	0.005
0.1ppm超時間数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
0.04ppm超日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO2経月変化（月平均値）

単位：ppm

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	0.018	0.013	0.012	0.012	0.008	0.008	0.013	0.015	0.013	0.014	0.014	0.017
監視センター	0.022	0.018	0.015	0.016	0.011	0.010	0.011	0.015	0.014	0.014	0.015	0.020
春日	0.018	0.014	0.012	0.013	0.009	0.009	0.011	0.015	0.012	0.013	0.014	0.017
連島	0.016	0.012	0.011	0.012	0.009	0.008	0.009	0.014	0.012	0.012	0.014	0.016
塩生	0.019	0.017	0.014	0.014	0.010	0.009	0.011	0.016	0.018	0.018	0.018	0.019
松江	0.019	0.016	0.014	0.016	0.010	0.010	0.011	0.015	0.016	0.015	0.016	0.019
西阿知	0.013	0.012	0.009	0.011	0.007	0.005	0.008	0.012	0.012	0.012	0.013	0.015
玉島	0.018	0.015	0.011	0.012	0.008	0.010	0.011	0.016	0.014	0.014	0.016	0.018
児島	0.017	0.015	0.012	0.012	0.007	0.008	0.010	0.015	0.014	0.014	0.014	0.017
郷内	0.015	0.014	0.011	0.014	0.008	0.007	0.009	0.011	0.013	0.012	0.013	0.014
天城	0.016	0.012	0.012	0.014	0.008	0.008	0.009	0.012	0.010	0.011	0.012	0.013
茶屋町	0.018	0.015	0.013	0.014	0.009	0.010	0.012	0.015	0.013	0.015	0.015	0.019
豊洲	0.023	0.018	0.015	0.015	0.011	0.014	0.015	0.019	0.016	0.017	0.018	0.021
真備	0.008	0.007	0.006	0.006	0.003	0.005	0.006	0.007	0.006	0.007	0.008	0.009
船穂	0.014	0.012	0.009	0.010	0.006	0.007	0.007	0.011	0.012	0.011	0.012	0.018
全局平均	0.017	0.014	0.012	0.013	0.009	0.009	0.010	0.014	0.013	0.013	0.014	0.017
0.04ppm以上日数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

NO経月変化（月平均値）

単位：ppm

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	0.003	0.001	0.001	0.002	0.003	0.001	0.003	0.006	0.005	0.004	0.003	0.004
監視センター	0.004	0.002	0.002	0.004	0.004	0.001	0.002	0.003	0.004	0.003	0.003	0.006
春日	0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.002	0.005	0.004	0.003	0.003	0.004
連島	0.003	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.003	0.003	0.003	0.002	0.004
塩生	0.005	0.004	0.003	0.004	0.004	0.002	0.002	0.005	0.010	0.008	0.006	0.007
松江	0.003	0.002	0.001	0.003	0.003	0.001	0.002	0.003	0.005	0.004	0.003	0.005
西阿知	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.001	0.001	0.003	0.003	0.002	0.002	0.003
玉島	0.004	0.002	0.002	0.004	0.004	0.002	0.002	0.007	0.006	0.004	0.005	0.005
児島	0.004	0.003	0.003	0.003	0.004	0.002	0.002	0.003	0.003	0.003	0.002	0.005
郷内	0.002	0.002	0.001	0.003	0.002	0.001	0.002	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004
天城	0.002	0.001	0.001	0.003	0.003	0.002	0.001	0.003	0.003	0.002	0.001	0.003
茶屋町	0.004	0.002	0.002	0.003	0.003	0.002	0.003	0.007	0.005	0.004	0.004	0.005
豊洲	0.010	0.004	0.003	0.004	0.005	0.004	0.008	0.019	0.011	0.009	0.008	0.010
真備	0.001	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
船穂	0.003	0.001	0.002	0.002	0.003	0.001	0.001	0.004	0.006	0.004	0.005	0.004
全局平均	0.003	0.002	0.002	0.003	0.003	0.001	0.002	0.005	0.005	0.004	0.003	0.005

0x環境基準超過時間数

単位：時間

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	71	185	92	72	8	56	1	0	0	0	1	11
監視センター	20	70	30	45	4	32	3	0	0	0	1	7
春日	31	150	66	47	0	26	2	0	0	0	0	9
連島	44	150	76	39	0	28	3	0	0	0	0	12
塩生	17	76	37	19	1	6	0	0	0	0	0	4
松江	32	114	38	45	0	15	0	0	0	0	0	7
西阿知	28	142	86	54	0	28	2	0	0	0	0	16
玉島	3	133	59	47	0	23	0	0	0	0	0	10
児島	40	133	73	53	1	31	1	0	0	0	2	11
郷内	46	162	82	61	0	38	0	0	0	0	0	17
天城	34	144	80	60	2	54	0	0	0	0	0	13
茶屋町	51	138	63	47	0	14	0	0	0	0	0	8
真備	60	208	114	79	6	50	0	0	0	0	8	18
船穂	27	140	75	52	0	27	3	0	0	0	0	9
全局合計	504	1945	971	720	22	428	15	0	0	0	12	152
0.12ppm超時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

CO経月変化（月平均値）

単位：ppm

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	0.4	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3

SPM経月変化（月平均値）

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	0.022	0.026	0.027	0.026	0.018	0.016	0.018	0.017	0.013	0.014	0.017	0.020
監視センター	0.026	0.030	0.031	0.033	0.021	0.018	0.018	0.019	0.013	0.014	0.018	0.023
春日	0.027	0.031	0.033	0.032	0.025	0.021	0.022	0.022	0.016	0.016	0.020	0.026
連島	0.026	0.028	0.031	0.031	0.020	0.019	0.020	0.021	0.015	0.015	0.020	0.025
塩生	0.022	0.027	0.028	0.028	0.021	0.019	0.015	0.017	0.020	0.019	0.021	0.026
松江	0.032	0.037	0.037	0.038	0.027	0.021	0.020	0.019	0.016	0.018	0.022	0.028
西阿知	0.021	0.026	0.027	0.028	0.021	0.018	0.018	0.017	0.013	0.013	0.017	0.020
玉島	0.028	0.032	0.031	0.029	0.022	0.019	0.018	0.019	0.013	0.014	0.018	0.022
児島	0.021	0.025	0.026	0.026	0.020	0.017	0.017	0.016	0.015	0.014	0.016	0.019
郷内	0.025	0.028	0.030	0.031	0.022	0.019	0.018	0.019	0.015	0.015	0.019	0.023
天城	0.023	0.026	0.030	0.032	0.021	0.018	0.017	0.017	0.012	0.013	0.016	0.020
茶屋町	0.024	0.028	0.029	0.032	0.021	0.018	0.022	0.023	0.014	0.014	0.018	0.022
広江	0.029	0.033	0.033	0.033	0.021	0.017	0.021	0.022	0.020	0.021	0.024	0.032
呼松	0.029	0.035	0.033	0.032	0.022	0.019	0.019	0.019	0.018	0.018	0.022	0.030
船穂	0.023	0.028	0.029	0.030	0.022	0.019	0.019	0.020	0.014	0.015	0.017	0.021
全局平均	0.025	0.029	0.030	0.031	0.022	0.018	0.019	0.019	0.015	0.016	0.019	0.024
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0

NMHC経月変化（月平均値）

単位：ppmC

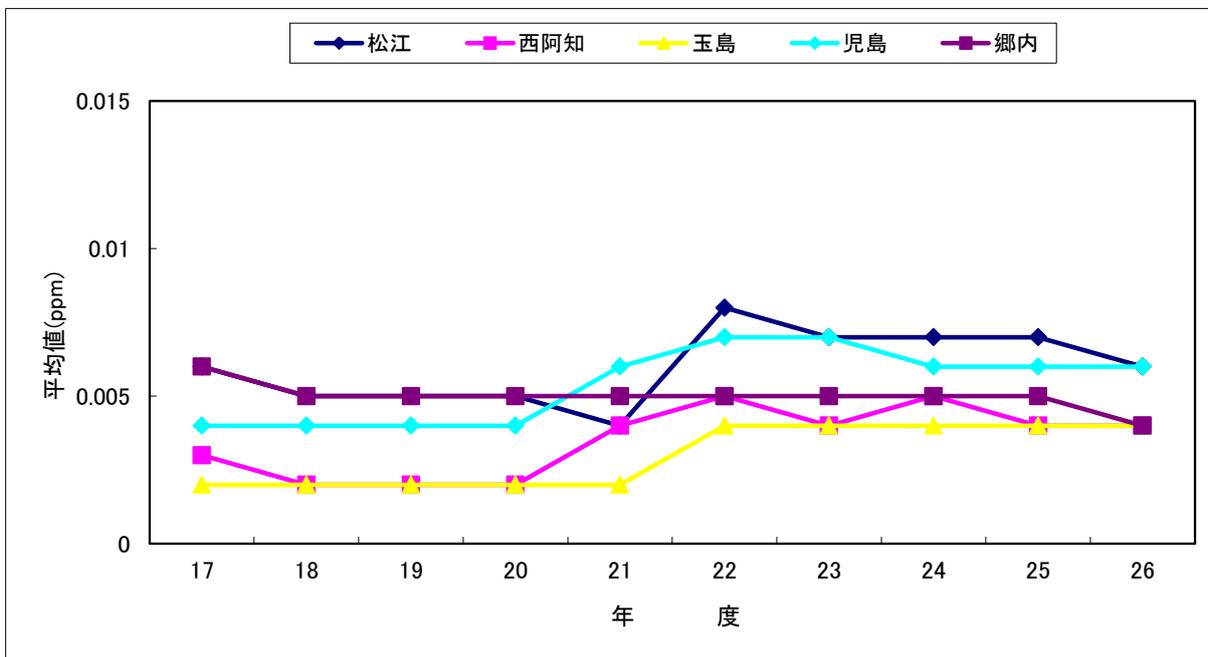
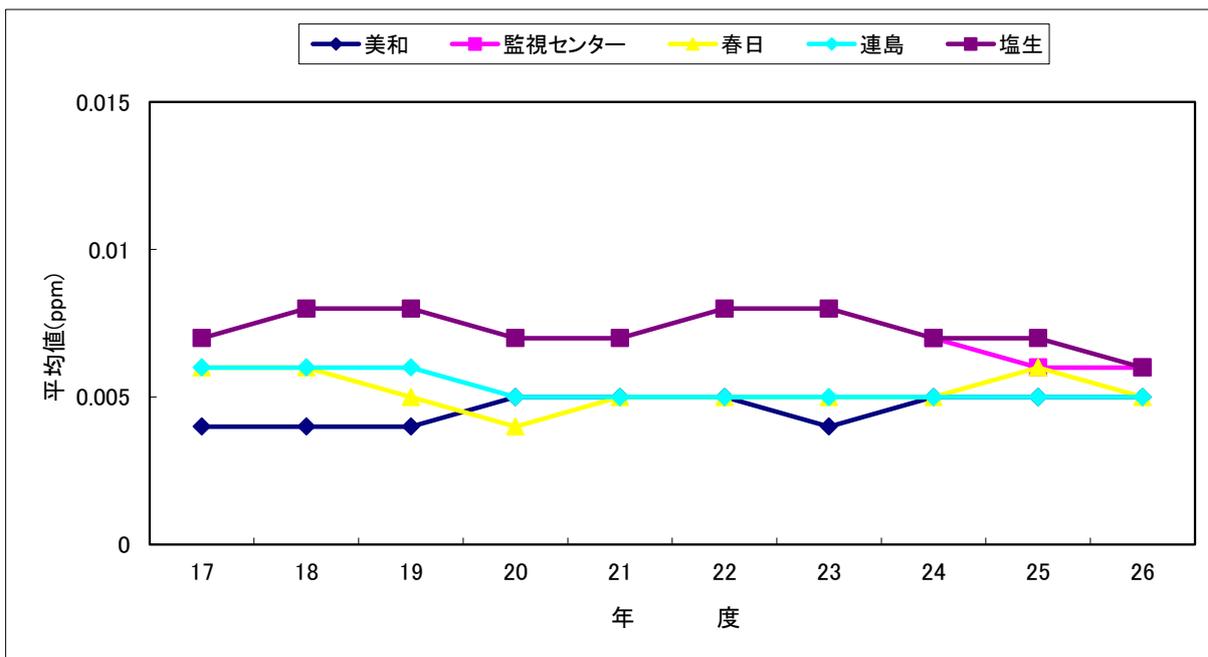
測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	0.14	0.12	0.12	0.12	0.12	0.12	0.14	0.17	0.13	0.12	0.11	0.14
監視センター	0.14	0.13	0.13	0.15	0.13	0.13	0.12	0.13	0.13	0.12	0.13	0.14
0.31ppmC超日数(美)	1	0	0	0	0	0	0	2	3	1	1	0
0.31ppmC超日数(七)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

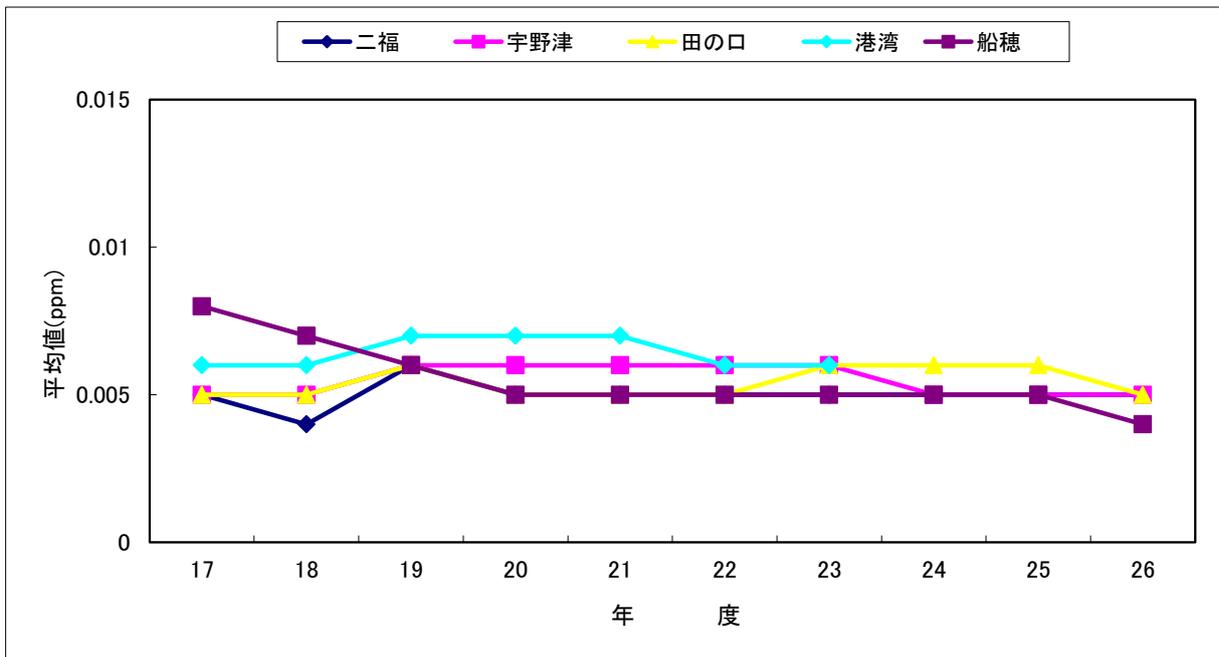
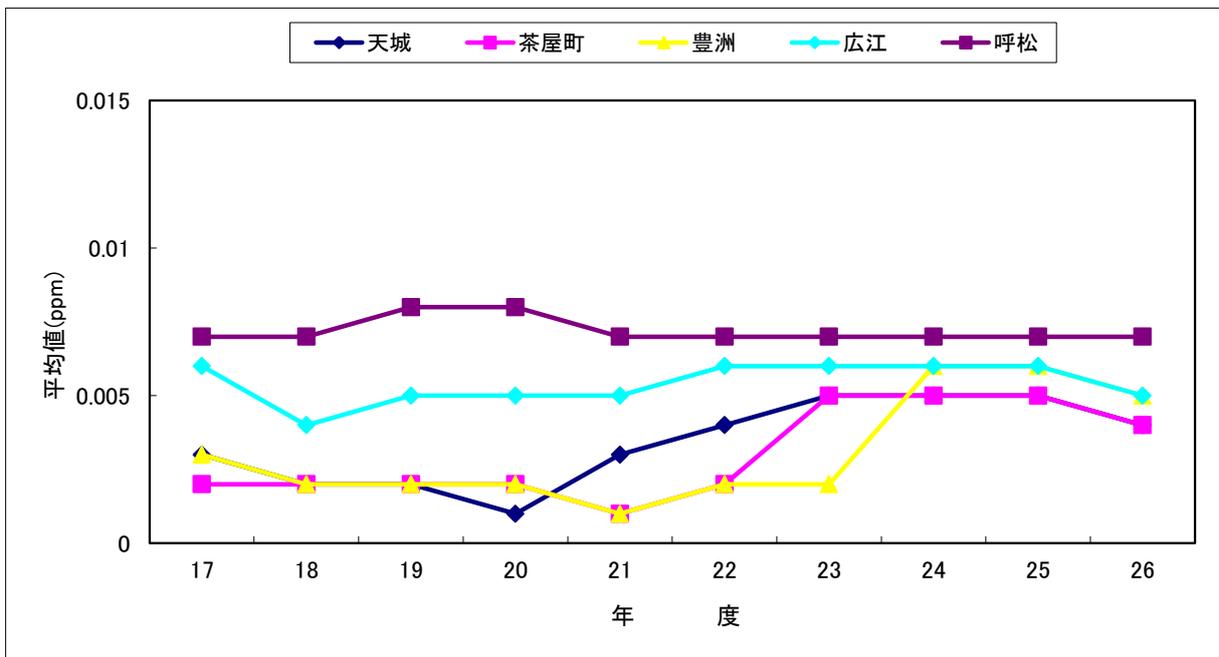
PM2.5経月変化（年平均値）

単位：μg/m<sup>3</sup>

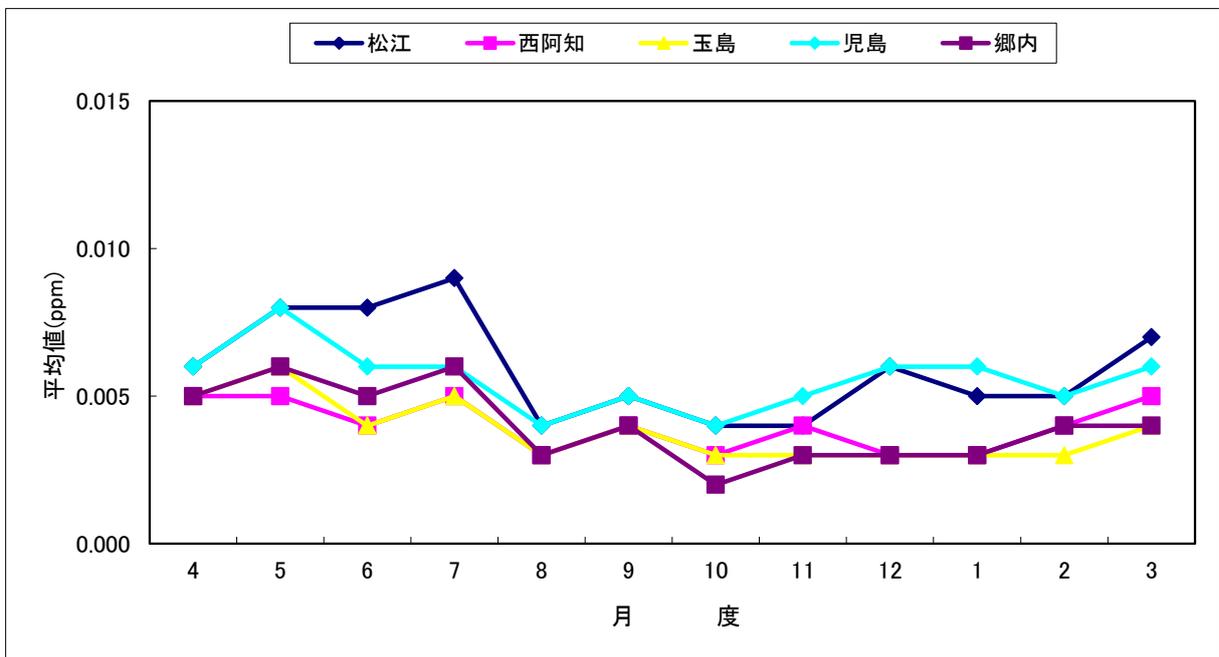
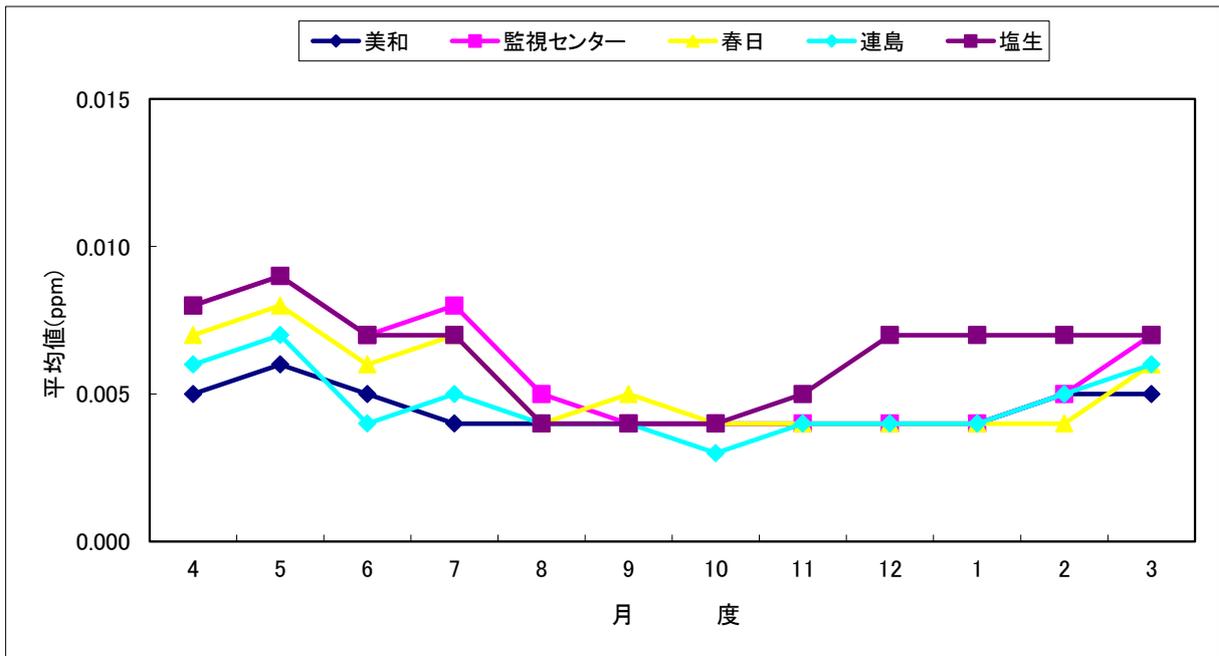
測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
倉敷美和	20.7	22.2	20.7	18.3	12.3	13.8	15.2	17.7	14.5	14.8	16.0	18.5
監視センター	20.6	21.0	22.3	19.0	10.8	12.7	12.8	15.4	12.2	13.1	13.0	18.4
塩生	27.7	25.6	27.0	23.4	15.9	20.4	20.1	21.6	24.5	23.5	23.0	26.9
松江	27.6	29.8	28.9	25.5	15.6	17.0	17.5	19.9	18.6	19.1	21.7	25.4
玉島	23.5	23.4	22.7	19.5	11.7	15.1	15.7	19.3	15.4	16.1	17.3	20.7
児島	24.6	23.4	24.5	21.8	13.6	16.6	17.1	19.6	21.4	20.8	21.5	27.1
茶屋町	20.6	21.6	21.6	19.1	11.1	13.9	15.7	20.4	14.5	14.8	15.2	17.7
真備	19.0	19.7	18.6	16.2	9.6	13.4	13.1	15.0	12.8	13.7	14.6	16.2
全局平均	23.0	23.3	23.2	20.3	12.6	15.4	15.9	18.6	16.7	17.0	17.8	21.4
35μg/m <sup>3</sup> 超日数	32	26	47	14	1	1	4	12	8	8	6	23

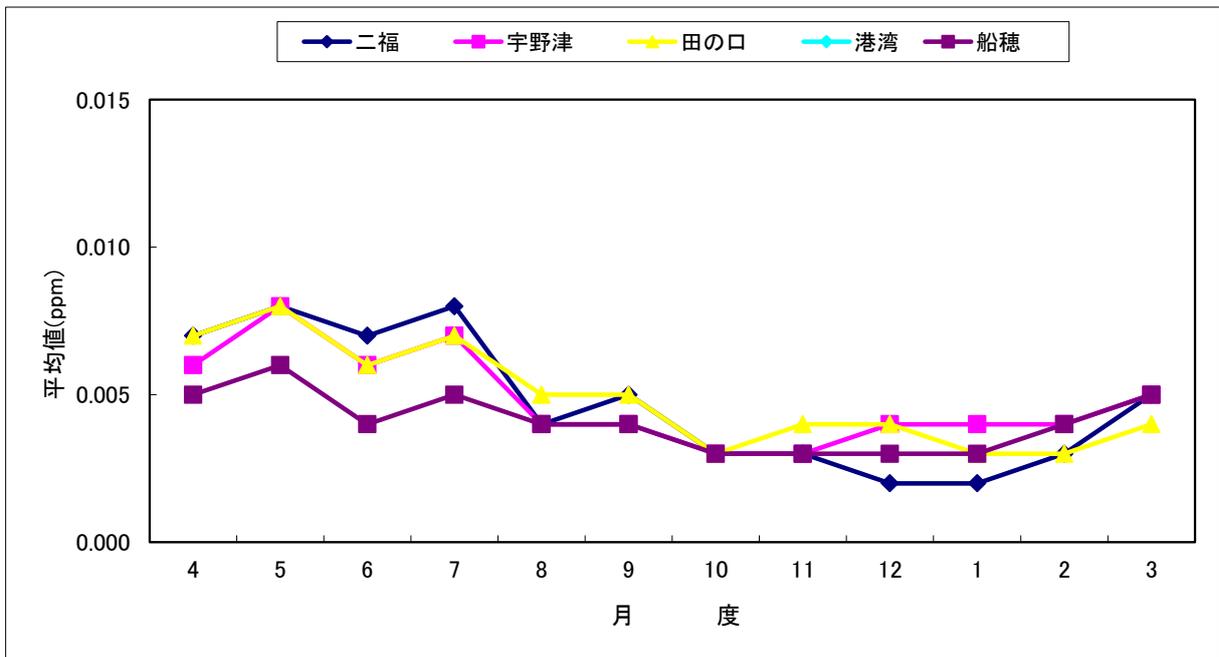
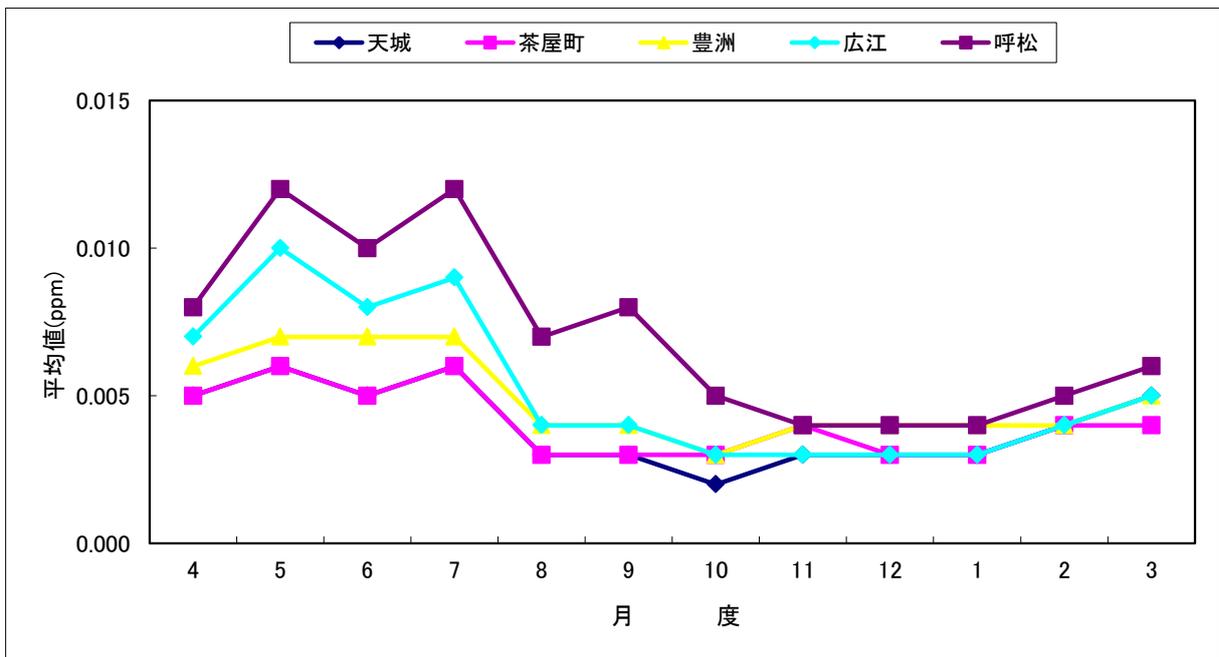
ウ 二酸化硫黄濃度の経年変化（年平均値）



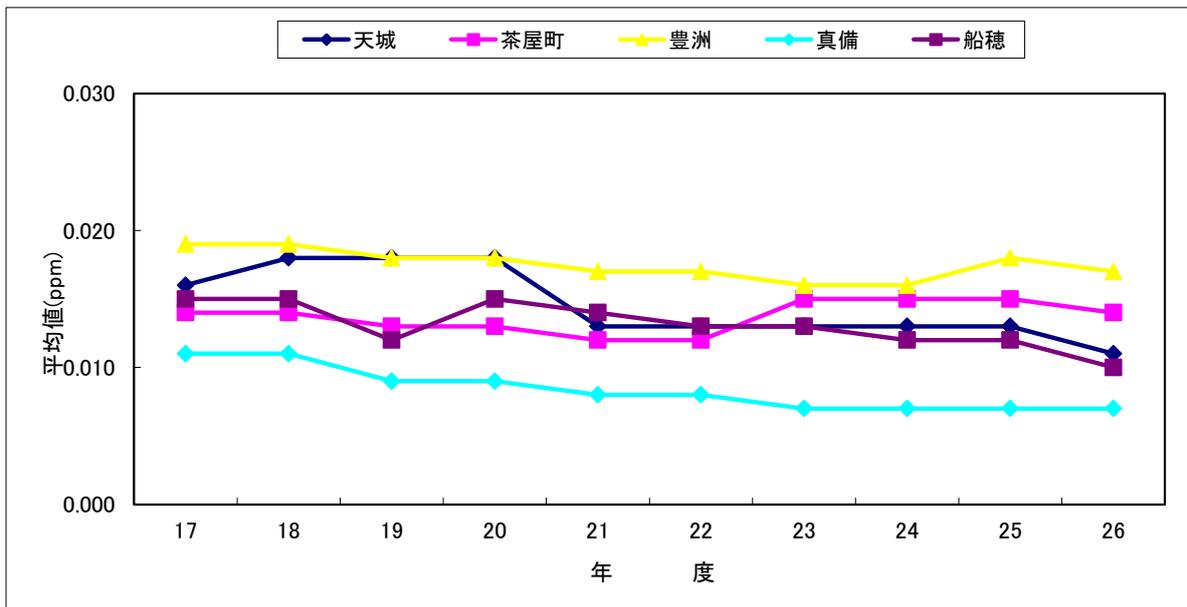
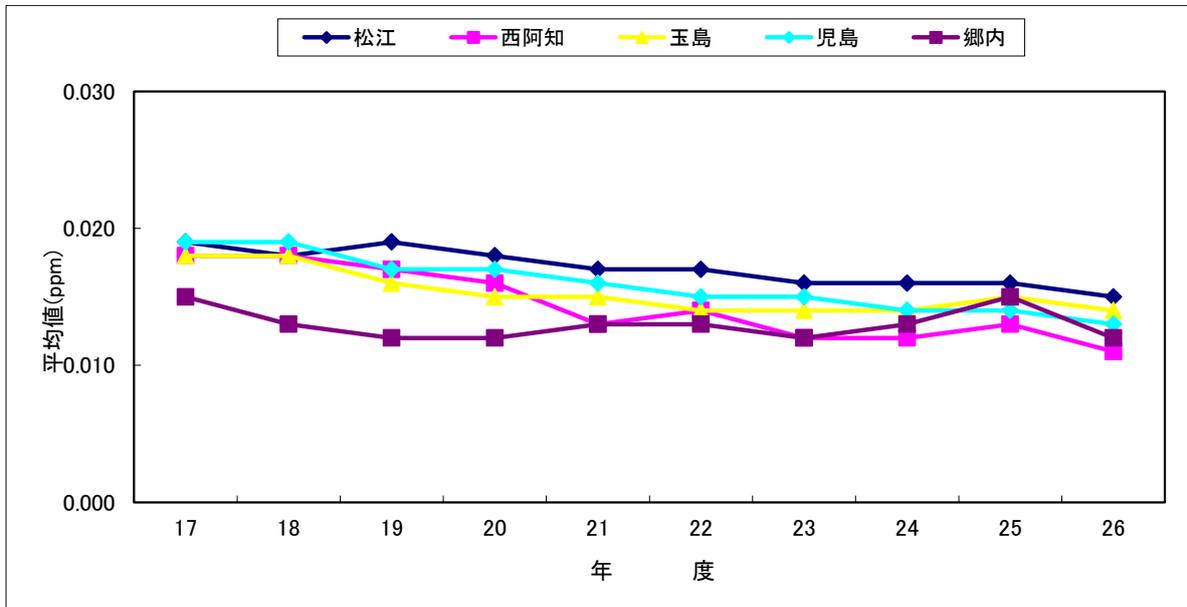
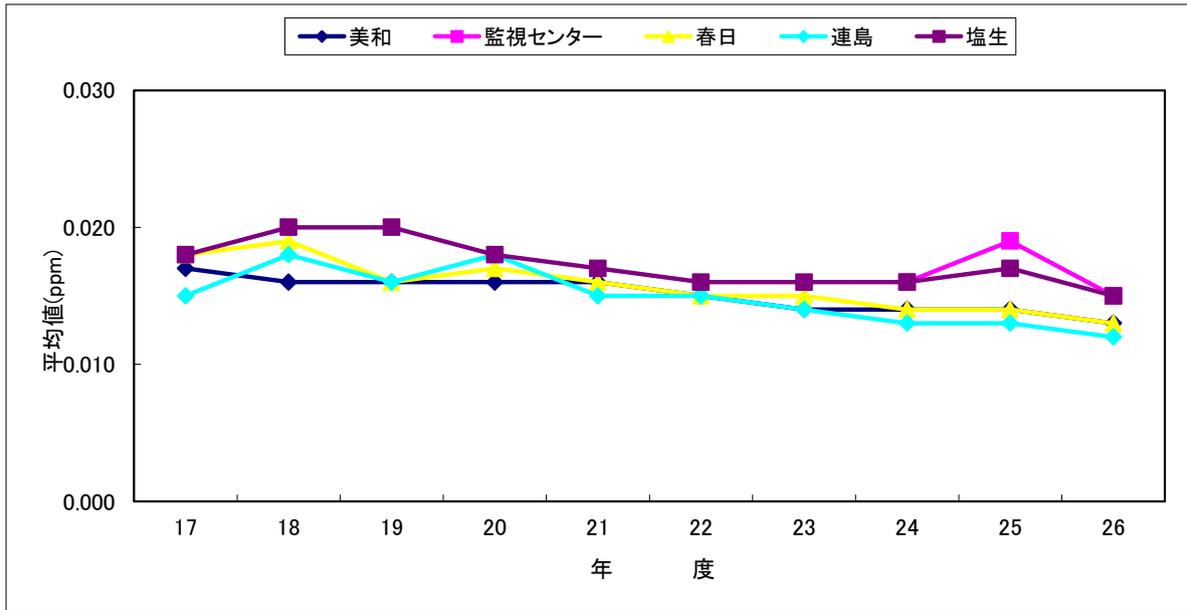


エ 二酸化硫黄濃度の経月変化（月平均値）

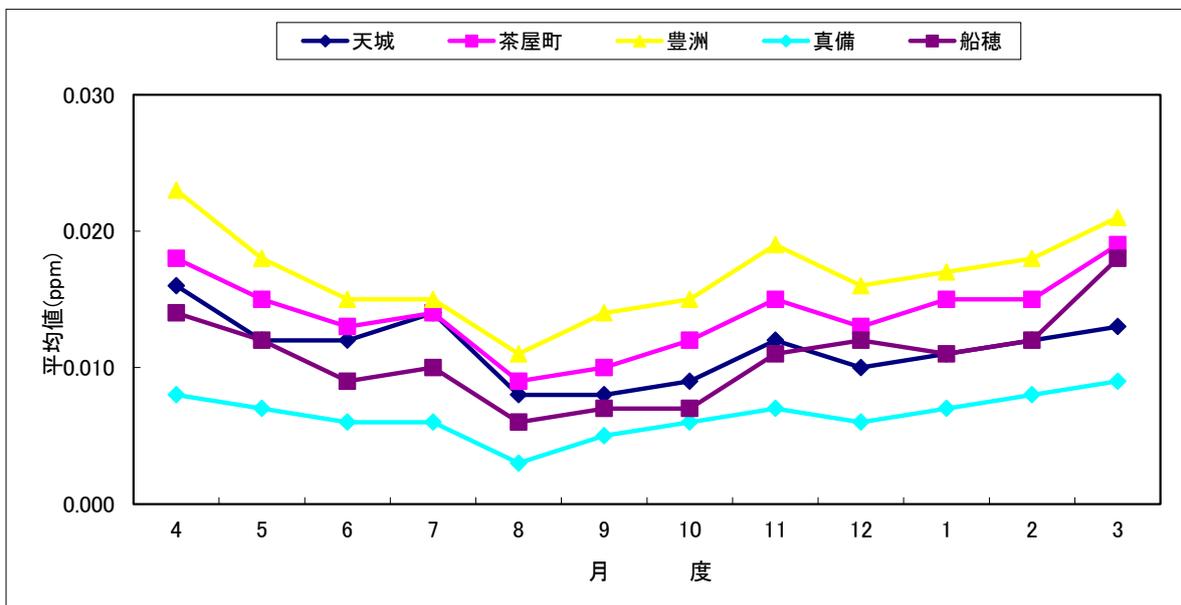
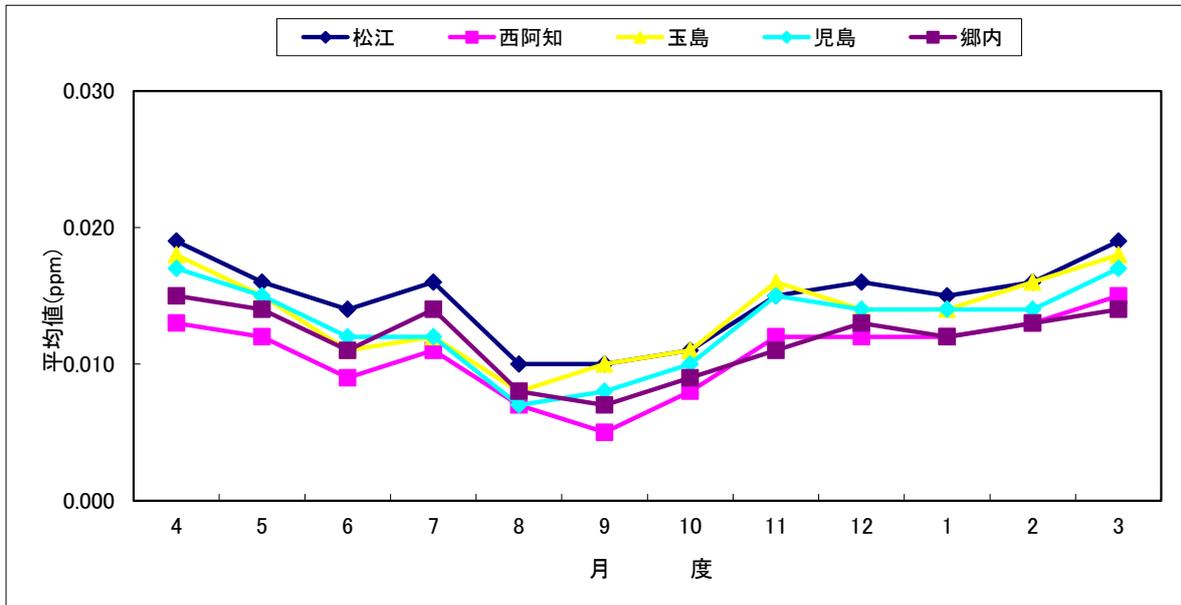
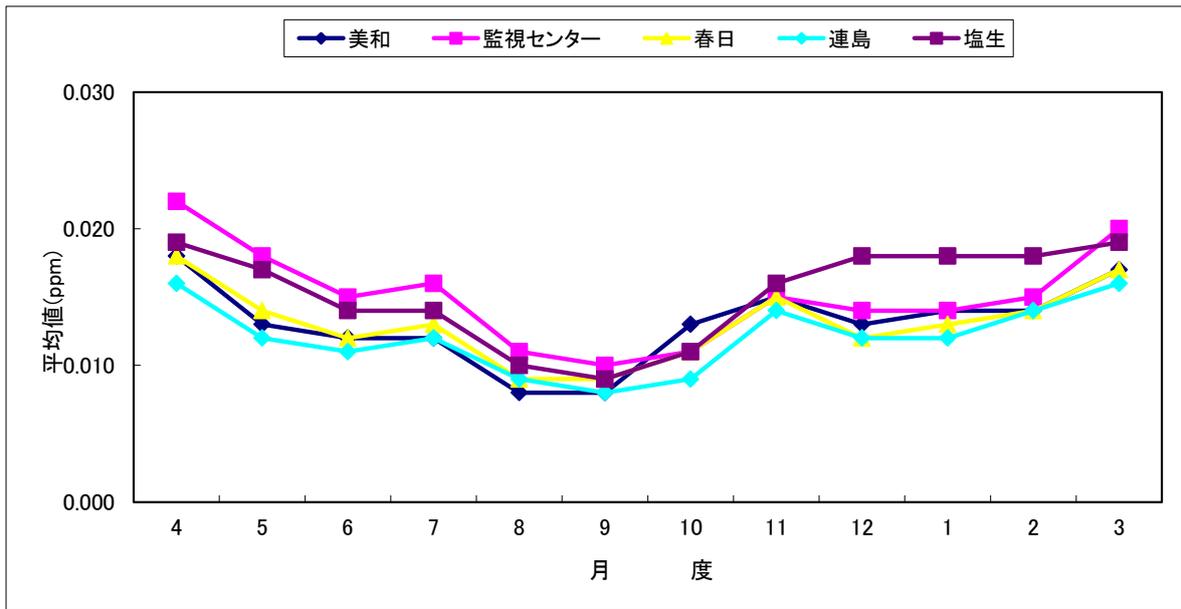




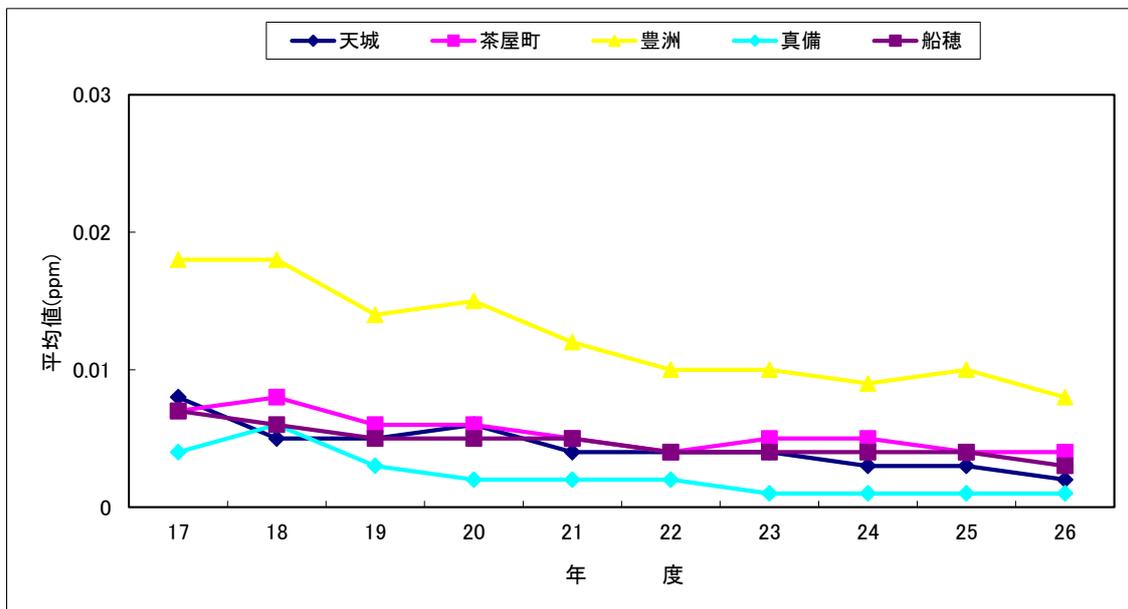
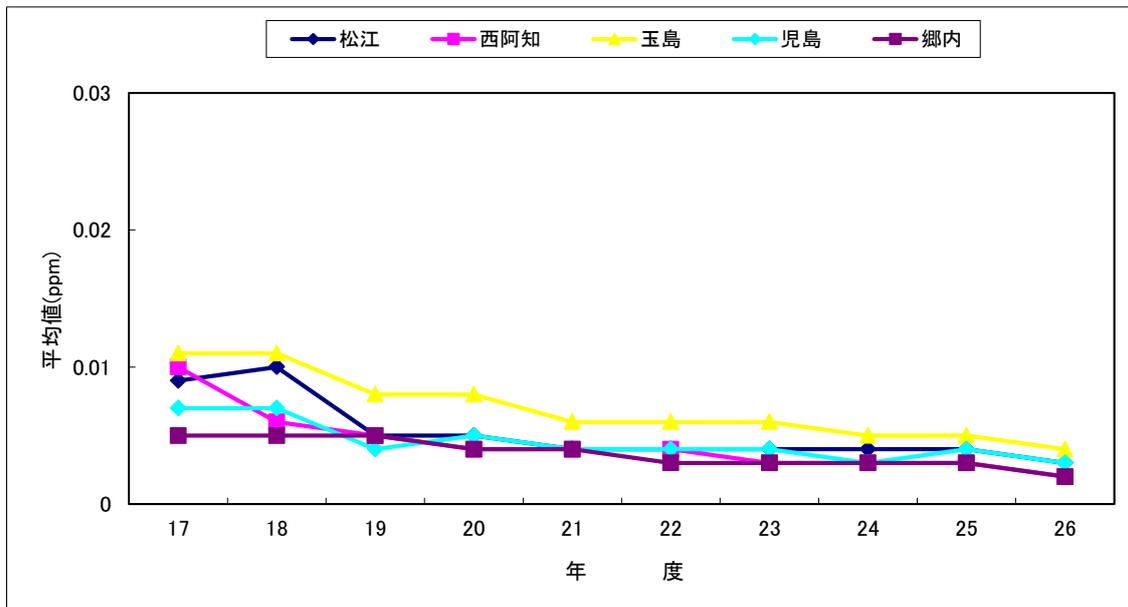
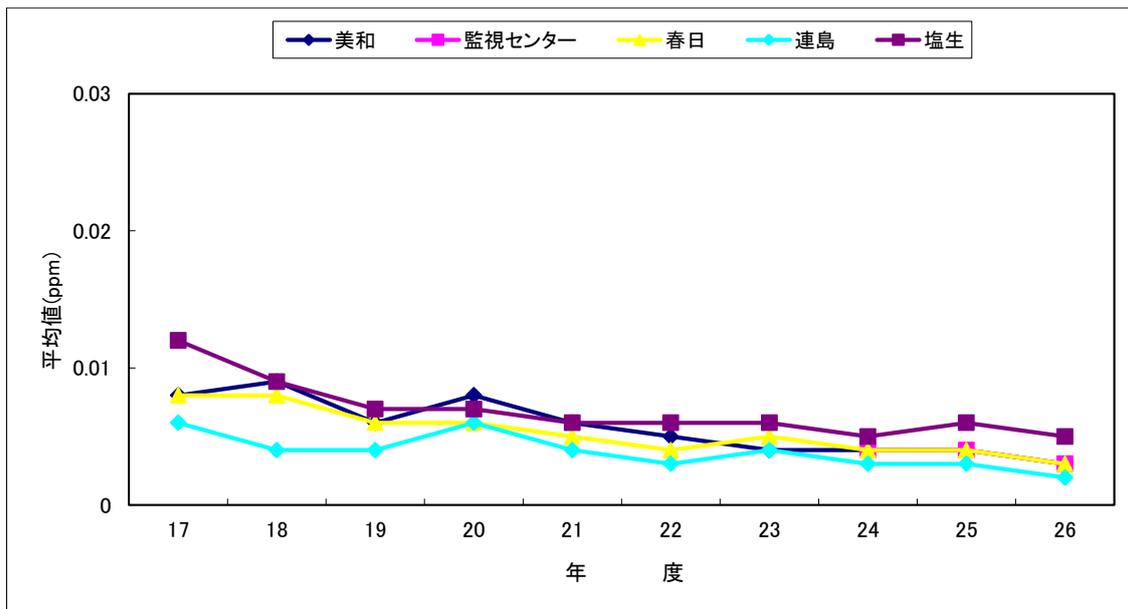
オ 二酸化窒素濃度の経年変化（年平均値）



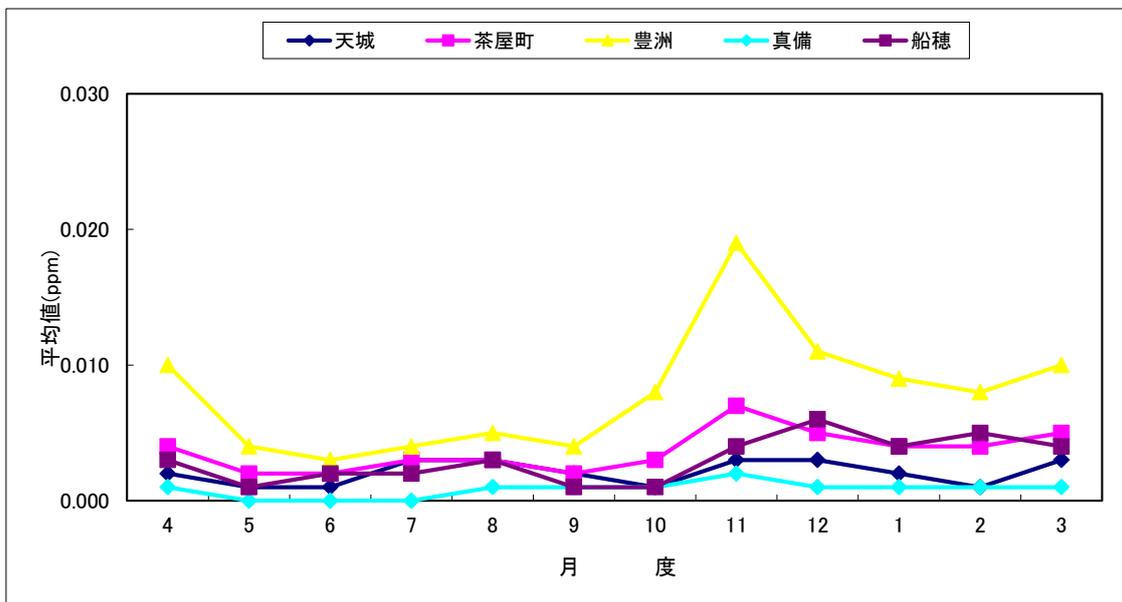
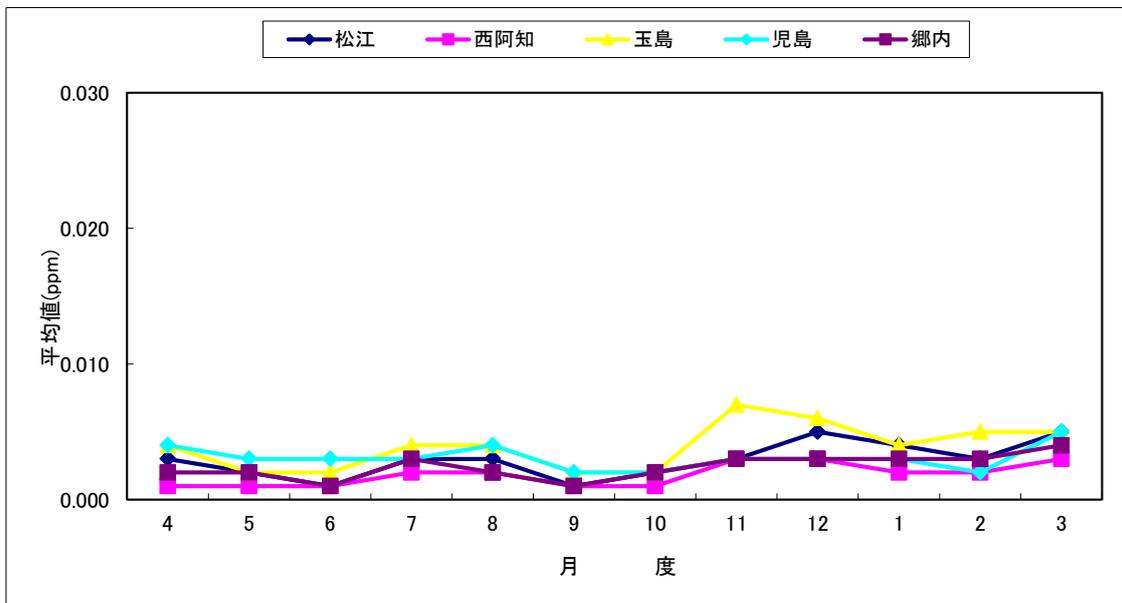
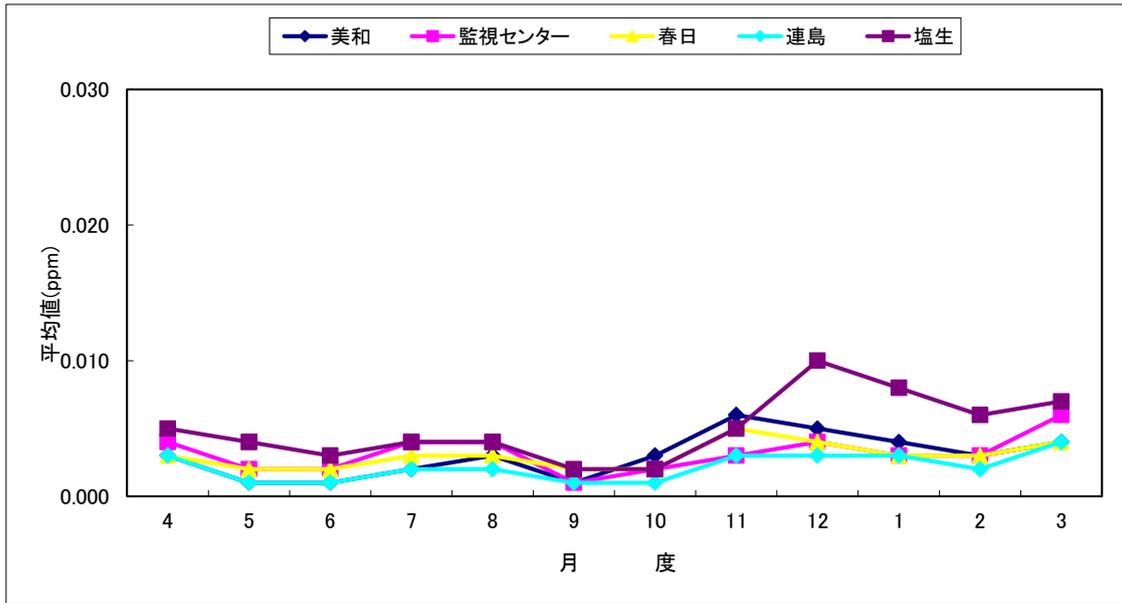
カ 二酸化窒素濃度の経月変化（月平均値）



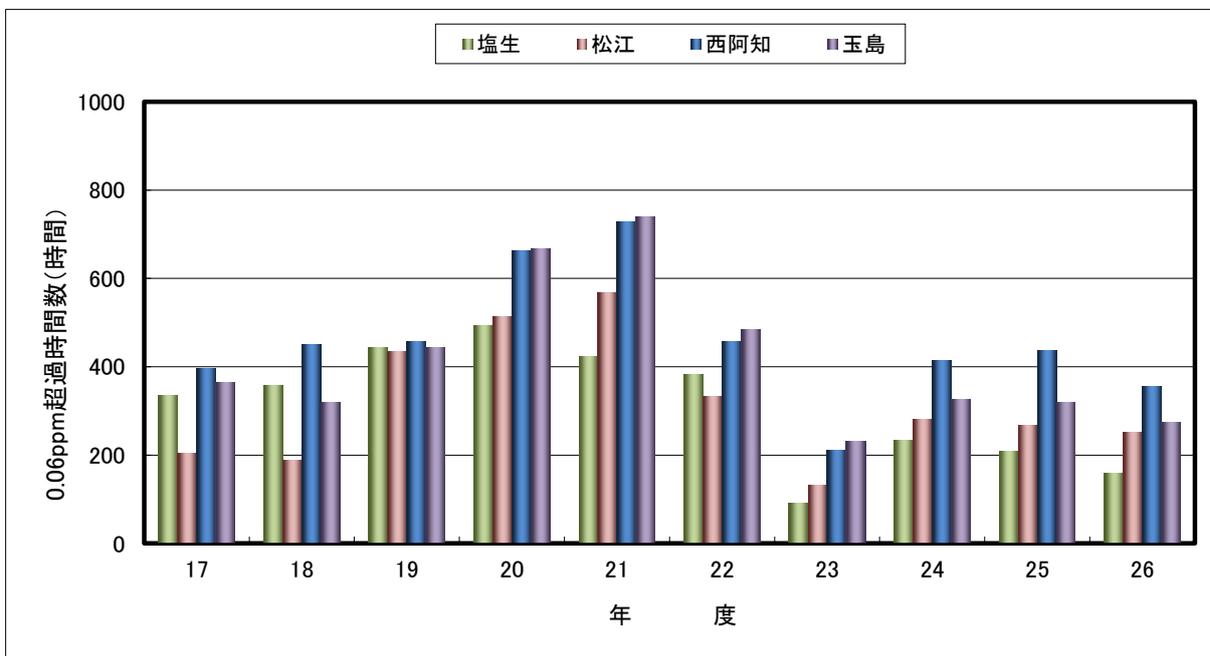
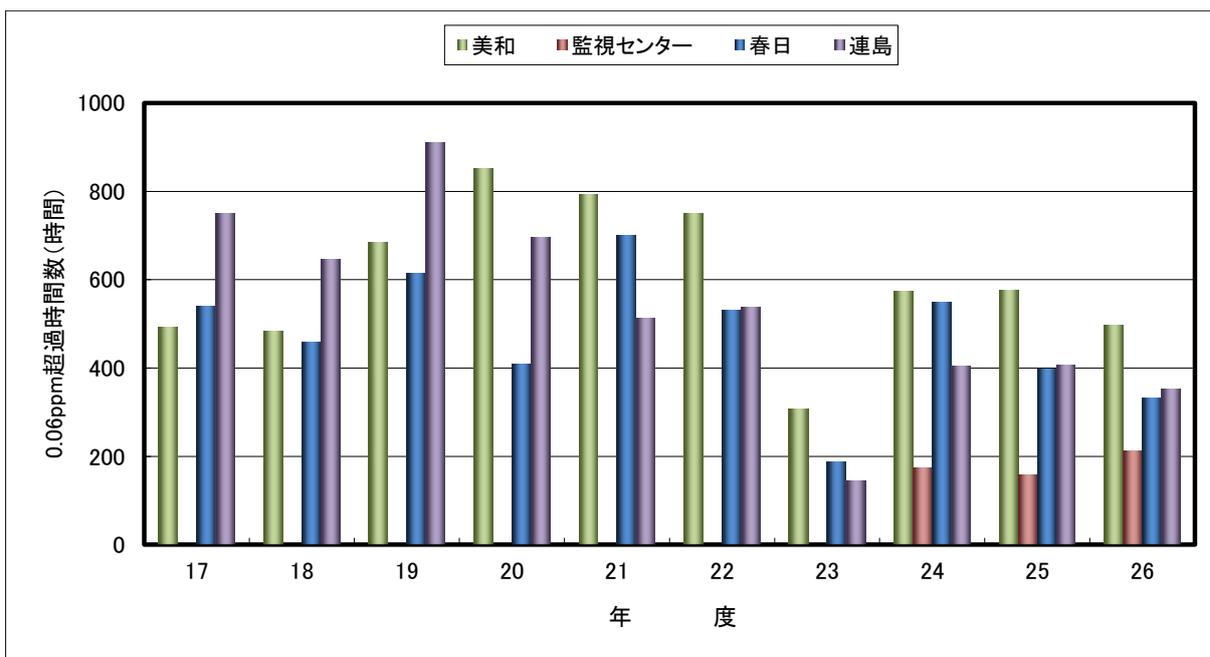
キ 一酸化窒素濃度の経年変化（年平均値）

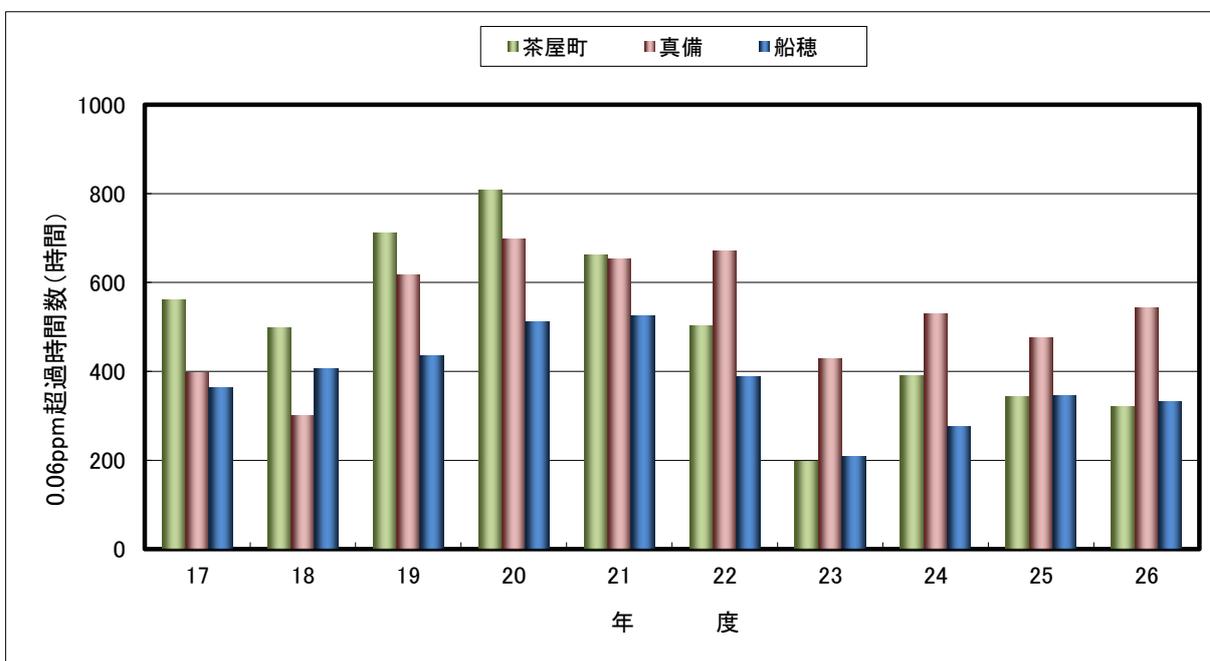
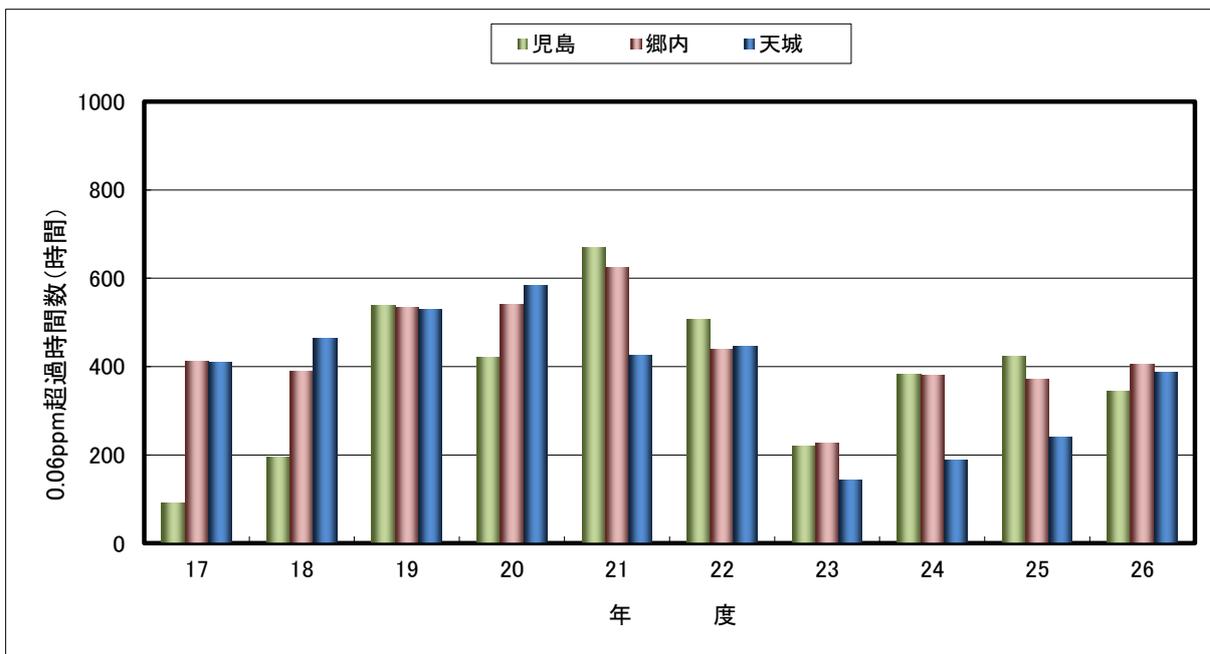


ク 一酸化窒素濃度の経月変化（月平均値）

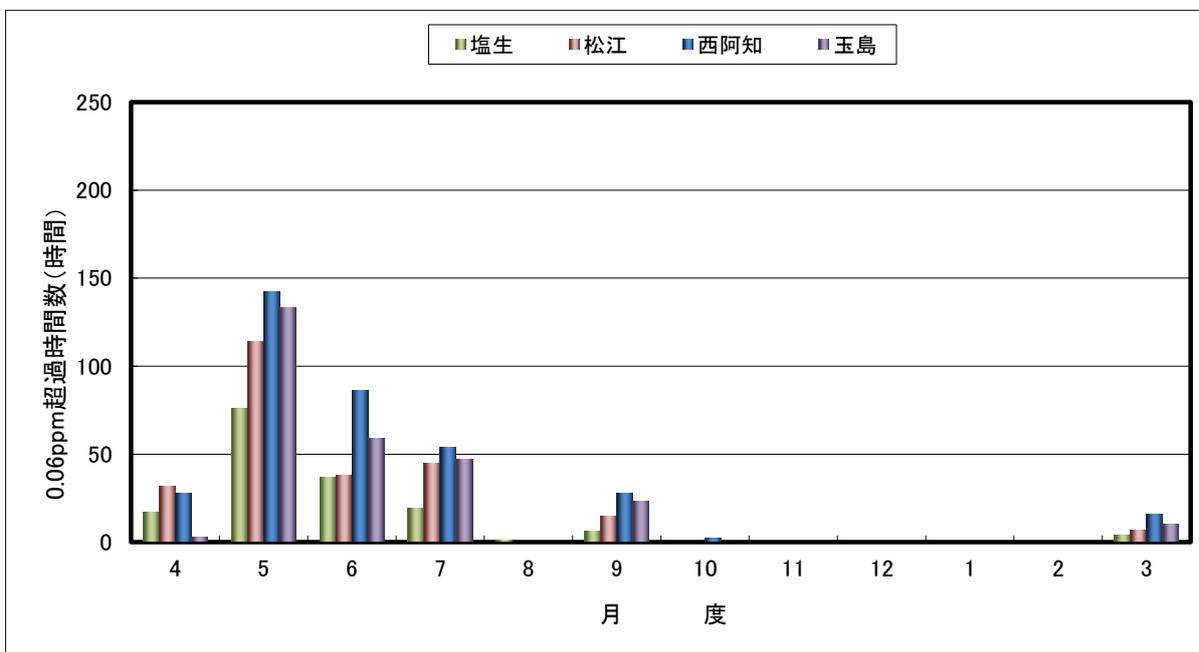
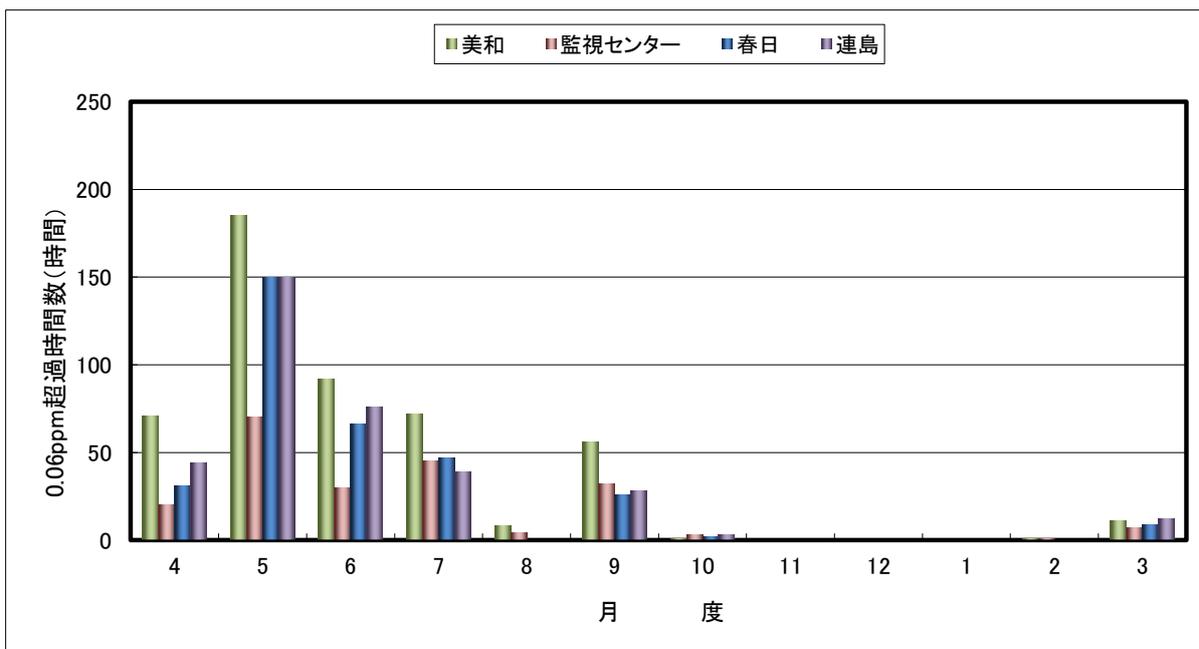


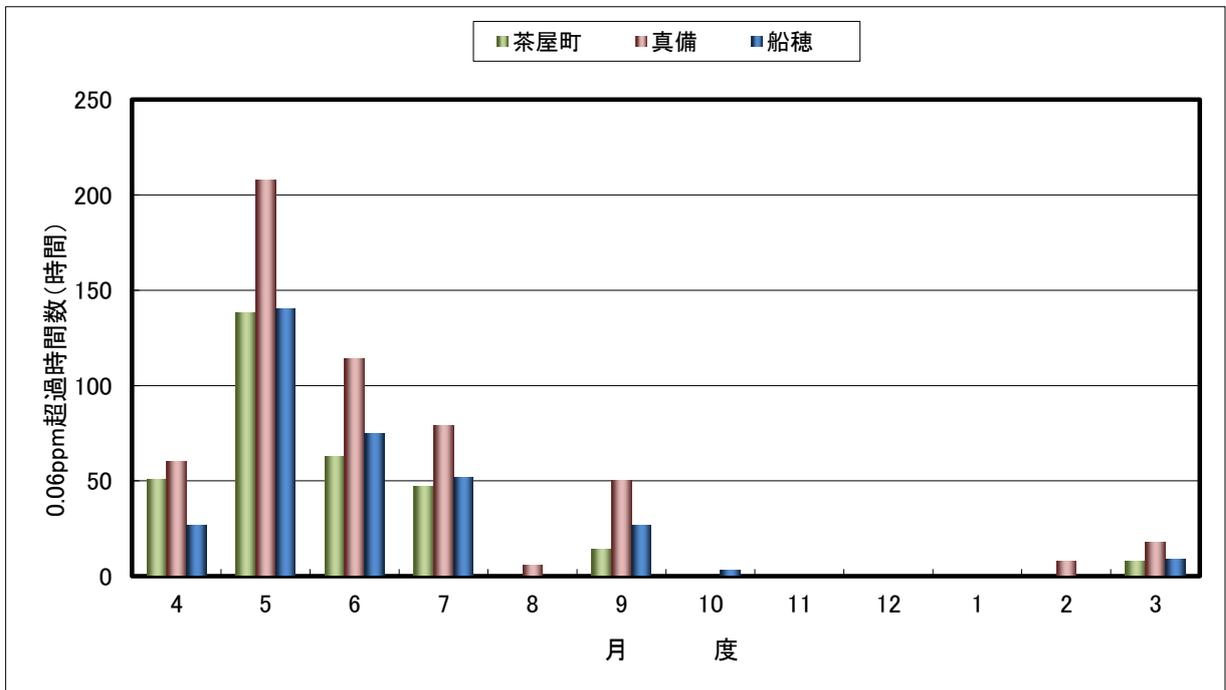
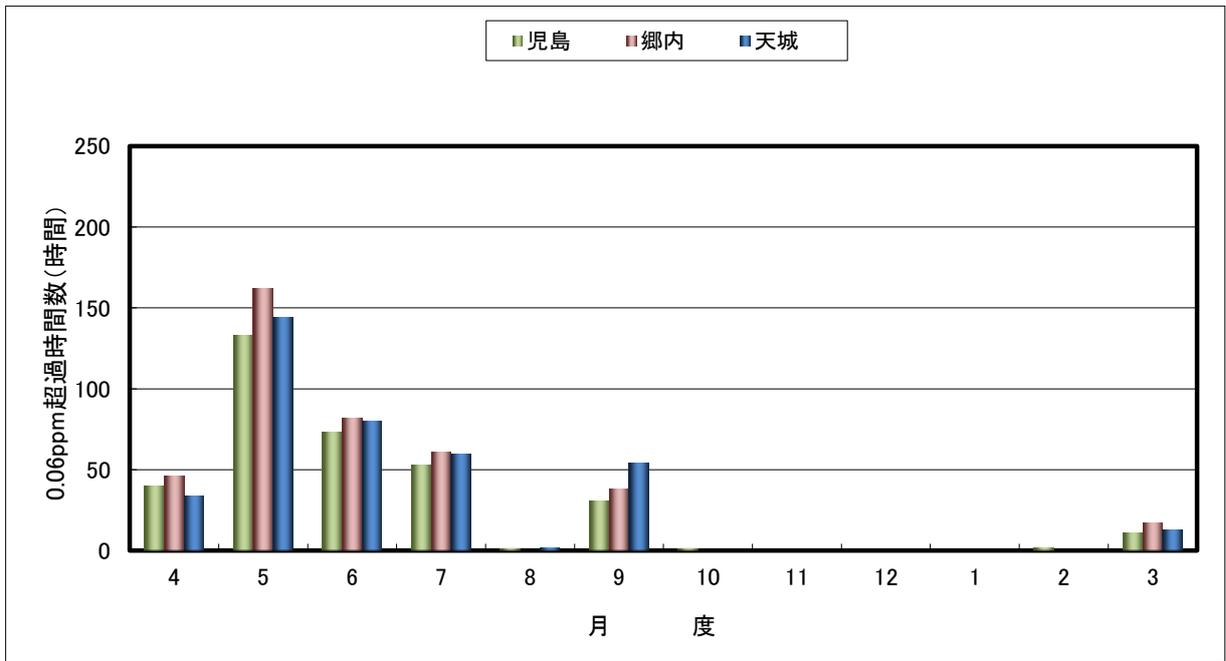
ケ オキシダント濃度の1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経年変化



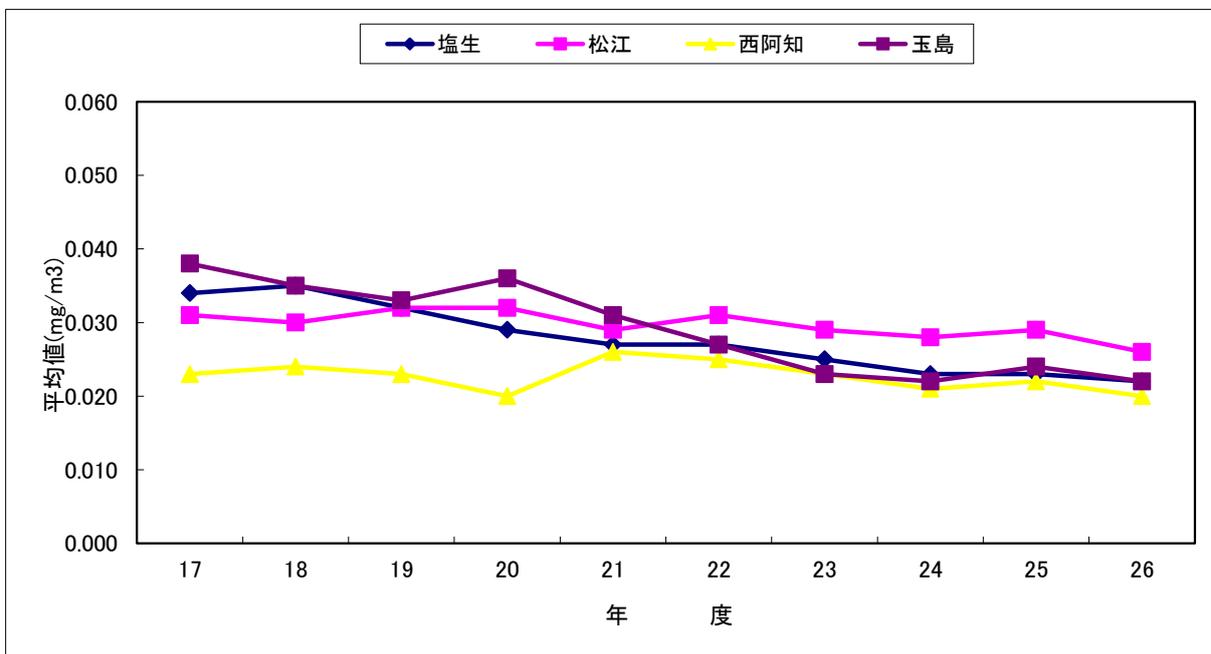
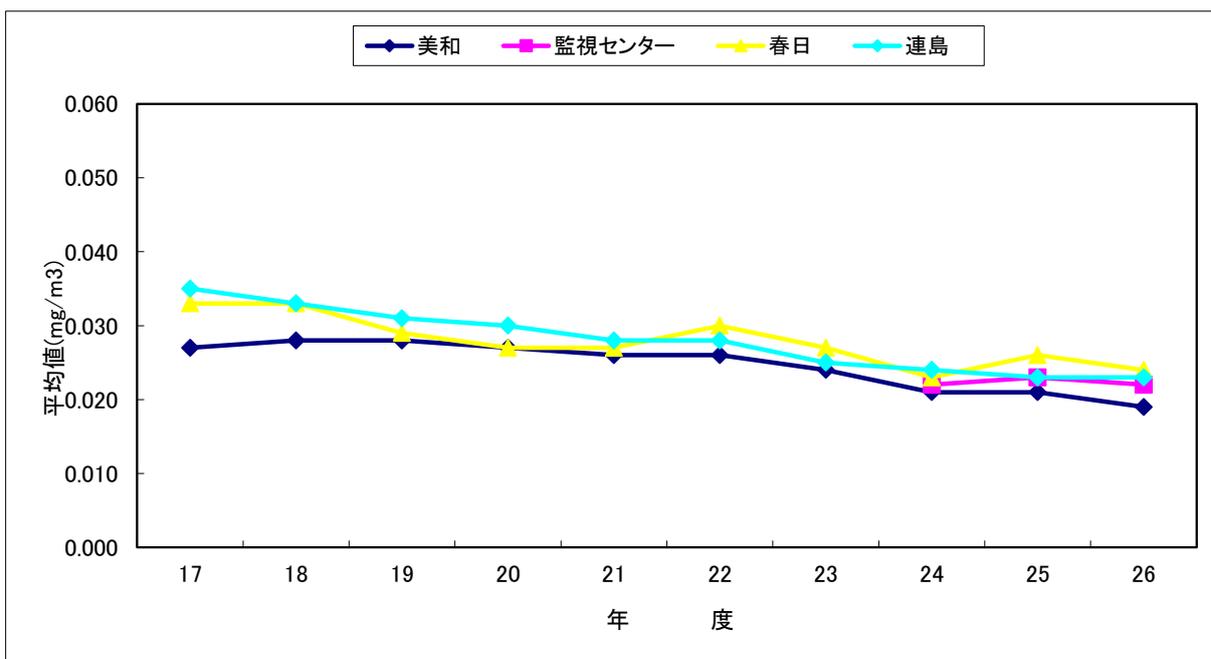


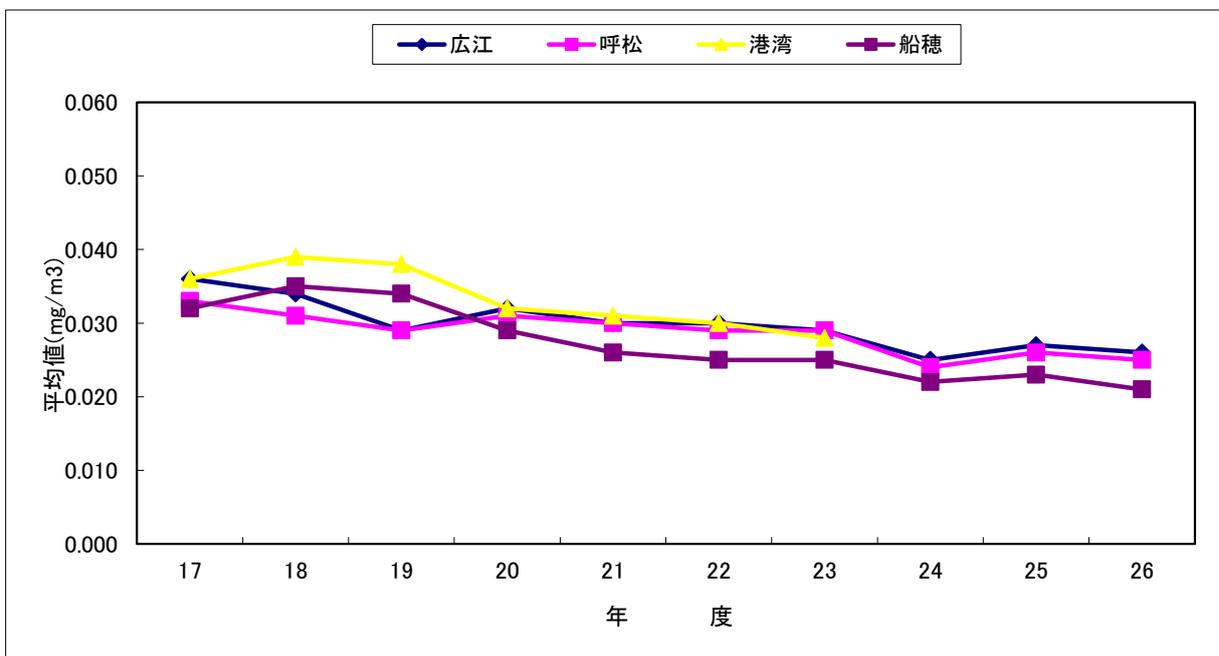
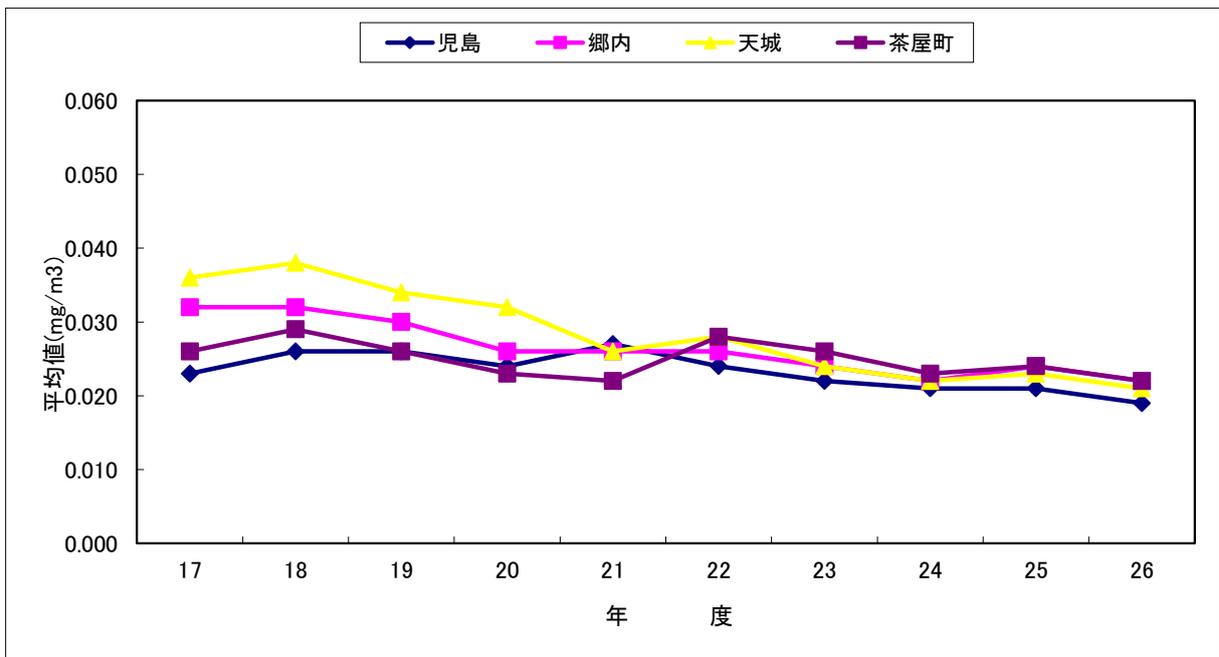
コ オキシダント濃度の1時間値が0.06ppmを超えた時間数の経月変化



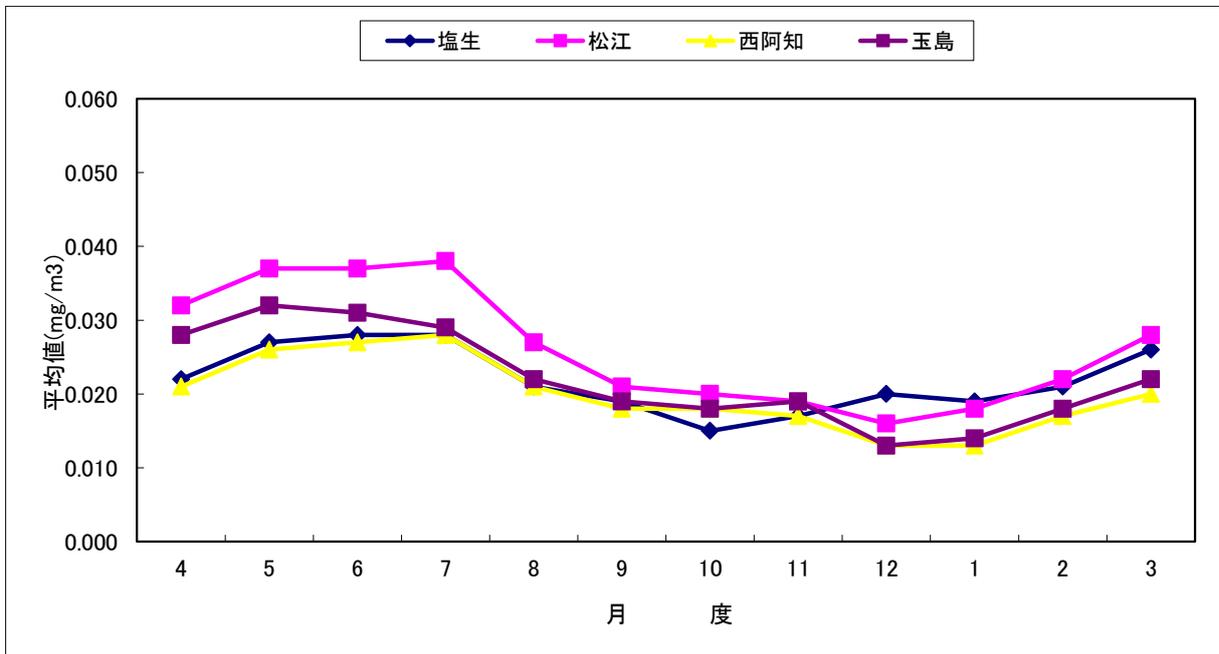
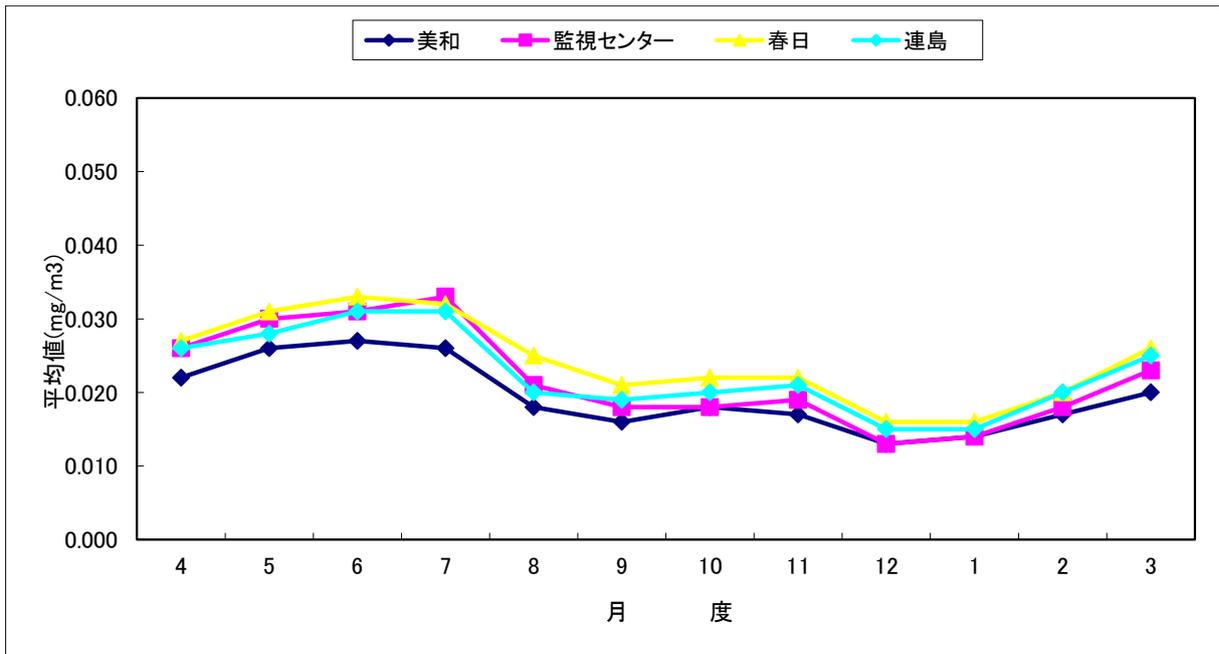


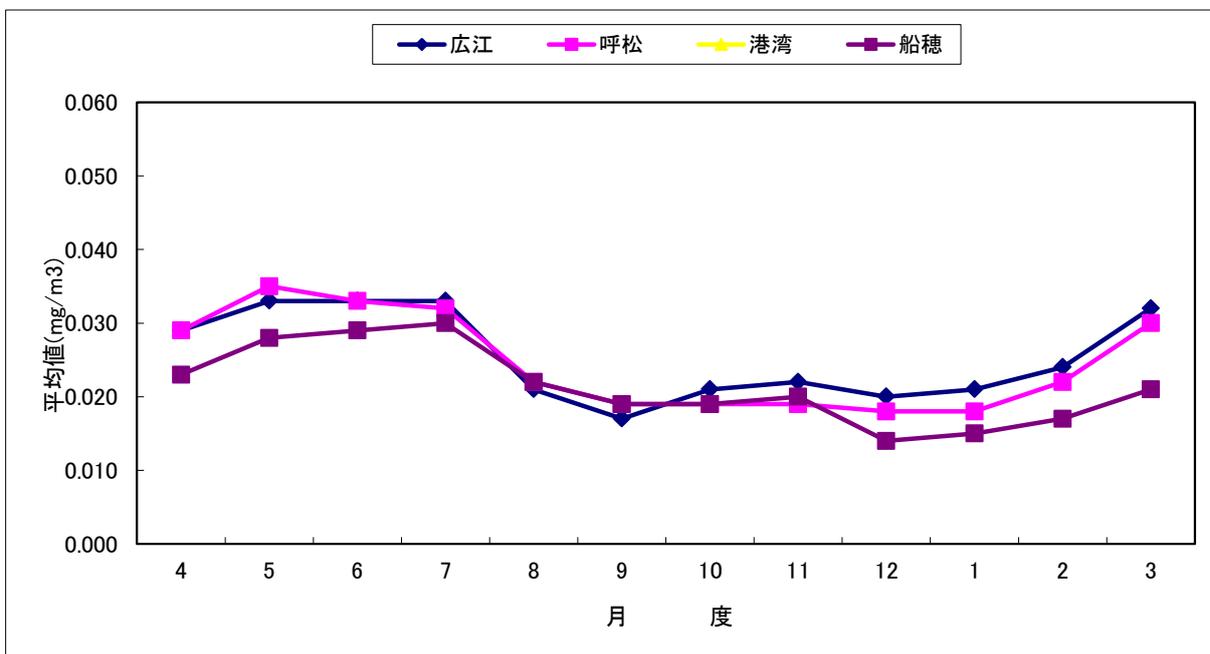
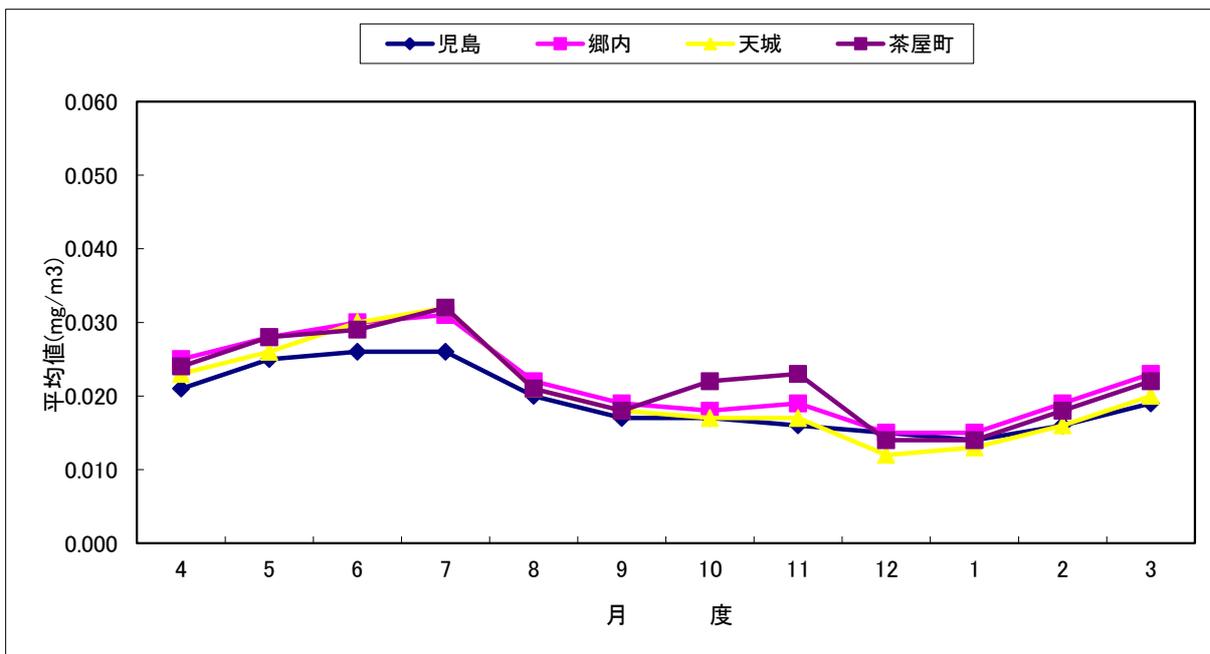
サ 浮遊粒子状物質濃度の経年変化（年平均値）



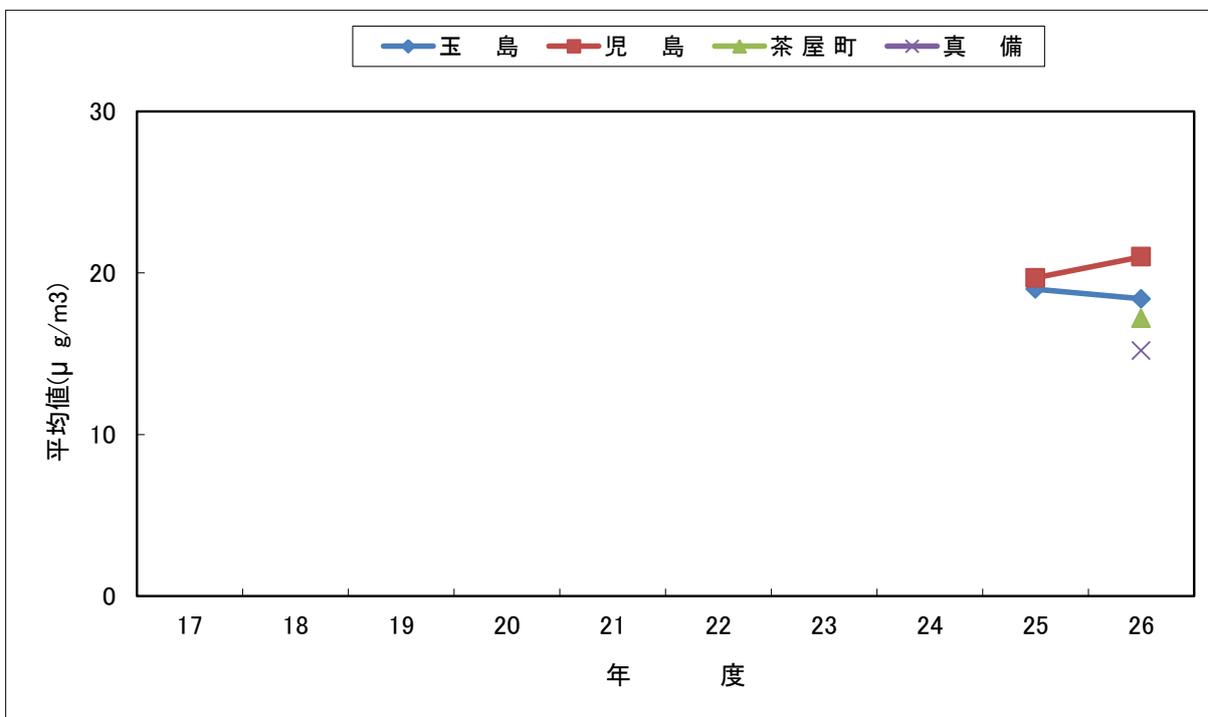
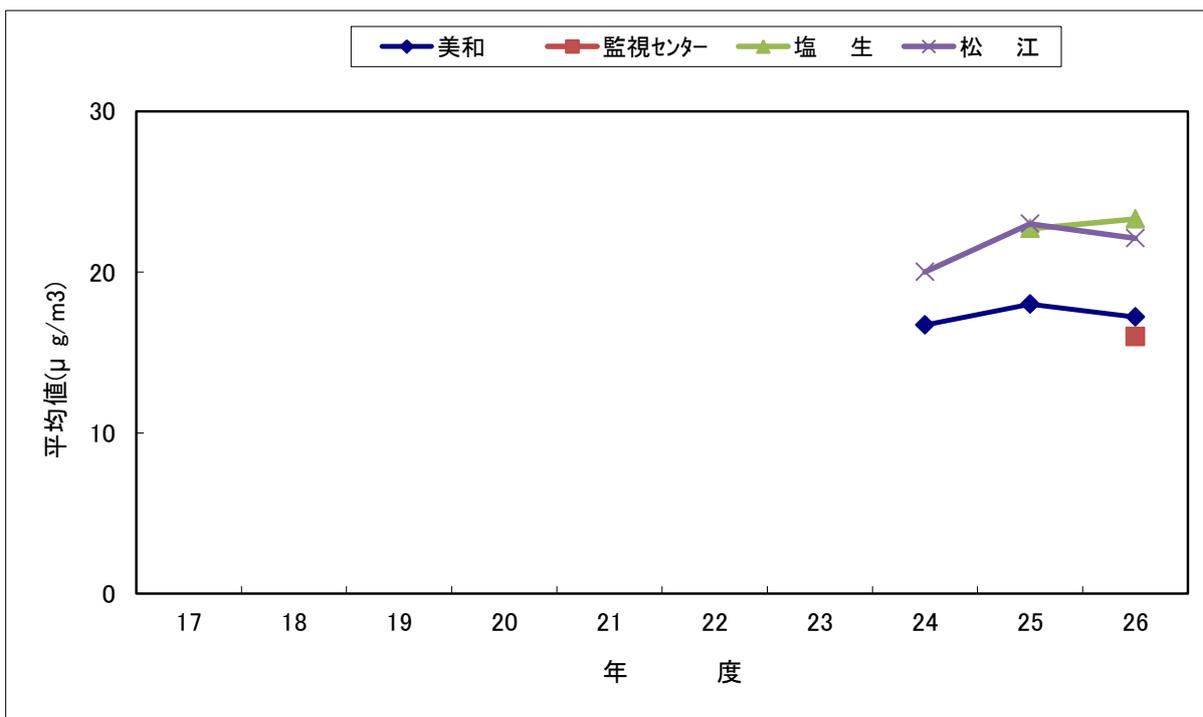


シ 浮遊粒子状物質濃度の経月変化（月平均値）

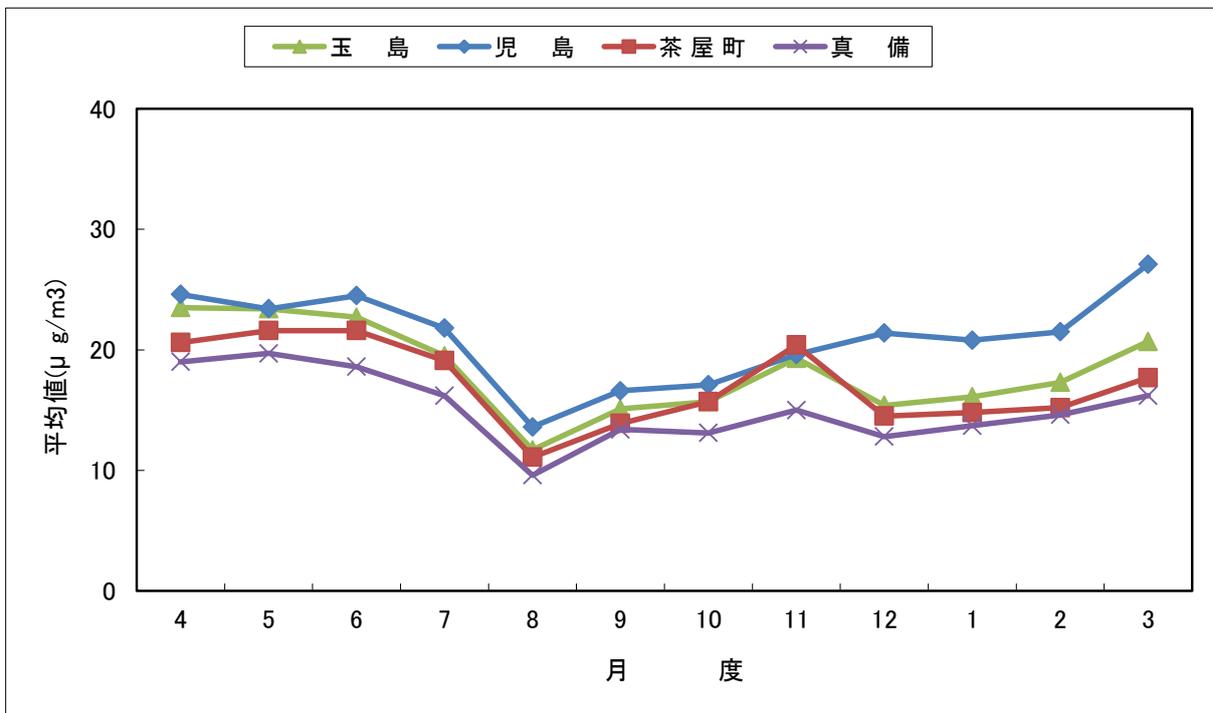
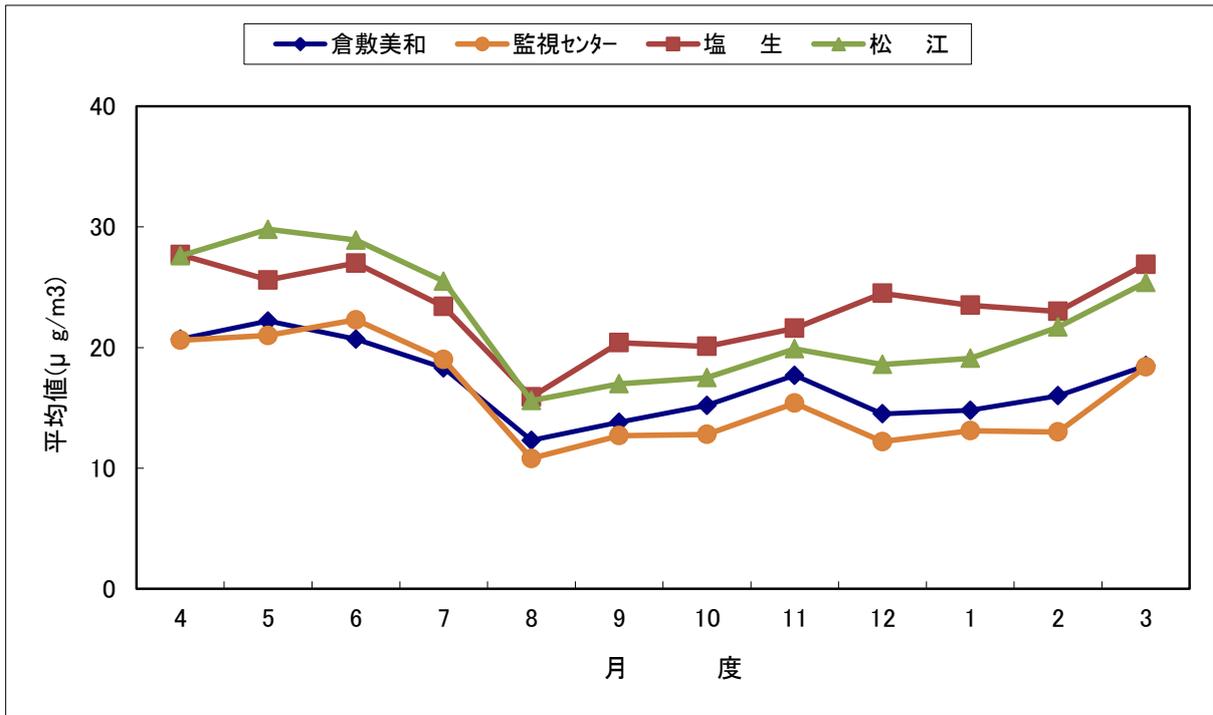




ス 微小粒子状物質濃度の経年変化（年平均値）



セ 微小粒子状物質濃度の経月変化（月平均値）



### (3) 自動車排出ガス測定局

#### ア 経年測定データ(平成17年度～平成26年度)

二酸化窒素(NO2)短期経年変化(年平均値)

単位: ppm

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
駅前	0.024	0.024	0.020	0.022	0.020	0.019	0.018	0.018	0.019	0.018
大高	0.023	0.023	0.020	0.019	0.018	0.018	0.016	0.016	0.017	0.016
西坂	0.020	0.019	0.018	0.018	0.017	0.017	0.016	0.015	0.014	0.015
庄	0.018	0.017	0.016	0.015	0.014	0.015	0.014	0.014	0.016	0.015
全局平均	0.021	0.021	0.019	0.018	0.017	0.017	0.016	0.016	0.016	0.016
0.04ppm以上日数(駅)	6	7	3	2	3	1	1	0	0	1
0.04ppm以上日数(大)	5	13	4	1	3	3	1	0	0	1
0.04ppm以上日数(西)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0.04ppm以上日数(庄)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0.04ppm以上日数(全局)	11	21	7	3	6	4	2	0	0	3

一酸化窒素(NO)短期経年変化(年平均値)

単位: ppm

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
駅前	0.024	0.026	0.023	0.019	0.016	0.014	0.015	0.011	0.011	0.010
大高	0.016	0.016	0.011	0.011	0.010	0.010	0.008	0.007	0.008	0.006
西坂	0.012	0.013	0.011	0.011	0.010	0.009	0.009	0.008	0.007	0.006
庄	0.008	0.008	0.006	0.006	0.005	0.004	0.005	0.004	0.004	0.003
全局平均	0.015	0.016	0.013	0.012	0.010	0.009	0.009	0.007	0.008	0.006

光化学オキシダント(Ox)短期環境基準超過時間数

単位: 時間

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
庄	444	449	544	776	786	519	285	517	518	434
0.12ppm超時間数	0	9	1	3	0	0	0	2	4	1

一酸化炭素(CO)短期経年変化(年平均値)

単位: ppm

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
駅前	0.6	0.5	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4
大高	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4
西坂	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
庄	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
全局平均	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3

浮遊粒子状物質(SPM)短期経年変化(年平均値)

単位: mg/m<sup>3</sup>

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
大高	0.039	0.039	0.039	0.036	0.034	0.032	0.028	0.021	0.023	0.021
西坂	0.037	0.040	0.041	0.038	0.033	0.035	0.029	0.023	0.023	0.022
庄	0.033	0.032	0.029	0.026	0.026	0.027	0.026	0.025	0.021	0.020
全局平均	0.036	0.037	0.036	0.033	0.031	0.032	0.028	0.023	0.022	0.021
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(大)	0	20	9	0	12	0	1	0	0	0
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(西)	0	19	8	0	11	2	1	0	0	0
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(庄)	1	17	6	0	7	1	0	0	0	0
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(全局)	1	56	23	0	30	3	2	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(大)	0	4	2	0	2	2	3	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(西)	0	3	2	0	2	3	2	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(庄)	0	3	1	0	1	2	2	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(全局)	0	10	5	0	5	7	7	0	0	0

非メタン炭化水素（NMHC）短期経年変化（6時～9時の3時間平均値の年平均値） 単位：ppmC

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
駅前	0.26	0.27	0.28	0.22	0.21	0.19	0.21	0.17	0.18	0.17
0.31ppmC超日数(駅)	89	102	136	65	50	30	40	31	22	12

微小粒子状物質（PM2.5）短期経年変化（年平均値） 単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$

測定局	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
大高庄								18.6	18.7	18.0
35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 超日数								27	22	24

## イ 経月測定データ

N02経月変化（月平均値）

単位：ppm

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
駅 前	0.022	0.018	0.016	0.015	0.013	0.015	0.017	0.020	0.017	0.019	0.018	0.022
大 高	0.021	0.016	0.013	0.014	0.010	0.010	0.012	0.017	0.017	0.017	0.018	0.021
西 坂	0.021	0.017	0.014	0.013	0.010	0.012	0.014	0.017	0.013	0.015	0.016	0.019
庄	0.021	0.018	0.016	0.014	0.010	0.011	0.011	0.016	0.015	0.016	0.014	0.017
全局平均	0.021	0.017	0.015	0.014	0.011	0.012	0.014	0.018	0.015	0.017	0.017	0.020
0.04ppm以上日数(駅)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.04ppm以上日数(大)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.04ppm以上日数(西)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.04ppm以上日数(庄)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.04ppm以上日数(全局)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO経月変化（月平均値）

単位：ppm

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
駅 前	0.008	0.006	0.006	0.007	0.011	0.009	0.012	0.016	0.012	0.012	0.010	0.011
大 高	0.005	0.003	0.003	0.006	0.006	0.003	0.004	0.010	0.011	0.008	0.007	0.008
西 坂	0.006	0.003	0.003	0.004	0.006	0.003	0.006	0.011	0.008	0.006	0.006	0.007
庄	0.003	0.002	0.001	0.003	0.004	0.001	0.002	0.006	0.004	0.003	0.003	0.004
全局平均	0.005	0.003	0.004	0.005	0.007	0.004	0.006	0.011	0.009	0.007	0.007	0.008

0x環境基準超過時間数

単位：時間

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
庄	46	163	96	72	3	39	0	0	0	0	2	13
0.12ppm超時間数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

CO経月変化（月平均値）

単位：ppm

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
駅 前	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
大 高	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5
西 坂	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
庄	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
全局平均	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4	0.3	0.4

SPM経月変化（月平均値）

単位：mg/m<sup>3</sup>

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大 高	0.024	0.026	0.028	0.028	0.020	0.018	0.017	0.019	0.015	0.016	0.019	0.023
西 坂	0.025	0.029	0.031	0.031	0.022	0.019	0.020	0.019	0.015	0.016	0.019	0.024
庄	0.022	0.025	0.027	0.030	0.021	0.018	0.017	0.018	0.013	0.014	0.016	0.019
全局平均	0.024	0.027	0.029	0.030	0.021	0.018	0.018	0.018	0.014	0.015	0.018	0.022
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(大)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(西)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(庄)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.2mg/m <sup>3</sup> 超時間数(全局)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(大)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(西)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(庄)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0.1mg/m <sup>3</sup> 超日数(全局)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NMHC経月変化（月平均値）

単位：ppmC

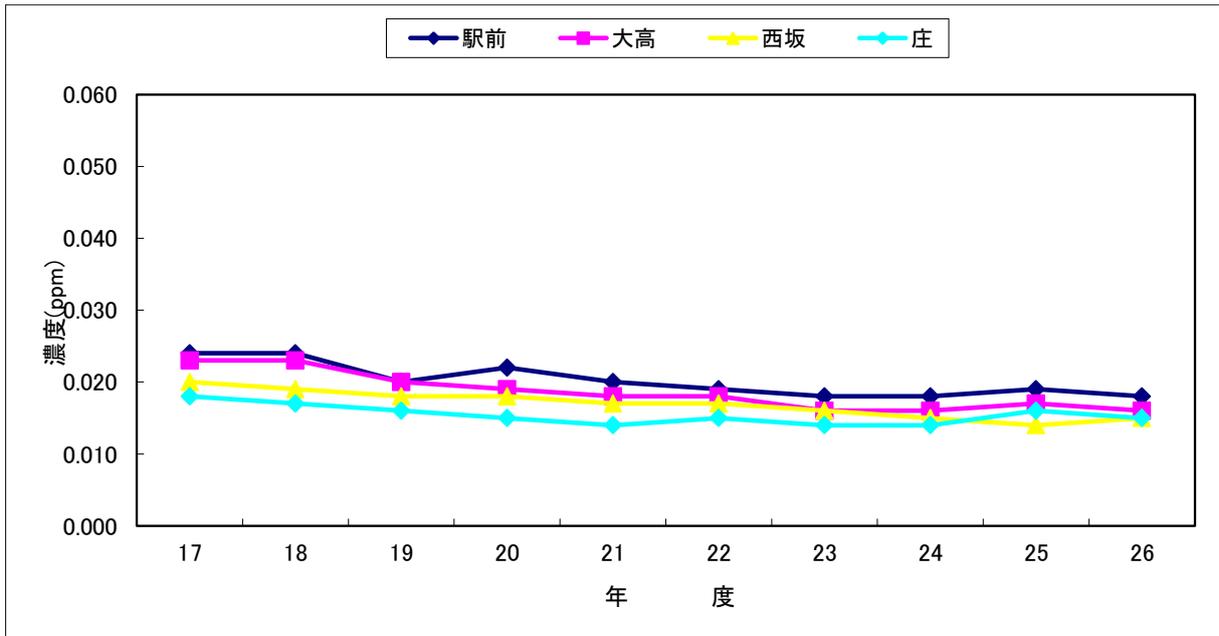
測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
駅 前	0.17	0.15	0.14	0.15	0.15	0.14	0.16	0.21	0.17	0.17	0.16	0.18
0.31ppmC超日数(駅)	2	0	0	1	0	0	2	1	2	2	0	2

PM2.5経月変化(月平均値)

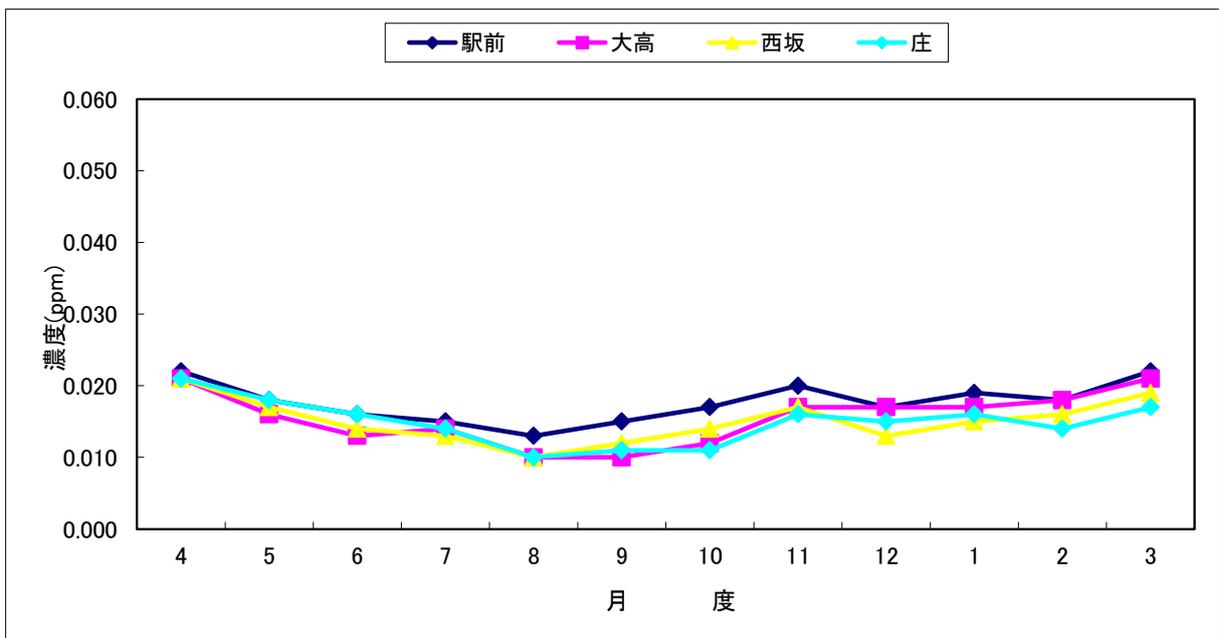
単位：μg/m<sup>3</sup>

測定局	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大 高	22.1	23.1	22.4	19.3	11.8	14.2	15.6	18.7	15.0	15.9	17.1	20.5
庄	18.6	19.3	19.0	17.7	10.4	12.9	13.0	16.1	12.5	13.3	13.8	16.1
全局平均	20.3	21.2	20.7	18.5	11.1	13.6	14.3	17.4	13.7	14.6	15.4	18.3
35μg/m <sup>3</sup> 超過日数	4	5	6	2	0	0	1	2	1	0	0	3

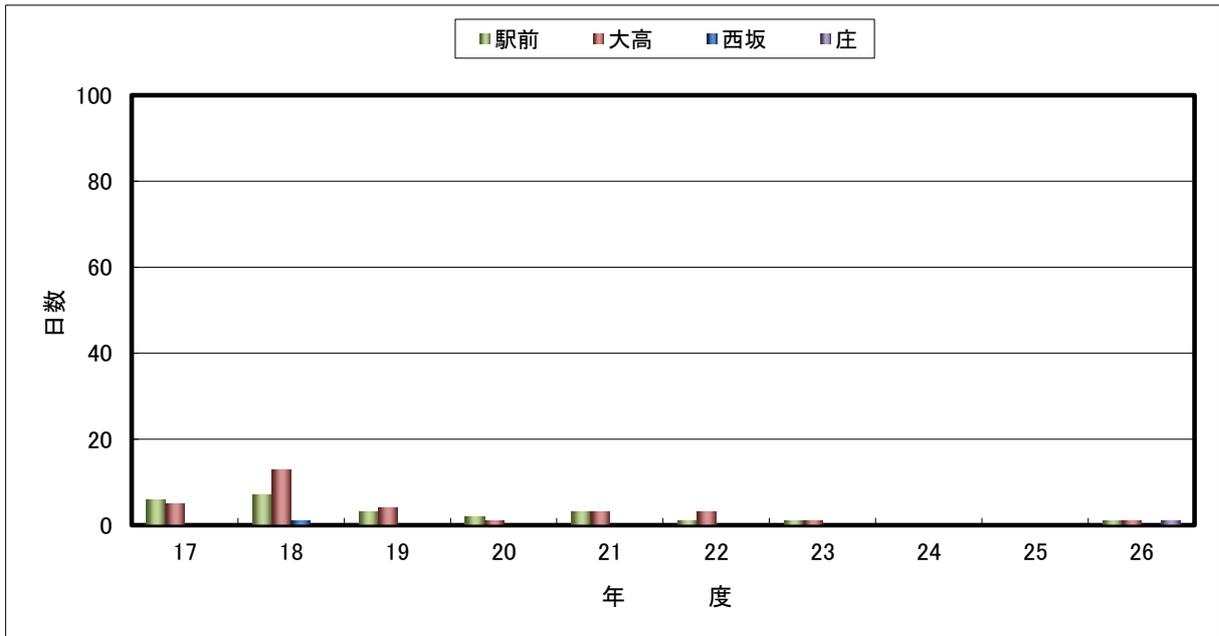
ウ 二酸化窒素濃度の経年変化（年平均値）



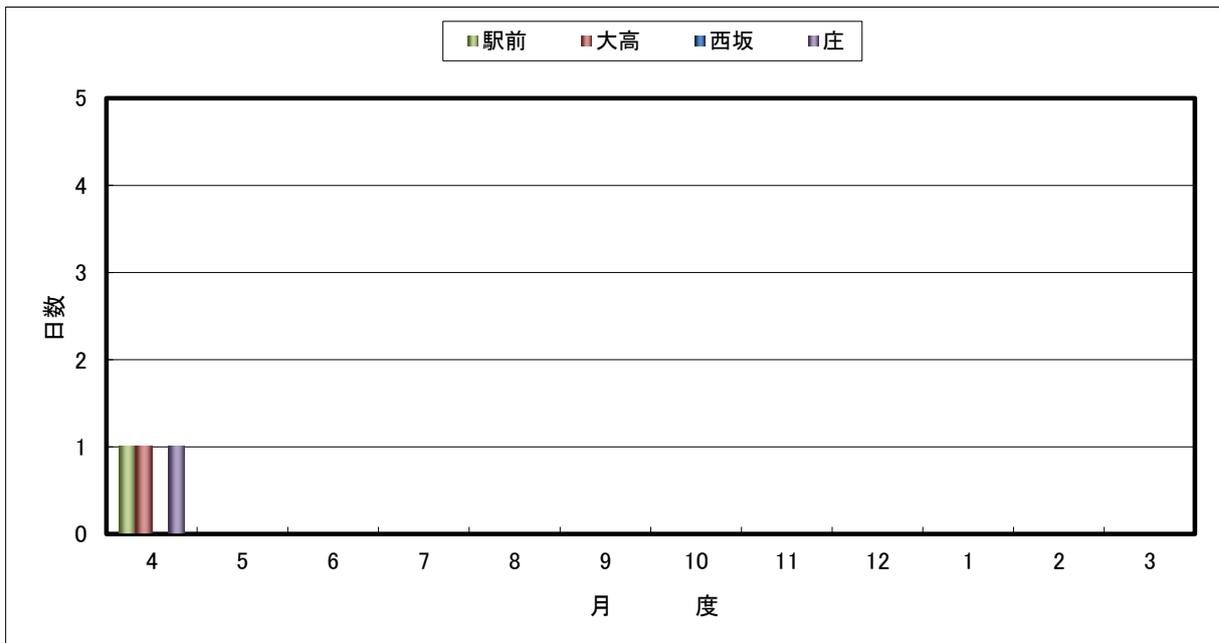
エ 二酸化窒素濃度の経月変化（月平均値）



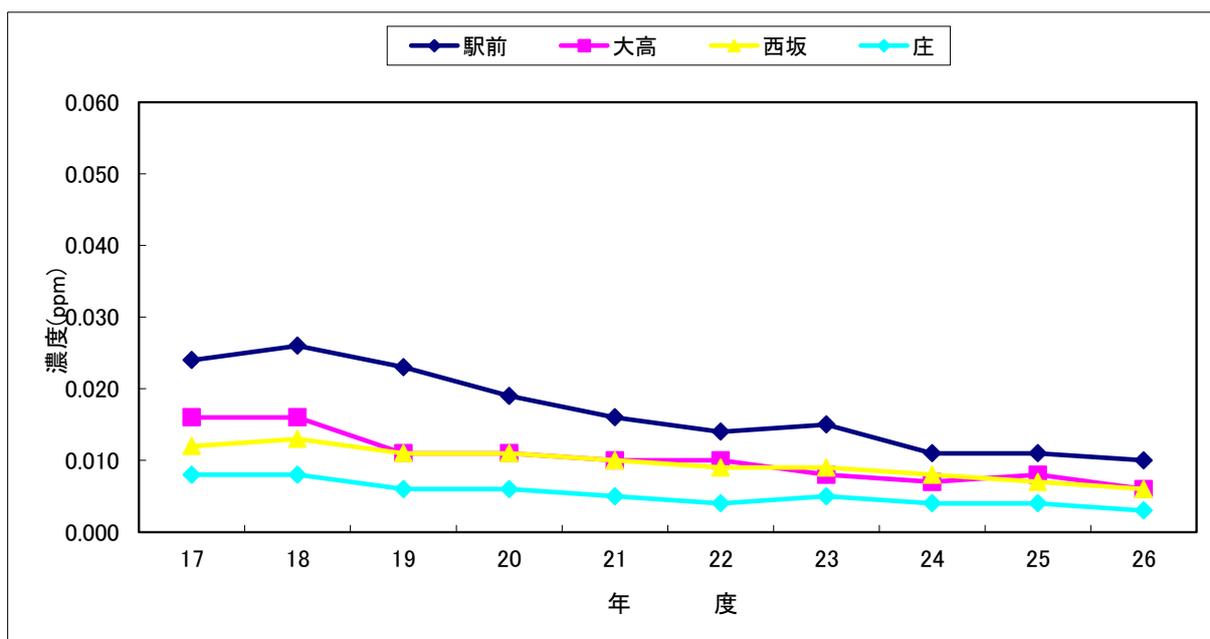
オ 二酸化窒素濃度の日平均値が0.04ppm以上となった日数の経年変化



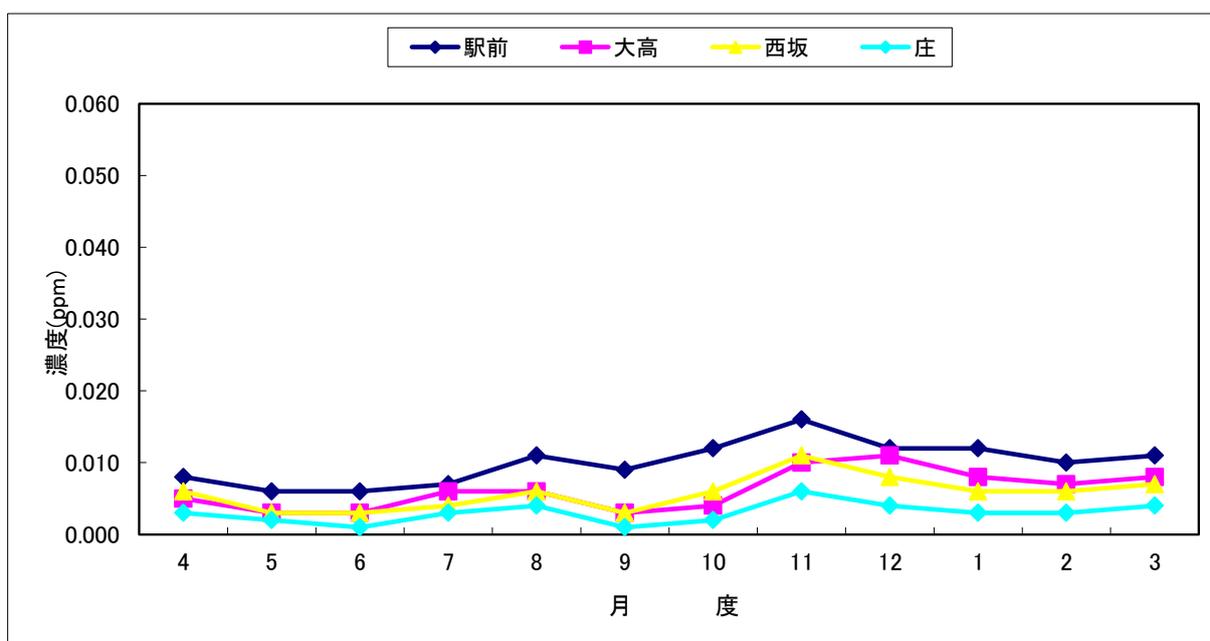
カ 二酸化窒素濃度の日平均値が0.04ppm以上となった日数の経月変化



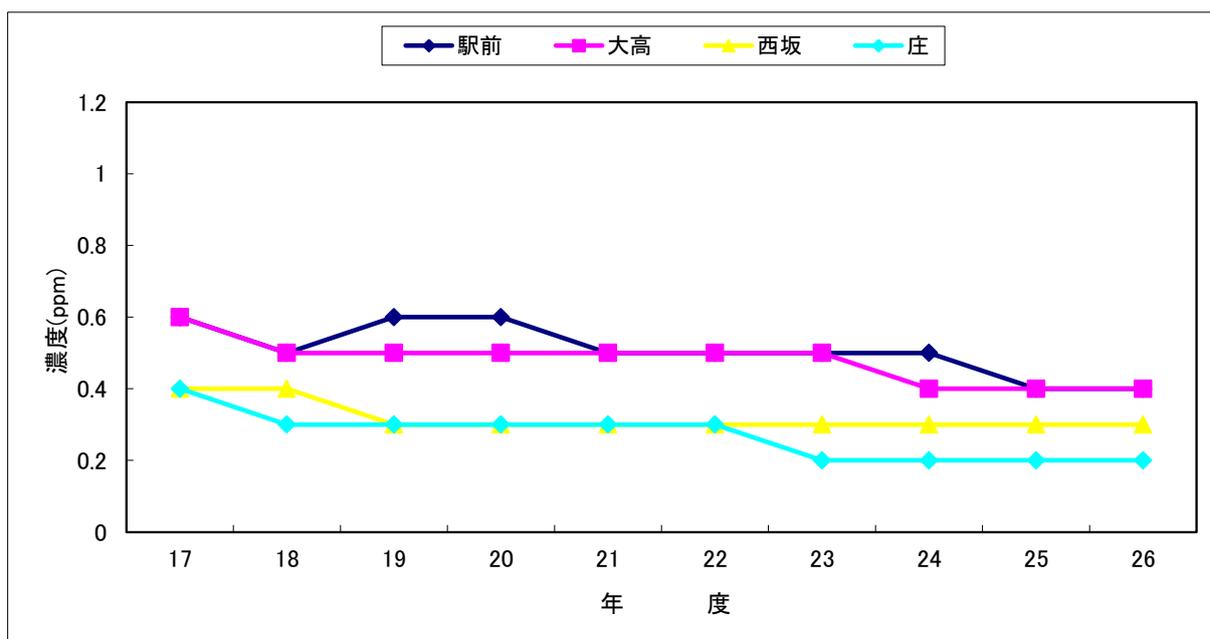
キ 一酸化窒素濃度の経年変化（年平均値）



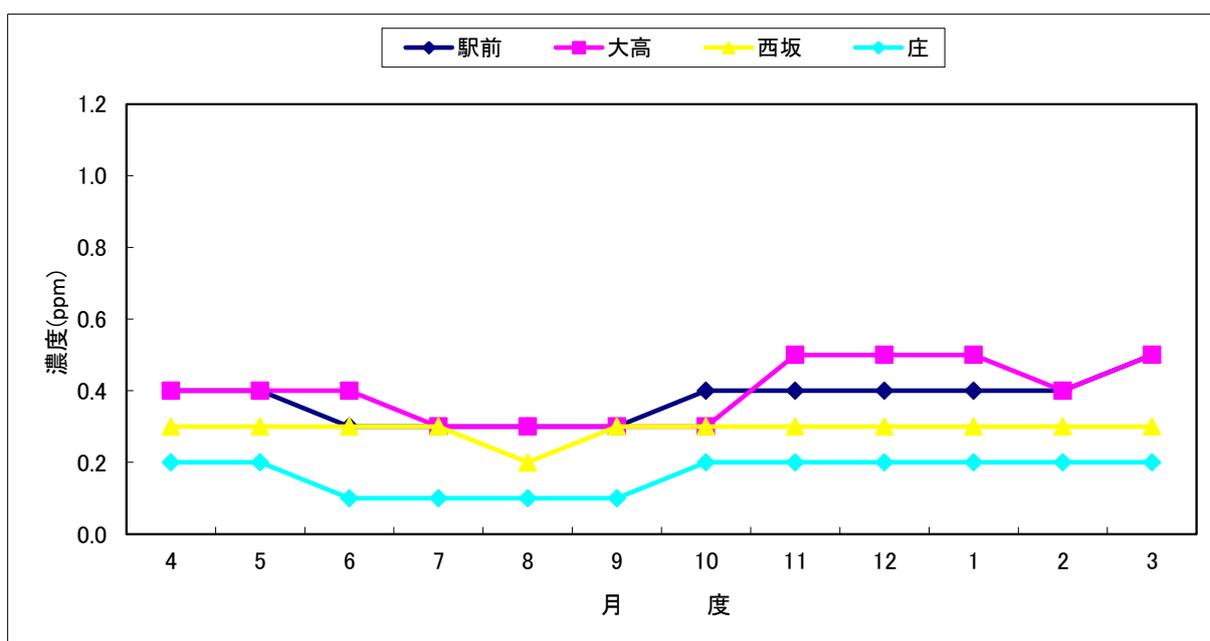
ク 一酸化窒素濃度の経月変化（月平均値）



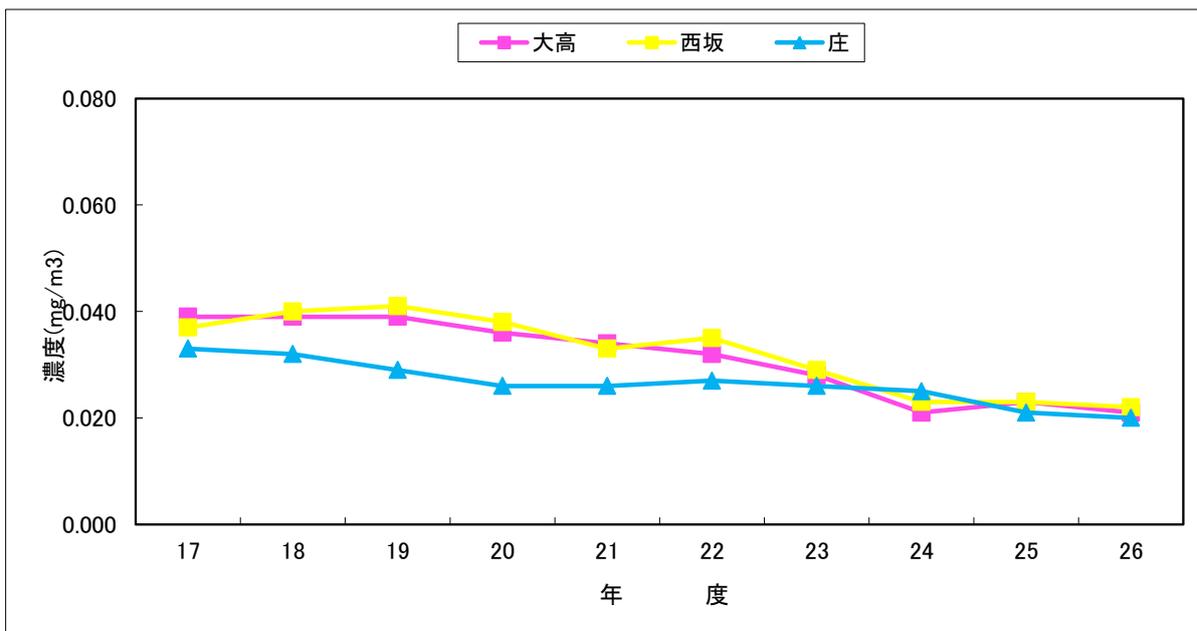
ケ 一酸化炭素濃度の経年変化



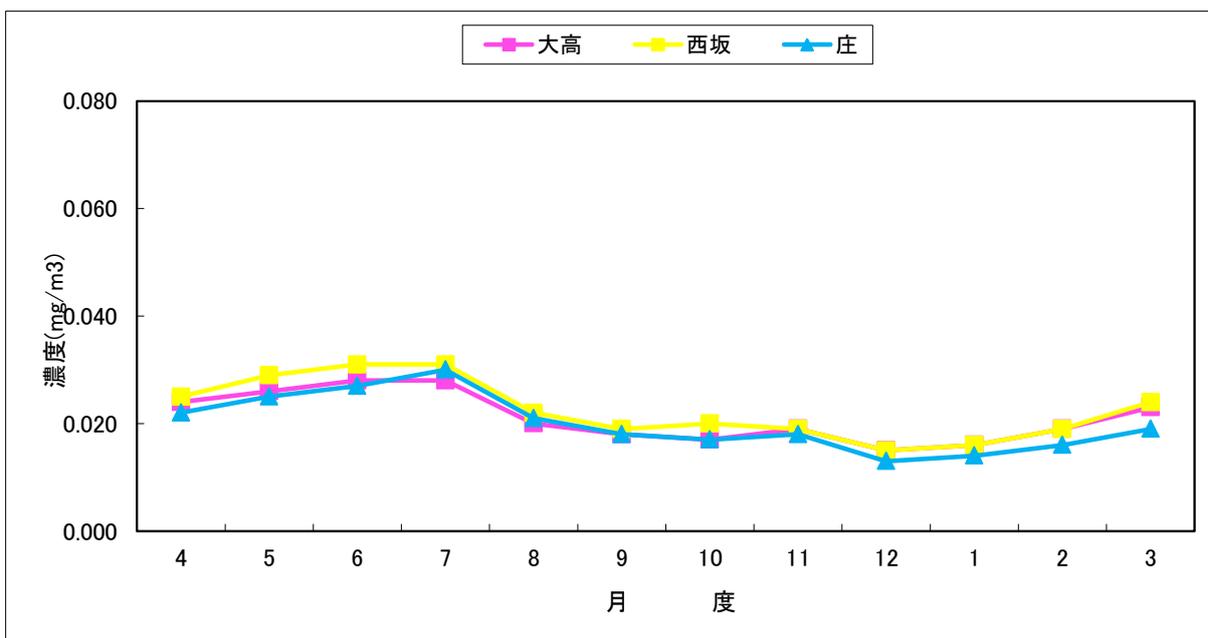
コ 一酸化炭素濃度の経月変化



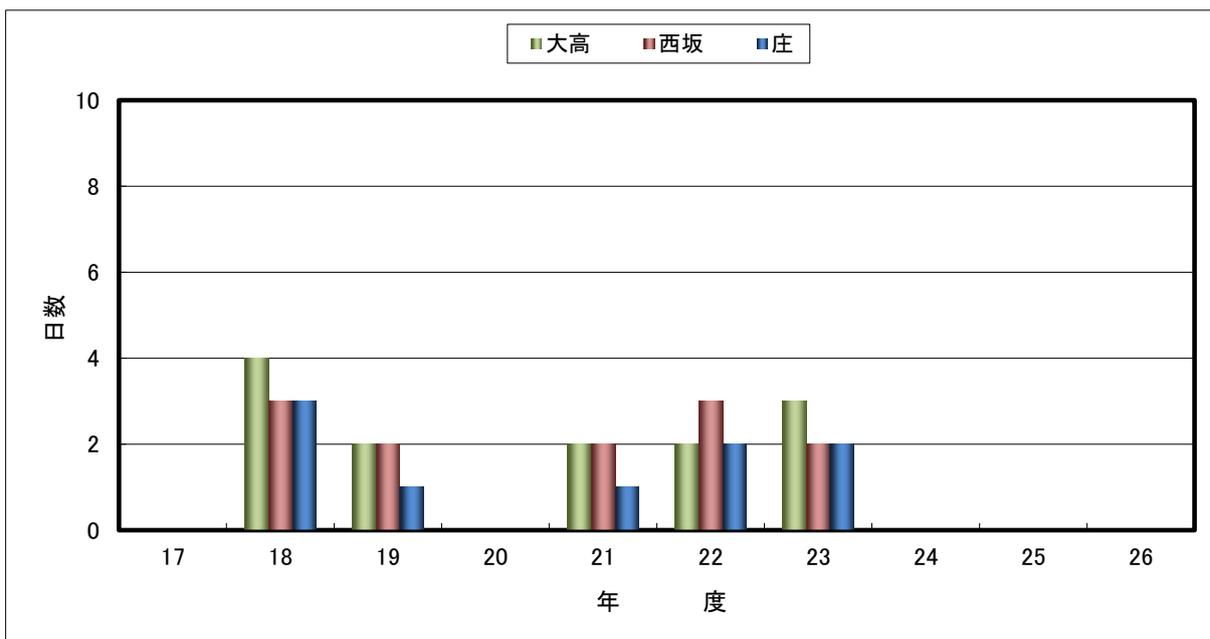
サ 浮遊粒子状物質濃度の経年変化（年平均値）



シ 浮遊粒子状物質濃度の経月変化（月平均値）



ス 浮遊粒子状物質濃度の日平均値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数の経年変化



セ 微小粒子状物質濃度の経月変化 (月平均値)

